使用説明書 システム設定編

IPSiO CX2500

1. ご使用前の準備

2. Windows 2000プリントサーバーを準備する

3. Windows XP、Windows Server 2003 プリントサーバーを準備する

4. Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する

5. NetWareサーバーを準備する

6. Ridoc IO Adminを使う

7. Webブラウザを使う

8. 機器の監視と設定の変更

9. 操作パネルを使用する

10.付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書<保守・運用編>『安全上のご注意』をお読みください。

商標

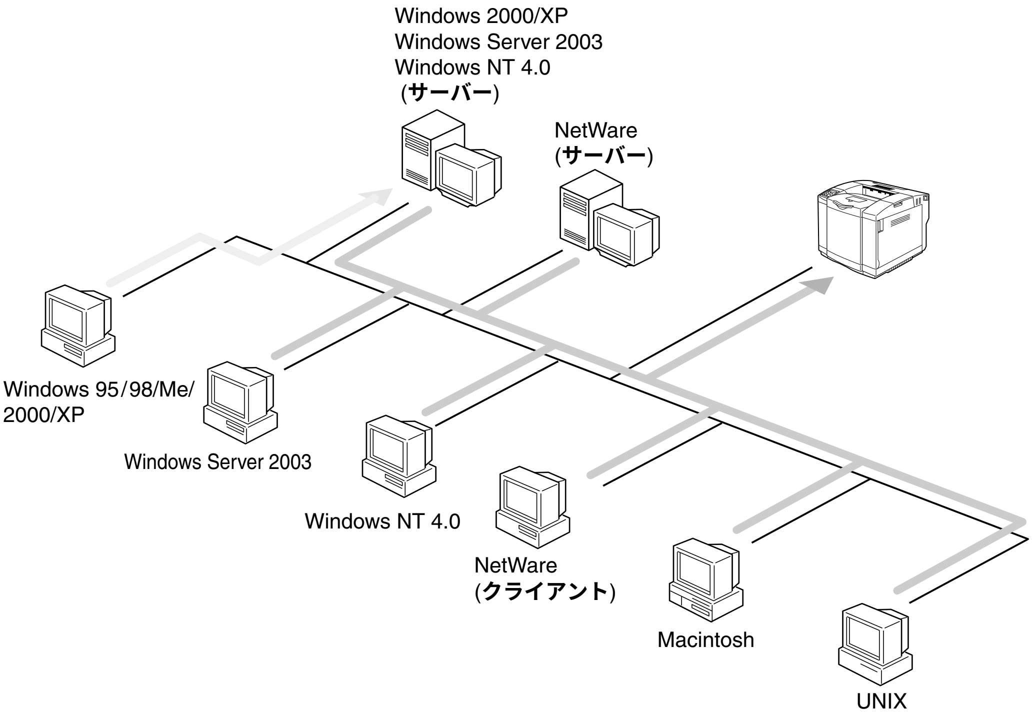
- Bluetooth商標は、Bluetooth SIG, Inc. 所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。
- Macintosh、Mac OS、Apple、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Rendezvousは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- HP-GL、HP-GL/2、HPRTLは、米国Hewlett-Packard社の商標です。
- IBM、DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- BMLinkSは、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

* Windows XPの製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows Server 2003の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Web Edition
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

環境を確認する

本機をご使用になる環境を確認します。



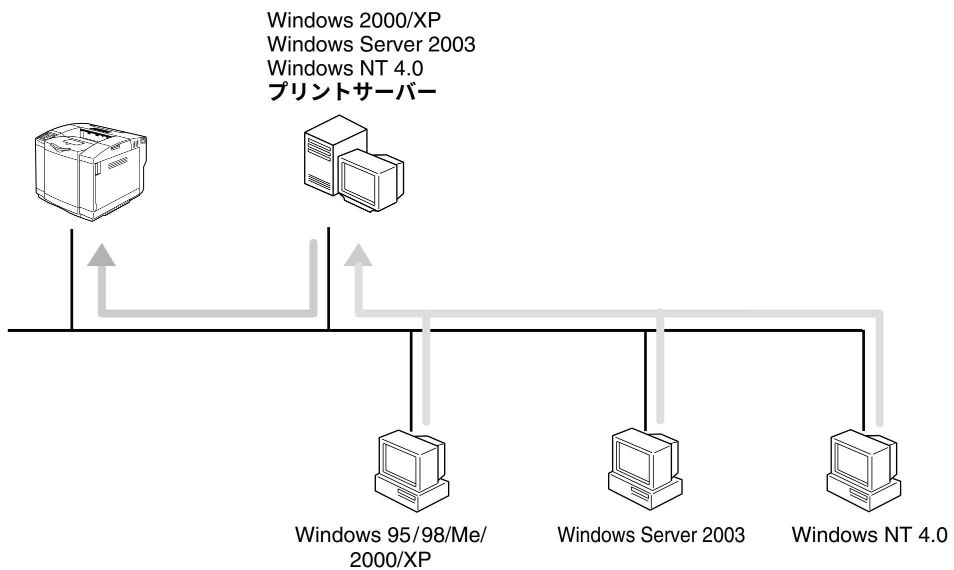
❖ **プリンターとコンピューターの接続方法**

- **ネットワーク接続（イーサネットケーブル）**
- **ネットワーク接続**（IEEE 802.11b（**無線**LAN））
- **パラレル接続（パラレルケーブル）**
- USB**接続**
- Bluetooth[TM]**接続**

プリントサーバーを準備する

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。



P.10「ご使用前の準備」を参照して本機のネットワーク環境を設定します。その後、ご使用のWindowsに合わせて以下の記載を参照してプリントサーバーを準備します。

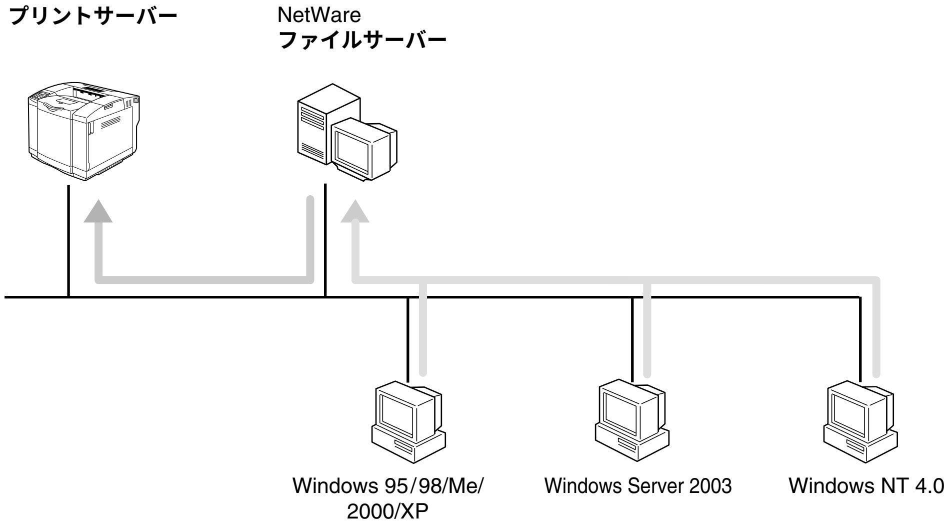
- Windows 2000 ⇒ P.17 「Windows 2000プリントサーバーを準備する」
- Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.41 「Windows XP、Windows Server 2003プリントサーバーを準備する」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.63 「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」

NetWare サーバーを使う

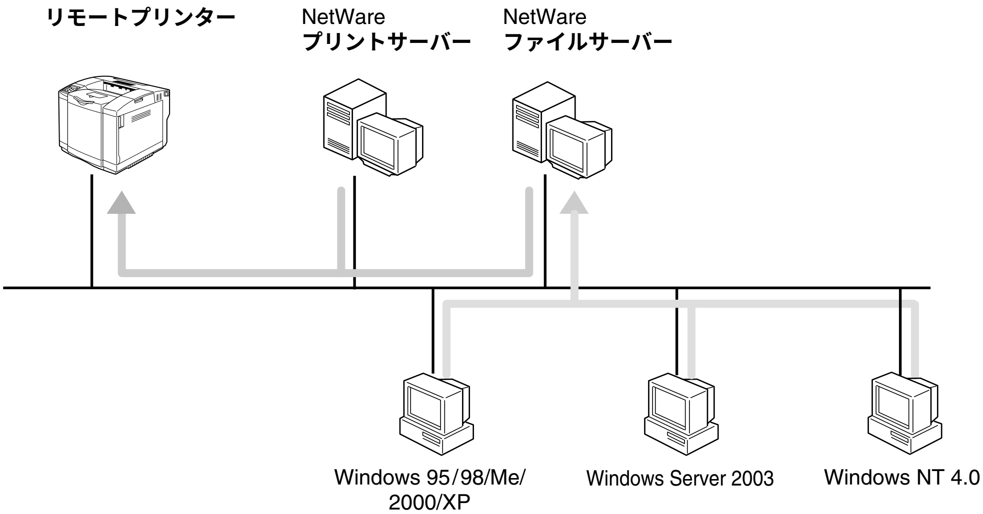
NetWare 3.xJ、NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。

本機をプリントサーバーとして使う形態とリモートプリンターとして使う形態の2種類があります。

❖ プリントサーバーとして使う場合



❖ リモートプリンターとして使う場合



P.10「ご使用前の準備」を参照して本機のネットワーク環境を設定します。その後、P.87「NetWareサーバーを準備する」を参照して、NetWareサーバーを準備します。

❖ **ネットワーク環境を設定する**
イーサネットケーブル、または、オプションの拡張無線LANボードを使用して本機をネットワークに接続する場合、設定が必要です。

❖ **お客様登録**
インターネットでお客様登録をすることができます。

補足

❒ Windowsをご使用の場合に利用できます。Mac OSではご利用になれません。

ネットワーク環境を設定する

本機の操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

イーサネットケーブル、または、オプションの拡張無線 LAN ボードを使用して本機をネットワークに接続する場合、設定が必要です。

TCP/IP を利用できる環境で IP アドレスに関する設定をする場合は、Ridoc IO AdminやWeb Image Monitor も使用できます。

Ridoc IO Adminの操作はRidoc IO Adminヘルプを参照してください。Web Image Monitorの操作はWeb Image Monitorヘルプを参照してください。

使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作パネルから設定します。

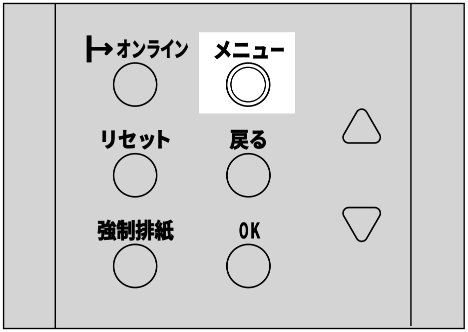
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。これらの項目は、インターフェース設定メニューの項目です。

項目名	工場出荷時	
1.DHCP	Off	
2.IPアドレス [*1]	011.022.033.044	
3.サブネットマスク [*1]	000.000.000.000	
4.ゲートウェイアドレス [*1]	000.000.000.000	
5.NWフレームタイプ	ジドウセンタク	
6.有効プロトコル	TCP/IP	ユウコウ
	NetWare	ユウコウ
	SMB	ユウコウ
	AppleTalk	ユウコウ
7.イーサネット速度 [*2]	ジドウセッテイ	
8.I/F選択	イーサネット	

[*1] DHCP環境で使用する場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。

[*2] 必要に応じて設定してください。詳しくはP.223 「インターフェース設定メニューの設定項目」を参照してください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

インターフェース設定画面が表示されます。

3【▲】または【▼】キーを押して、「3.ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ

ネットワーク設定画面が表示されます。

4【▲】または【▼】キーを押して、「6.ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ネットワークセッテイ>
6.ユウコウプロトコル

有効プロトコル設定画面が表示されます。

5【▲】または【▼】キーを押して、プロトコルを選択し、【OK】キーを押します。

<ユウコウプロトコル>
1.TCP/IP

ここではTCP/IPを有効にする例で説明します。

有効／無効選択画面が表示されます。

❶【▲】または【▼】キーを押して、有効か無効かを表示させ、【OK】キーを押します。

<TCP/IP>
*ユウコウ

設定が確定し、約2秒後に手順**5**の画面に戻ります。

❷ 他のプロトコルも同様に設定します。

❸ 【戻る】キーを押します。

手順4の画面が表示されます。

制限

- ❒ AppleTalk を使用するにはオプションのPostScript 3を含んだ拡張エミュレーションカードが必要です。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定はすべて有効に設定されています。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。
- ❒ NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを有効にしてください。

6 工場出荷時はDHCPが無効になっています。DHCP環境で本機をお使いになる場合、手順7にお進みください。固定したIPアドレスで本機をお使いになる場合、手順8にお進みください。

重要

- ❒ DHCPが有効になっていると、以下の設定を行うことができません。
  - IPアドレス
  - サブネットマスク
  - ゲートウェイアドレス

補足

- ❒ ネットワーク設定について詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

7 DHCPを有効に切り替えます。

❶ 【▲】または【▼】キーを押して「1.DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
1.DHCP
```

❷ 【▲】または【▼】キーを押して［On］を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<DHCP>
*On
```

補足

- ❒ 現在の設定値を示す項目の左側には「＊」が表示されます。
- ❒ 約2秒後ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

❸ 手順10へお進みください。

8 プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。

補足

- ❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ 011.022.033.044は使用できません。指定しないでください。

❶ 【▲】または【▼】キーを押して、「2. IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

❷ 【▲】または【▼】キーを押して、最初のフィールドに値を入力し、【OK】キーを押します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.022.033.044
```

次のフィールドが入力できる状態になります。

補足

- ❒ IPアドレスを設定する際は【▲】または【▼】キーを押した後にすぐ離し、表示が切り替わるのを確認しながら設定してください。【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ変わります。
- ❒ 変更の必要がないときは【OK】キーを押すと次のフィールドに移動します。
- ❒ ひとつ前のフィールドに移動するときは【戻る】キーを押します。
- ❒ 一番左のフィールドが入力できる状態の時に【戻る】キーを押すと、元のIPアドレスのまま手順8-❶の画面に戻ります。

❸ 他のフィールドも同様に設定し、【OK】キーを押します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.168.000.010
```

設定が確定し、約2秒後に手順8-❶の画面に戻ります。

9 TCP/IPプロトコルを使用するときは、同様の手順で「3.サブネットマスク」と「4.ゲートウェイアドレス」の項目を設定します。

10 NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは次のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET 11
- ETHERNET 802.2
- ETHERNET 802.3
- ETHERNET SNAP

補足

❒「ジドウセンタク」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

❶【▲】または【▼】キーを押して、「5. NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
5.NWフレームタイプ
```

フレームタイプ設定画面が表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、フレームタイプを選択し、【OK】キーを押します。

```
<NWフレームタイプ>
*ジドウセンタク
```

設定が確定し、約2秒後に手順10—❶の画面に戻ります。

11 インターフェースを選択します。

オプションの拡張無線LANボードが取り付けられている場合、使用するインターフェースを選択します。

ここでは「Ethernet」を選択します。

- Ethernet
- IEEE 802.11b

❶【▲】または【▼】キーを押して、「8. I/Fセンタク」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
8.I/Fセンタク
```

現在選択されているインターフェースが表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、「イーサネット」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<I/Fセンタク>
イーサネット
```

設定が確定し、約2秒後に手順11—❶の画面に戻ります。

12【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

13 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

14 プリントサーバの準備、または、クライアントのパソコンを準備します。

参照

- プリントサーバの準備をする場合は、ご使用の OS に合わせて以降の記載を参照してください。
- クライアントのパソコンを準備する場合は、使用説明書＜クライアント編＞を参照してください。

お客様登録

インターネットでお客様登録をすることができます。

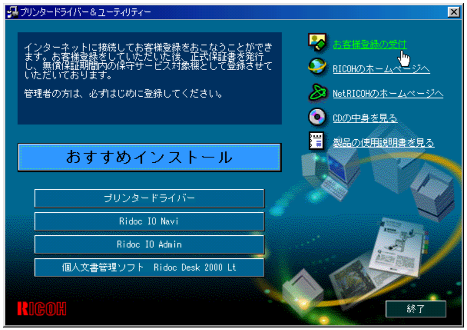
補足

❒ インターネットに接続している場合に利用できます。

1 パソコンのCD-ROMドライブにプリンタードライバーのインストールCDを入れます。

「プリンタードライバー＆ユーティリティ」画面が表示されます。

2 ［お客様登録の受付］をクリックします。



Web ブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

3 ページ内の指示に従って登録します。

4 登録終了後、Webブラウザを終了します。

5 ［終了］をクリックし、CDを取り出します。

これでお客様登録は終了です。

2. Windows 2000 プリントサーバーを準備する

本機をイーサネットで接続する場合は、プリンタードライバーをインストールし、Ridoc IO Navi、Standard TCP/IPポート、またはLPRポートを選択します。

- Ridoc IO Navi
  P.18 「プロトコルの準備をする」、P.21 「Ridoc IO Naviのインストール」、およびP.22 「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。
- Standard TCP/IPポート、LPRポート
  P.18「プロトコルの準備をする」、およびP.22「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

補足

❒ LPRポートを使用する場合は、UNIX印刷サービスをインストールしてください。インストール方法については、Windows 2000のヘルプを参照してください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPを使って印刷できるように、本機のネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.296「DHCPを使用する」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［アクセサリ］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

2 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms
TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

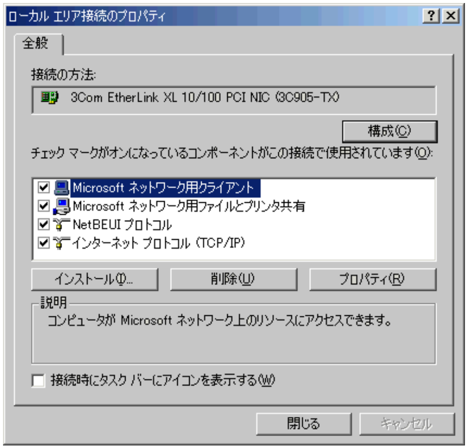
Windows 2000 の環境設定

Windows 2000に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。



補足

- TCP/IP プロトコルが選択されていない場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。
- TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

4 TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

5 LPRポートを使って印刷する場合は、「UNIX用印刷サービス」が組み込まれている必要があります。「UNIX印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。

参照

組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

操作の前に

NetBEUIを使用する場合は、Ridoc IO Naviポートを使用してください。

プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、本機のSMBプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

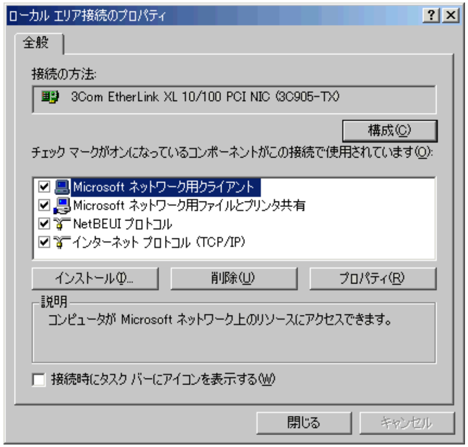
Windows 2000 の環境設定

Windows 2000に「NetBEUIプロトコル」を組み込みます。

1 ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

3 チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。



補足

- NetBEUI プロトコルが選択されていない場合は、チェックボックスにチェックを付けてください。
- NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 動作中のすべてのアプリケーションを終了します。

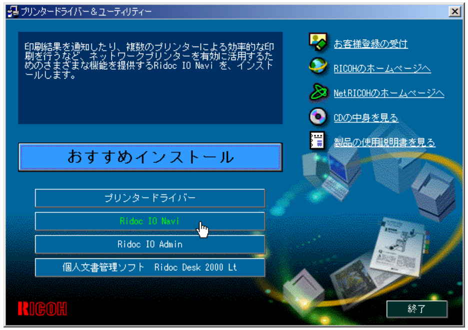
2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

3 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。

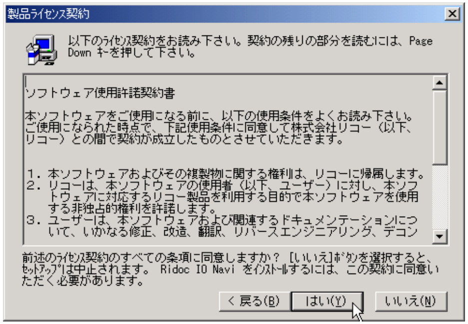


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

4 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。



5 ［製品ライセンス契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。



6 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



7 ［OK］をクリックします。

補足

❒「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 動作中のすべてのアプリケーションを終了します。

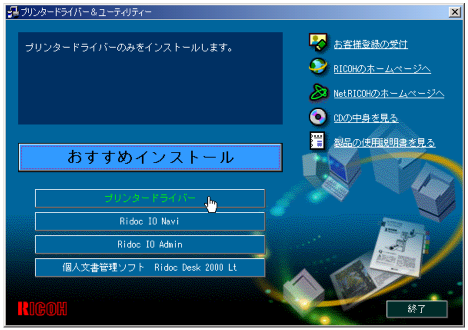
2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

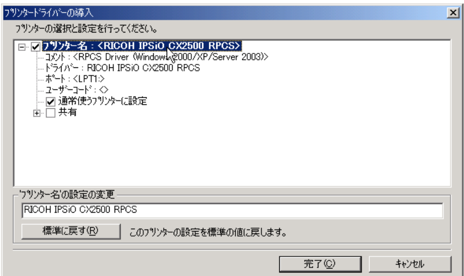
3 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］をクリックします。



4 [使用許諾]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



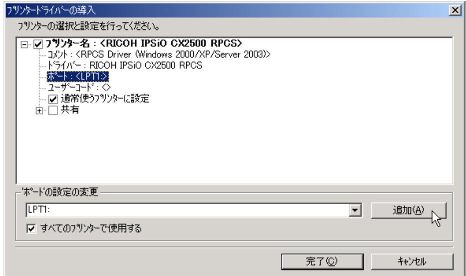
5 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

6 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

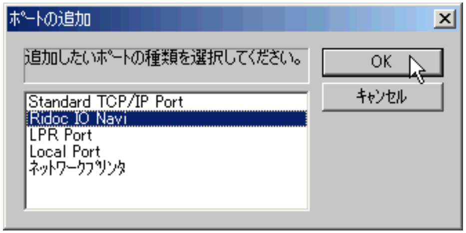


以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

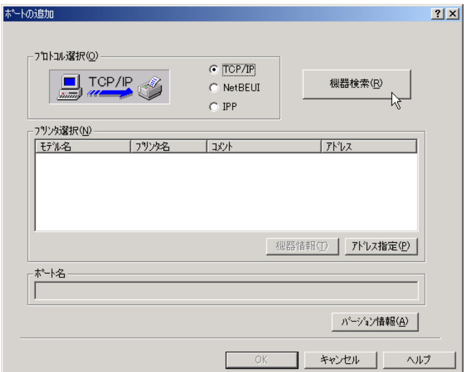


❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

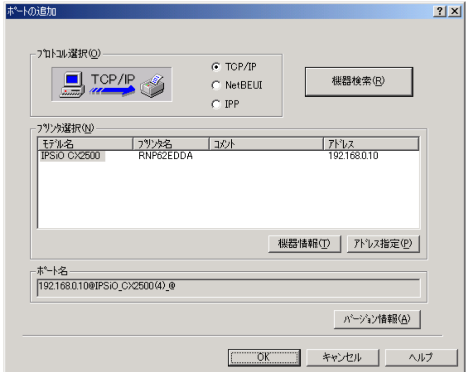
❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

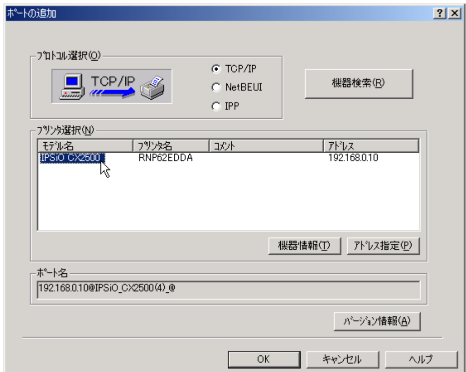
② ［機器検索］をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

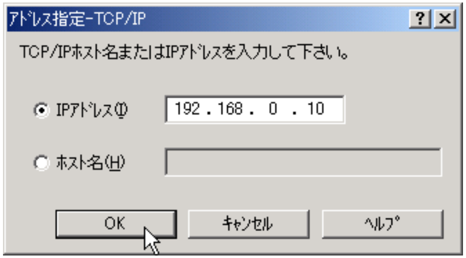


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

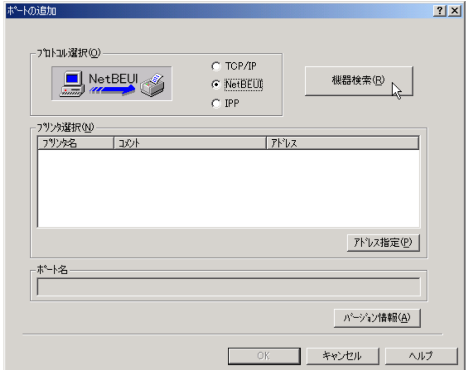


④ [OK] をクリックします。

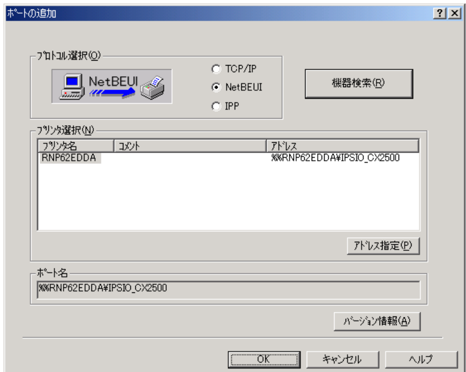
❖ NetBEUI

① [NetBEUI] をクリックします。

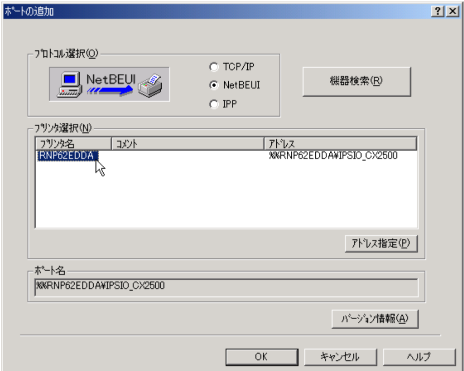
② [機器検索] をクリックします。



NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

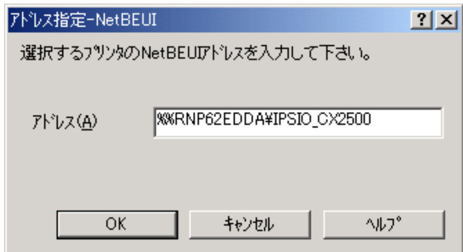


③ **印刷するプリンターをクリックして選択します。**



補足

- ❒ **ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、**P.190 「システム設定リストを印刷する」**を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。**

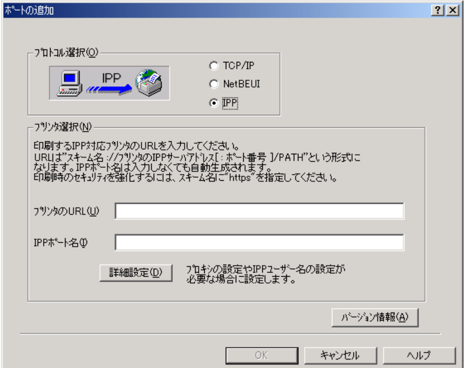


- ❒ **ルーターを越えたプリンターには印刷できません。**

④ **[OK] をクリックします。**

❖ IPP

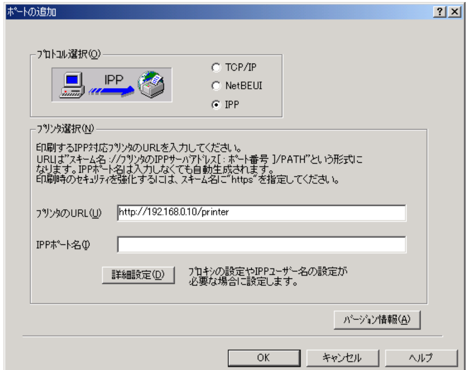
① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。



② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

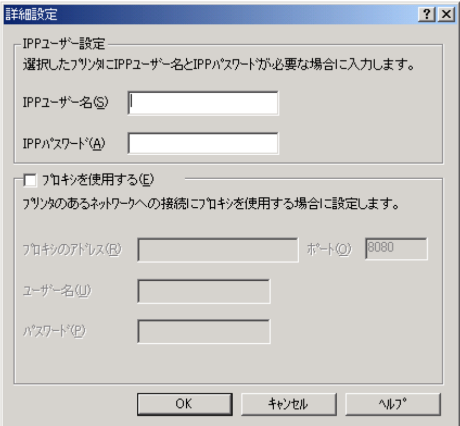
補足

❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIP アドレス /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ **プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**



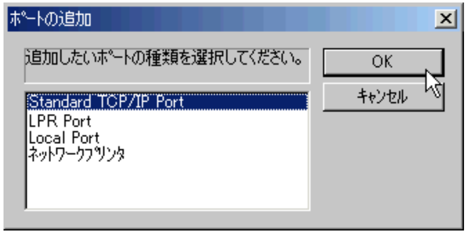
補足

❒ **設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。**

⑤ **［OK］をクリックします。**

Standard TCP/IP Port

❶ **「Standard TCP/IP Port」を選択し、［OK］をクリックします。**



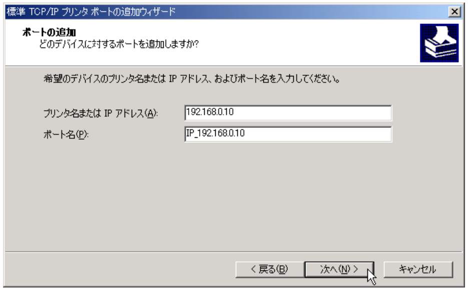
補足

❒ **「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows 2000のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。**

❷ **「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、［次へ］をクリックします。**



❸ ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。



補足

❒ ［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

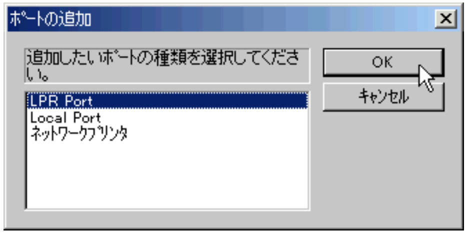
❹ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、［完了］をクリックします。



プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

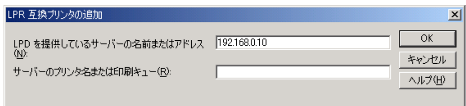
❶ 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。



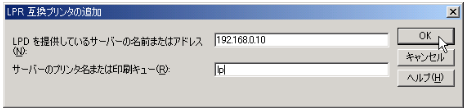
補足

❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。「UNIX用印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

❷ ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



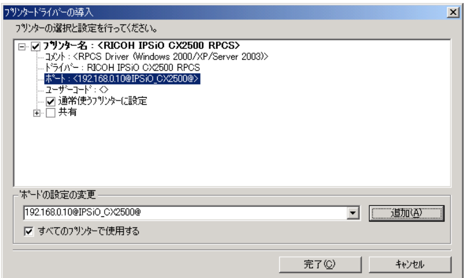
❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。



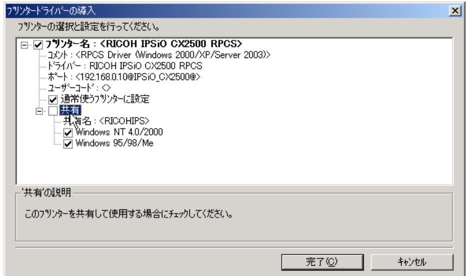
7 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

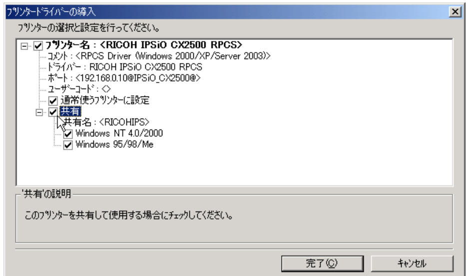
8 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。



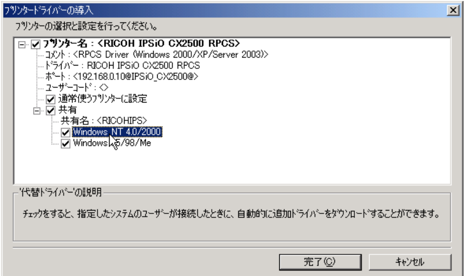
9 [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。



10 プリンターを共有する場合は、[共有] の左のボックスをクリックして✓印を付けます。



11 ［共有名］の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。



補足

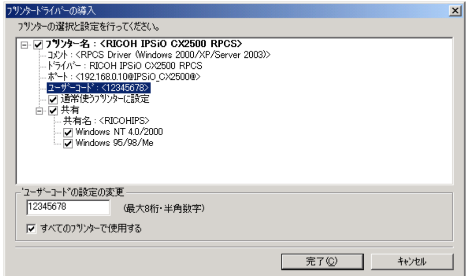
- 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（［Windows NT 4.0/2000］、［Windows 95/98］は、あらかじめ選択されています）。
- 後で追加することもできます。P.39 「共有設定」を参照してください。

12 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

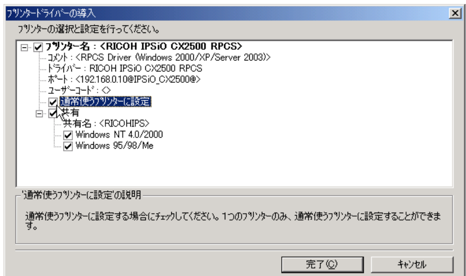
❖ ユーザーコードの設定



補足

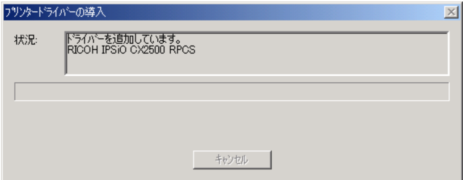
- ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーコードごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



13 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



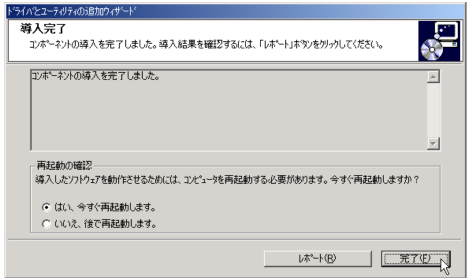
補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.37「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

14 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

15 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.38「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.35「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

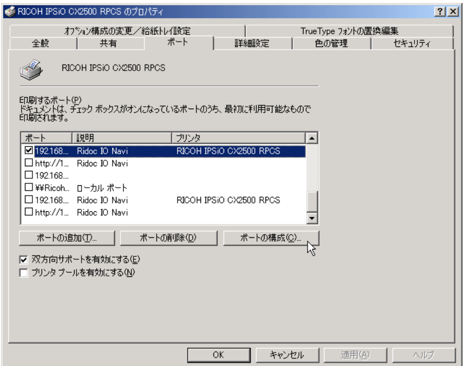
IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

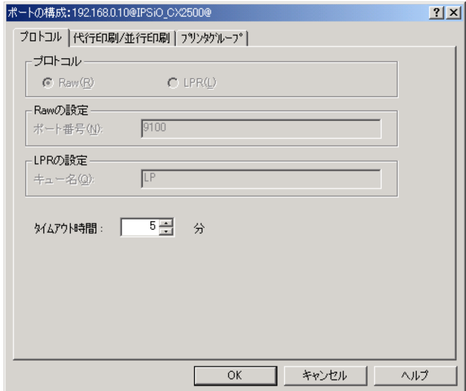
1 ［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

2 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。

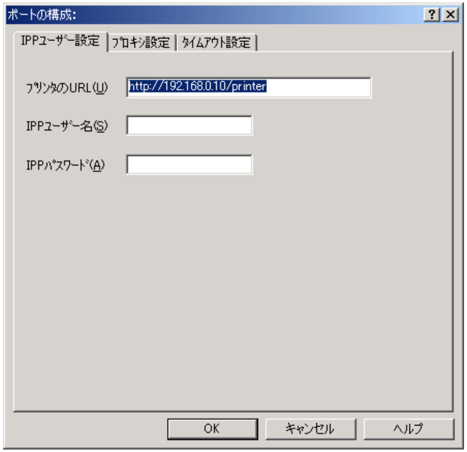
② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。

④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

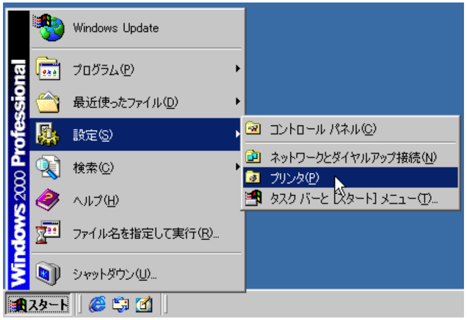
- ❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

オプションを設定する

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



次の画面が表示されます。

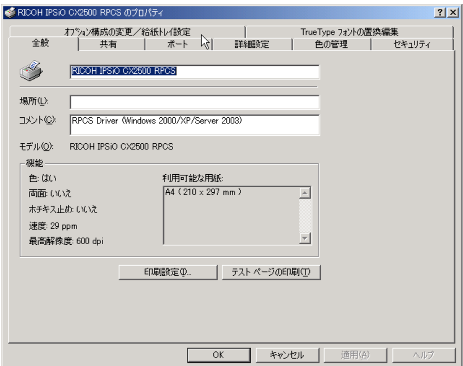


補足

❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK］をクリックします。

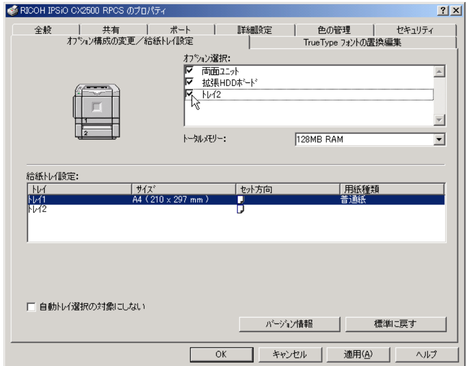
4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



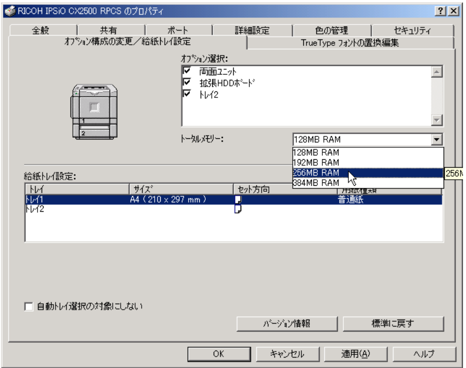
補足

❒ [オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 ［給紙トレイ設定］で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、［トレイ用紙サイズ］・［トレイ用紙セット方向］・［トレイ用紙種類］を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］に✓印を付けます。

8 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ ［初期設定］タブをクリックして［オプ ション構成の変更 / 給紙トレイ設定］をクリックすると、手順**5**の画面が表示され ます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS ¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

Windows 2000で双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003の場合）

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

クライアントからプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

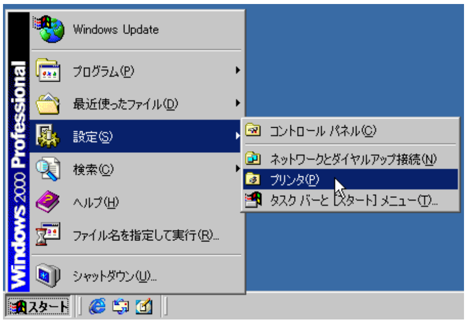
制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators またはPowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



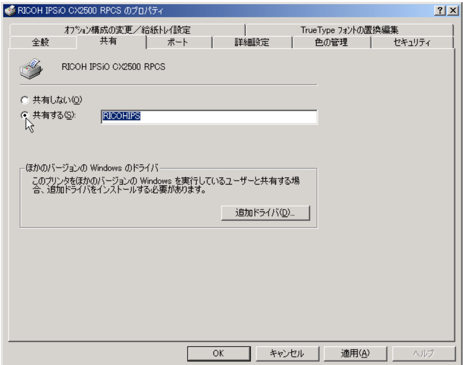
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

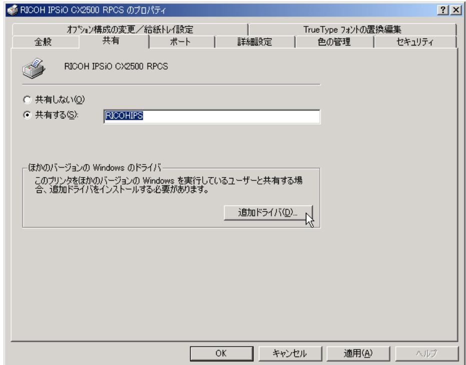


プリンターのプロパティが表示されます。

3 [共有] タブをクリックし、[共有する] に✓印を付けます。



4 プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、[追加ドライバ] をクリックします。



補足

- ❒ インストールの際に共有をチェック（✓印を付ける）して代替ドライバーをインストールした場合は、これは必要ありません。

5 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

本機をイーサネットで接続する場合は、プリンタードライバーをインストールし、Ridoc IO Navi、Standard TCP/IP**ポート、または**LPR**ポートを選択します。**

- Ridoc IO Navi
  P.42 **「プロトコルの準備をする」**、P.44 「Ridoc IO Navi**のインストール」**、**および**P.46 **「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。**
- Standard TCP/IP**ポート、**LPR**ポート**
  P.42 **「プロトコルの準備をする」、および**P.46 **「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。**

補足

- ❒ LPR**ポートを使用する場合は、**UNIX**印刷サービスをインストールしてください。インストール方法については、**Windows XP**または**Windows Server 2003**のヘルプを参照してください。**

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

プリンターの環境設定

TCP/IPプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、使用説明書＜取り扱い編＞を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.296「DHCPを使用する」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows XP、Windows Server 2003上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］-［アクセサリ］の順にポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IP アドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

Windows XP、Windows Server 2003 の環境設定

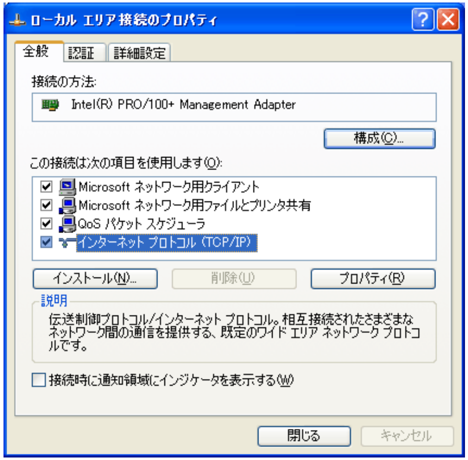
Windows XP、Windows Server 2003に「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IPのプロパティを設定します。

1 [コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット接続] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク接続] をクリックします。

3 [ローカルエリア接続]を選択して、[この接続の設定を変更する] をクリックします。

4 [この接続は次の項目を使用します] ボックスに、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。



補足

- ❒ TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法について詳しくは、Windows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してください。

5 TCP/IPプロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

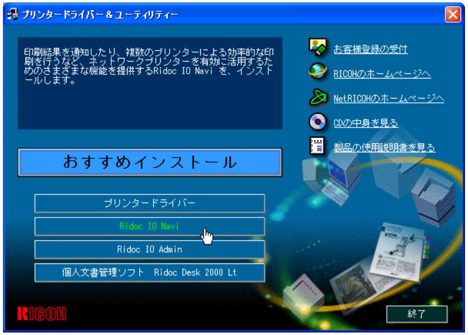
1 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

補足

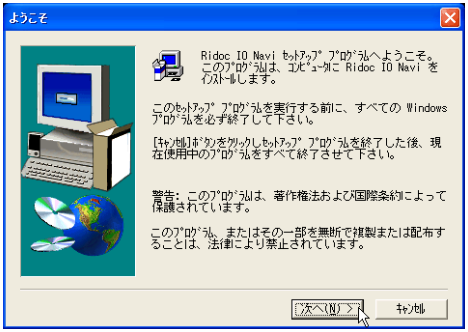
❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 **セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。**

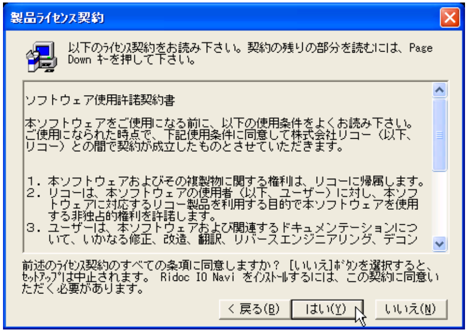


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**



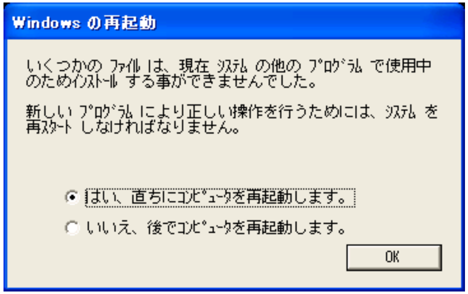
4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

補足

- ❒ インストール終了後に「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合、Windowsを再起動してください。



プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

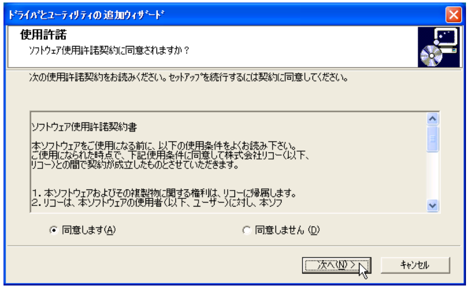
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

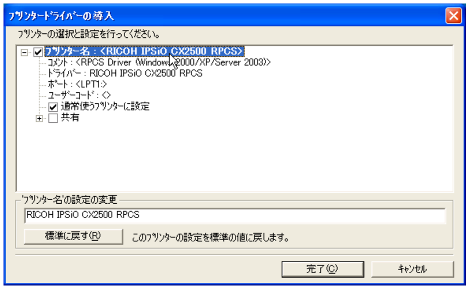
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



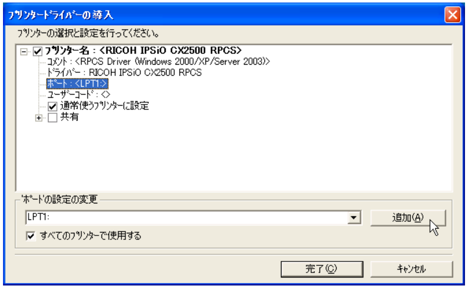
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

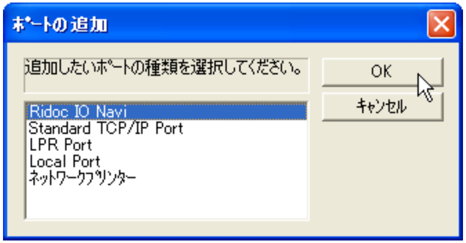


以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

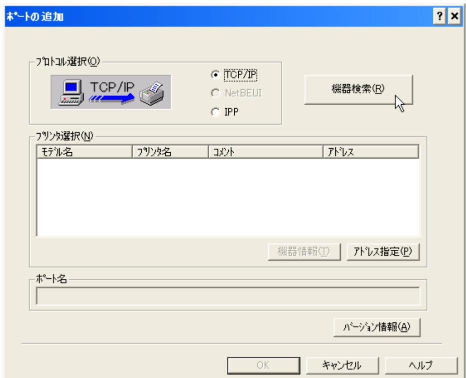


❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

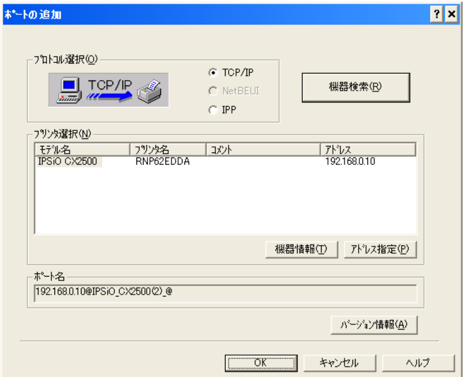
❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

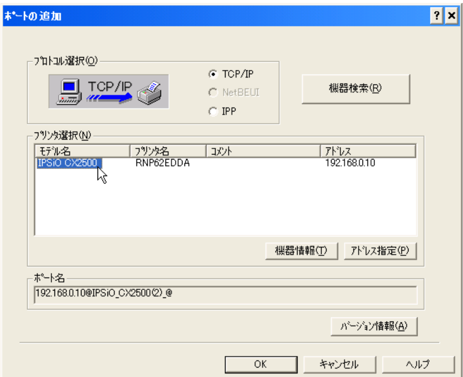
② ［機器検索］をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

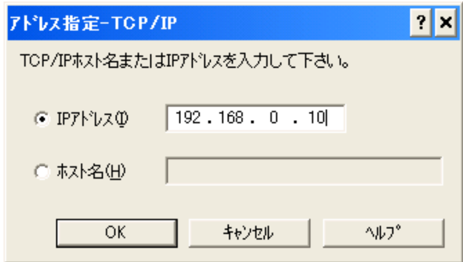


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

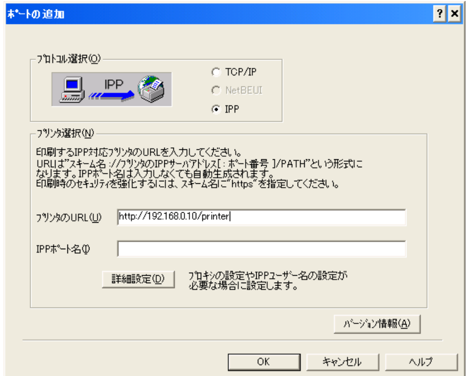
① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。



② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

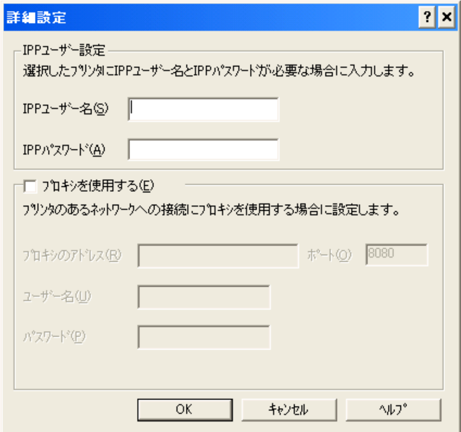
補足

❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIP アドレス /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。



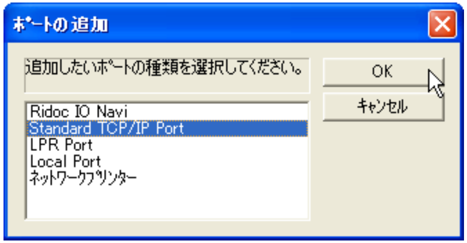
補足

- ❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

⑤ [OK] をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

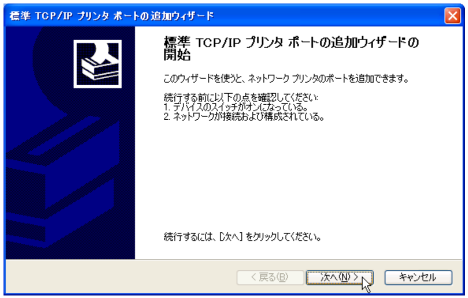
❶ 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。



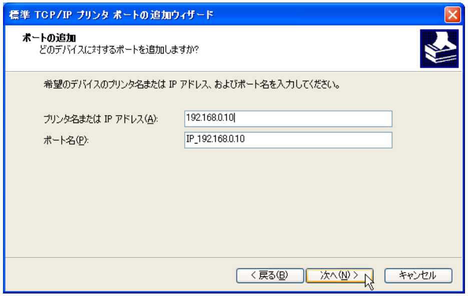
補足

- ❒ 「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。

❷ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。



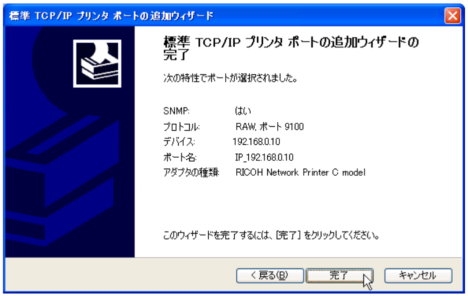
❸ ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。



補足

- ❒ ［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、［完了］をクリックします。



プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

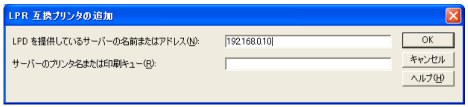
❶ 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。



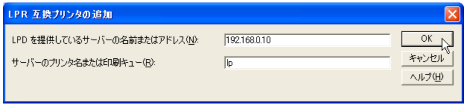
補足

- ❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してください。

❷ ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



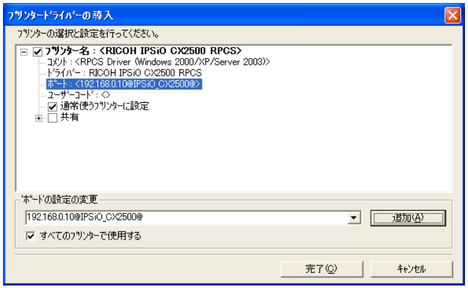
❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。



6 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

7 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。



8 [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。



9 プリンターを共有する場合は、[共有] の左のボックスをクリックして✓印を付けます。



10 [共有名] の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。

補足

- ❒ 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（[Windows NT 4.0/2000]、[Windows 95/98] は、あらかじめ選択されています）。
- ❒ 後で追加することもできます。P.61 「共有設定」を参照してください。

11 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定



補足

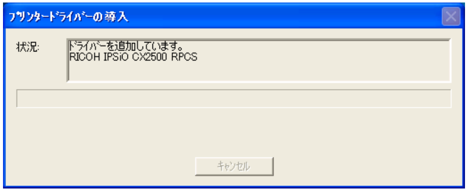
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーコードごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



12 ［完了］をクリックします。

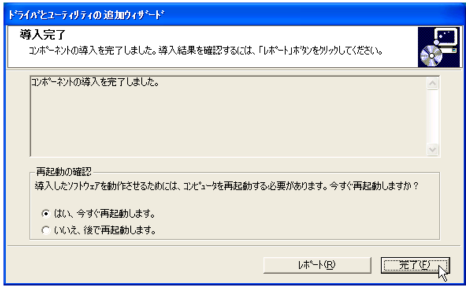
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ インストールの途中でメッセージが表示されることがあります。その場合は［続行］をクリックしてインストールを続行してください。
- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.59「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

13 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

14 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.60「双方向通信が働く条件」を参照してください。

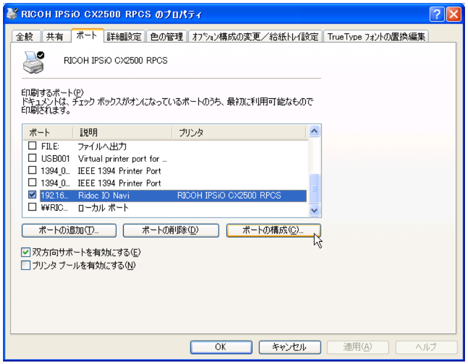
オプションの設定方法は、P.57「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

1 [プリンタとFAX] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

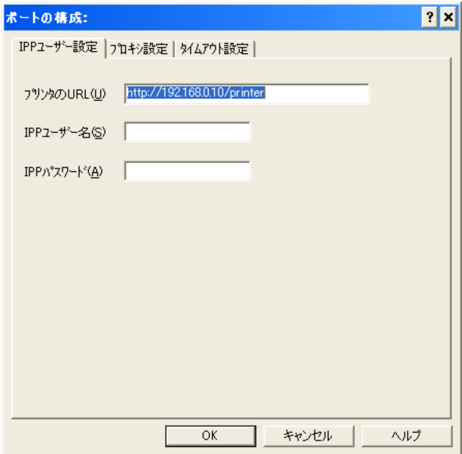
- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

- ❒ [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
  - ① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。
  - ② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。
  - ③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。
  - ④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。
- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

オプションを設定する

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］ウィンドウを表示させます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



次の画面が表示されます。

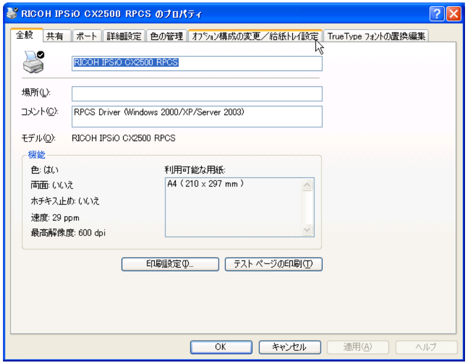


補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順**4**の画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

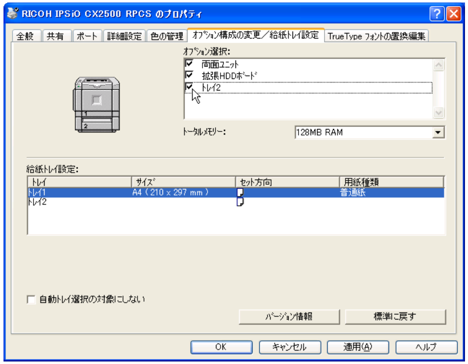
4 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



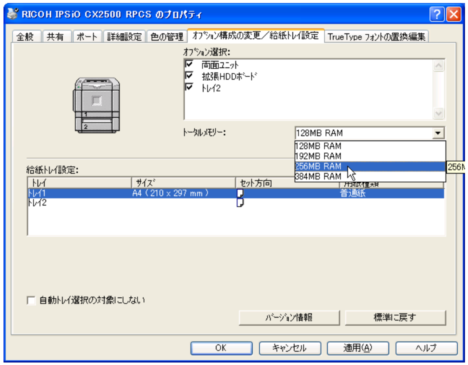
補足

- ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションのSDRAMモジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

8 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順5の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

Windows XPおよびWindows Server 2003で双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

クライアントからプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

制限

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

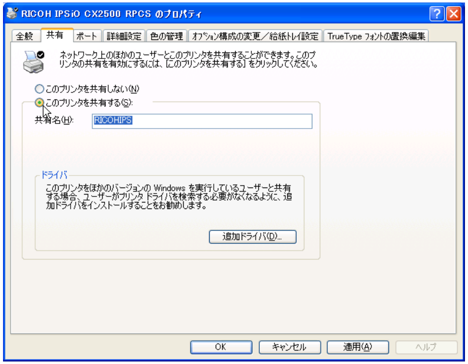
印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 [スタート] ボタンから、[プリンタとFAX] ウィンドウを表示させます。

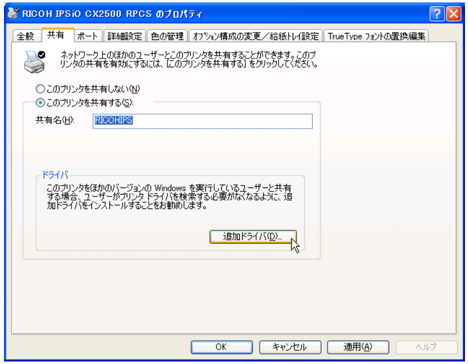
2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



3 [共有] タブをクリックし、[このプリンタを共有する] をクリックします。



4 プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、[追加ドライバ] をクリックします。



補足

- ❒ インストールの際に共有をチェック（✓印を付ける）して代替ドライバーをインストールした場合は、これは必要ありません。

5 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

本機をイーサネットで接続する場合は、プリンタードライバーをインストールし、Ridoc IO Navi、またはLPRポートを選択します。

- Ridoc IO Navi
  P.64 「プロトコルの準備をする」、P.68 「Ridoc IO Naviのインストール」、およびP.69 「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。
- LPRポート
  P.64「プロトコルの準備をする」、およびP.69「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

補足

❒ LPRポートを使用する場合は、UNIX印刷サービスをインストールしてください。インストール方法については、Windows NT 4.0のヘルプを参照してください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.296「DHCPを使用する」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

`C:> ping 192.168.15.16`

正しく設定されていると次のように表示されます。

`Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32`

間違って設定されていると次のように表示されます。

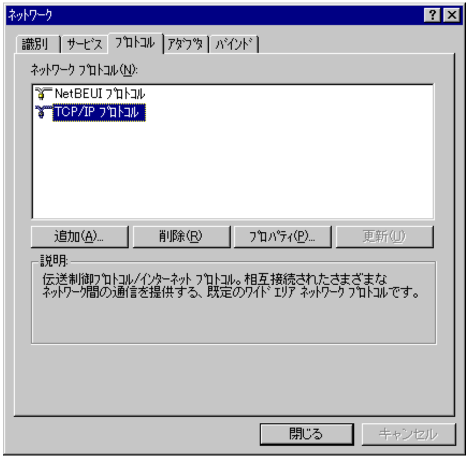
`Request timed out.`

❖ Windows NT 4.0の環境設定

Windows NT 4.0に「TCP/IPプロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」ソフトウェアを組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

② ［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

③ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

④ LPRを使って印刷する場合は、［サービス］タブをクリックし、ネットワークサービスとして「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていることを確認します。



「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていないときは、［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、本機のSMBプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

❖ Windows NT 4.0の環境設定

Windows NT 4.0に「NetBEUIプロトコル」を組み込み、LANアダプタ（LANA）番号を変更します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックます。

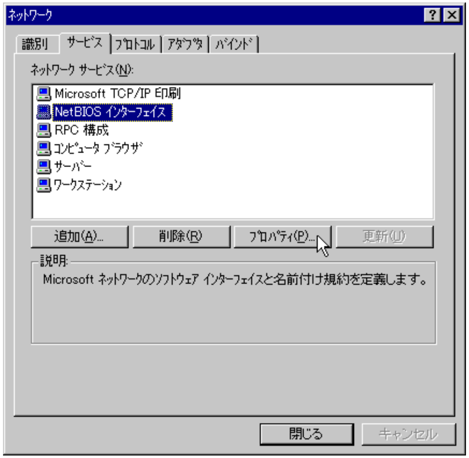
② ［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。



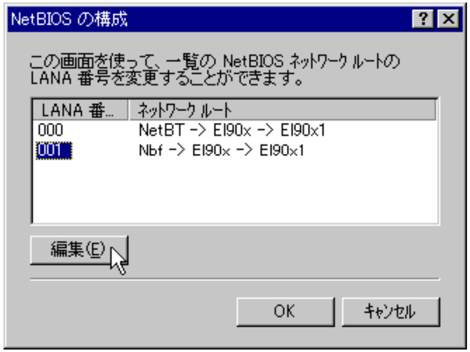
補足

❒ NetBEUIプロトコルが組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

③ LANA番号を変更します。［サービス］タブをクリックし、［ネットワークサービス］ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。



④ ［ネットワークルート］見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、［編集］をクリックします。



⑤ LANA番号として「0」を入力します。

補足

❒ 他のプロトコルの LANA 番号が 0 に設定されているときは、そのプロトコルを 0 以外に変更してください。

⑥ ［OK］をクリックします。

⑦ ［閉じる］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

⑧ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

補足

❒ LANA 番号を変更したときは必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

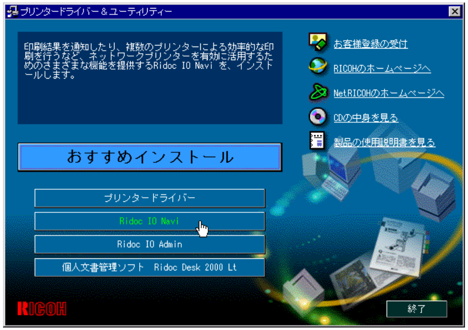
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi]をクリックします。

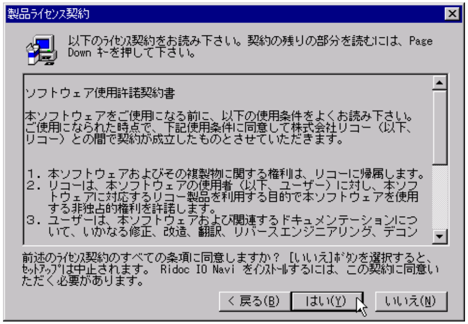


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。



4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックします。

補足

- ❒ 「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

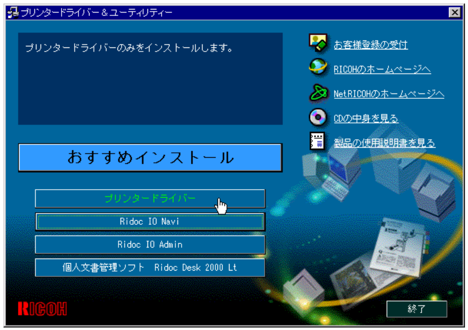
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

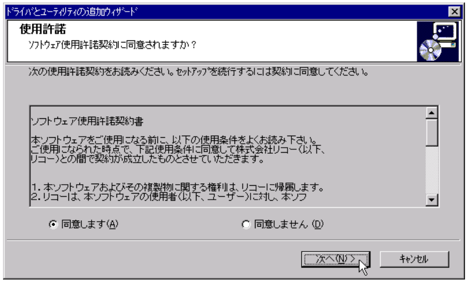
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

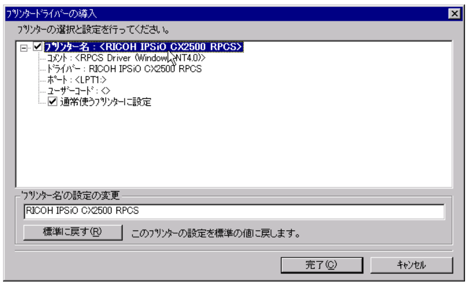
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



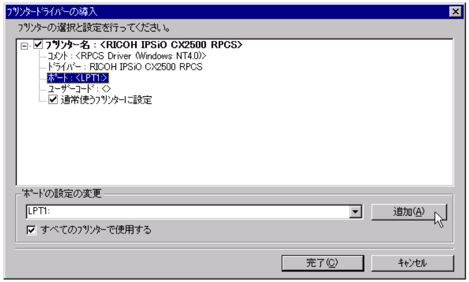
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

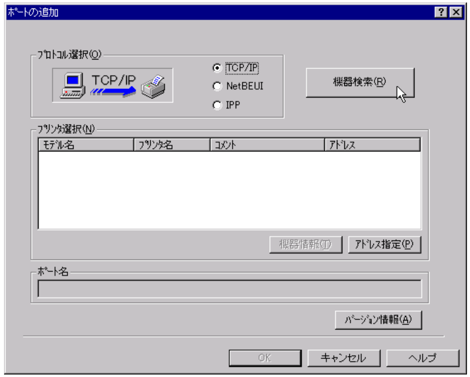


❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

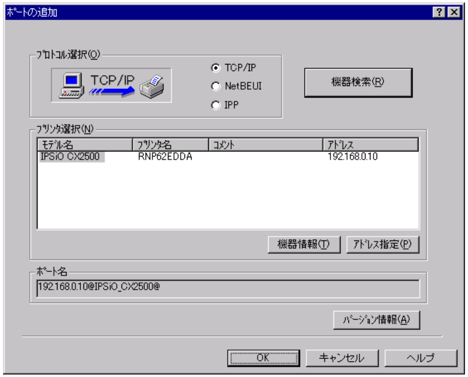
❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

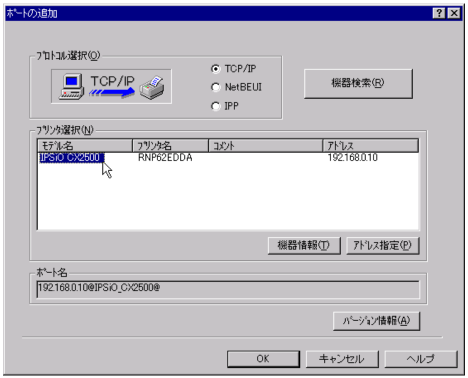
② ［機器検索］をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

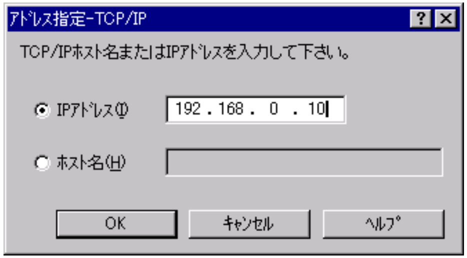


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

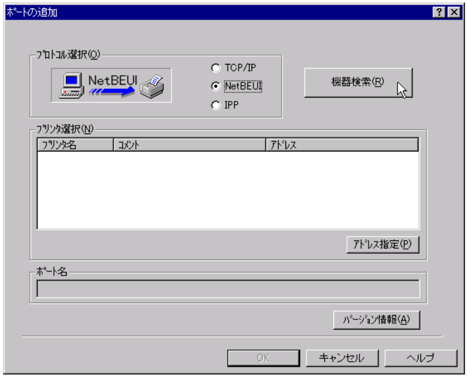


④ [OK] をクリックします。

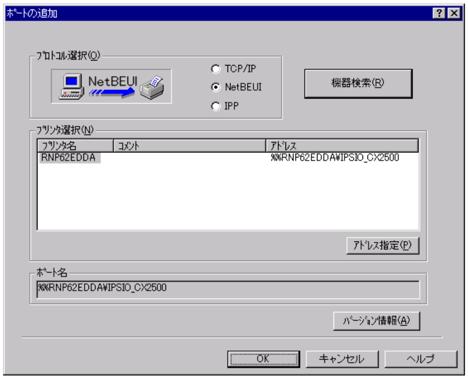
❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

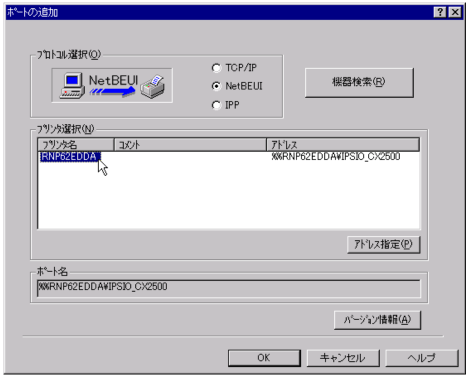
② ［機器検索］をクリックします。



NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。



③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.190 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

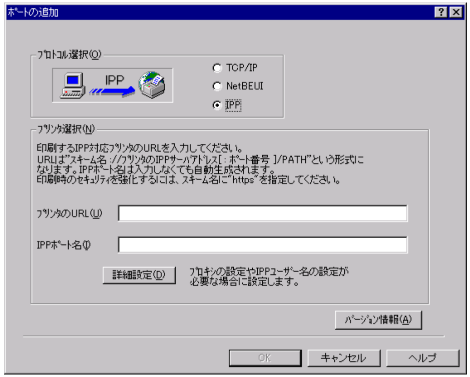


- ❒ ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

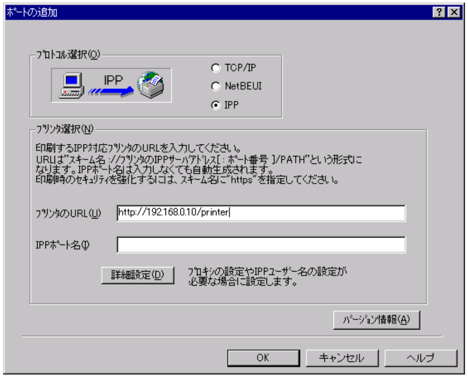
④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。

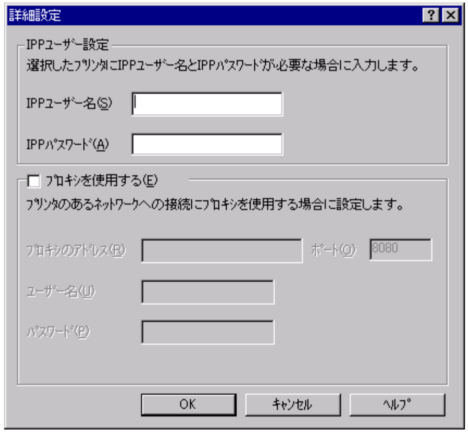


② ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIPアドレス/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。



補足

- 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

LPR Port

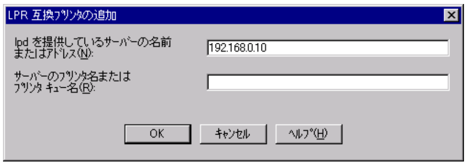
❶「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。



補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX 印刷サービス」が正しく組み込まれていません。[サービス] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0 のヘルプを参照してください。

❷ [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。



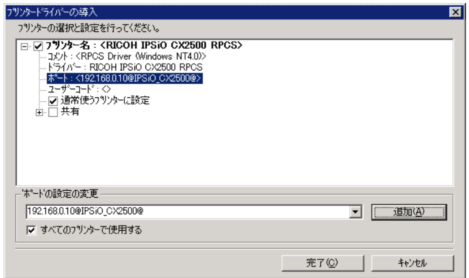
❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。



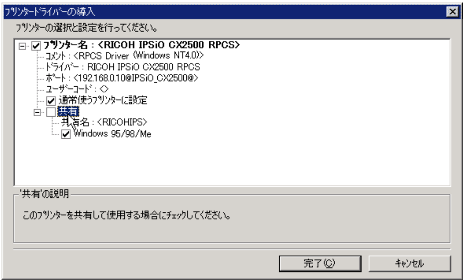
6 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

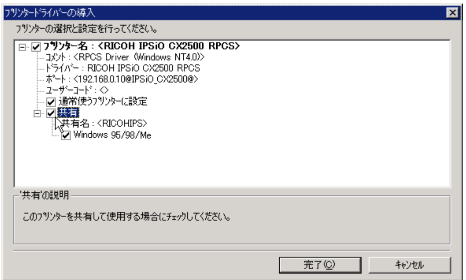
7 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。



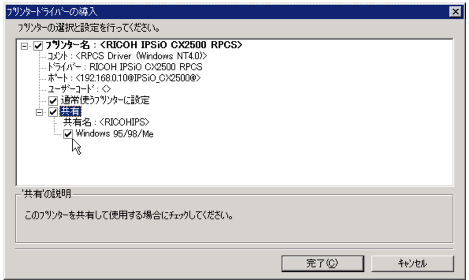
8 ［共有］をダブルクリックし、共有の設定を展開します。



9 プリンターを共有する場合は、［共有］の左のボックスをクリックし、チェックマークを付けます。



10 ［共有名］の下にあるボックスをクリックし、必要なシステムの代替ドライバーをインストールすることができます。



補足

- ❒ 共有をチェックする（✓印を付ける）と、代替ドライバーがインストールされます（［Windows 95/98］は、あらかじめ選択されています）。
- ❒ 後で追加することもできます。P.85 「共有設定」を参照してください。

11 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

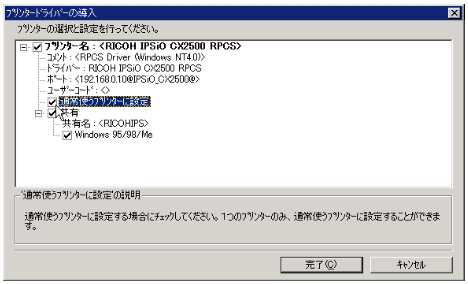
❖ ユーザーコードの設定



補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーコードごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



12 ［完了］をクリックします。

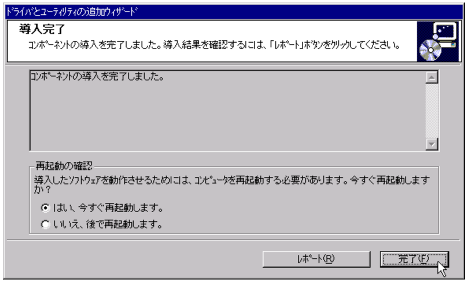
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.83「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
  - 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

13 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

14 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.84「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.81「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

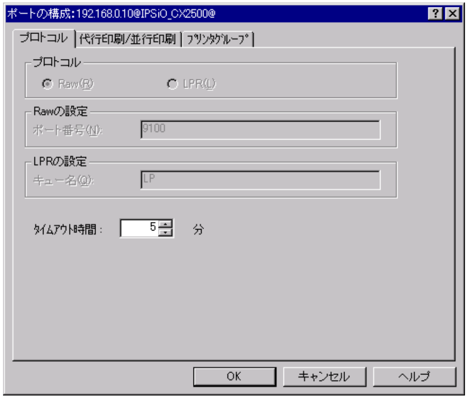
- NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。

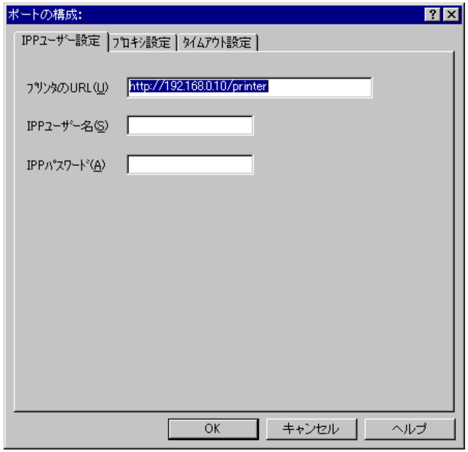
② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。

④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

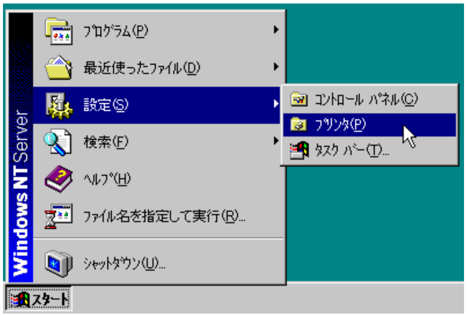
❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

オプションを設定する

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



次の画面が表示されます。

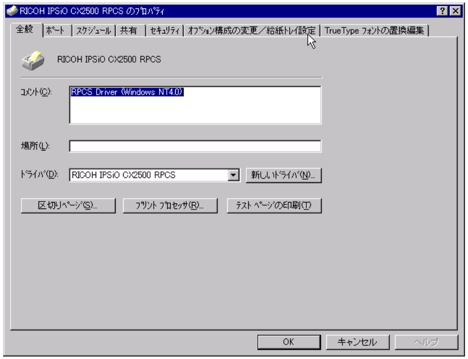


補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順**4**の画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

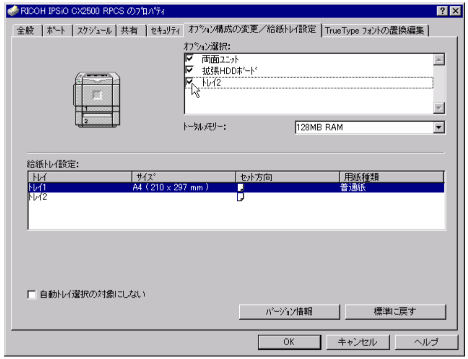
4 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



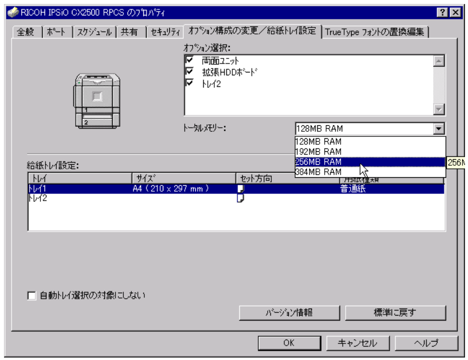
補足

❒ ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 [給紙トレイ設定]で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類]を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は[自動トレイ選択の対象にしない]をチェックします。

8 [OK]をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- [初期設定]タブをクリックして[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]をクリックすると、手順5の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき





上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加]でインストールし直してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントし、[プリンタ]をクリックします。

② [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。

プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WINNT4¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは[キャンセル]をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

Windows NT 4.0で双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

共有設定

クライアントがプリンターを使用するために共有設定をします。また、Ridoc IO Naviで印刷通知設定をすると、印刷結果をクライアントに通知することができます。

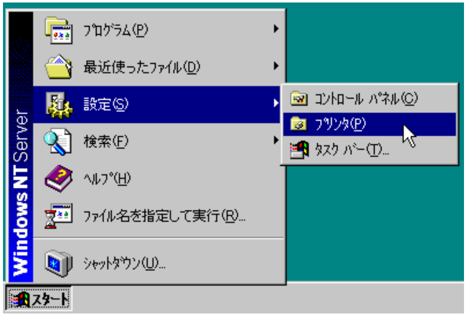
制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

印刷通知設定については、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



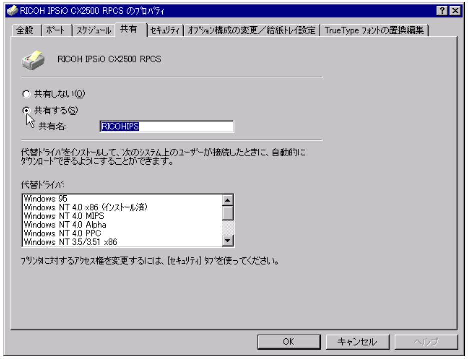
［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

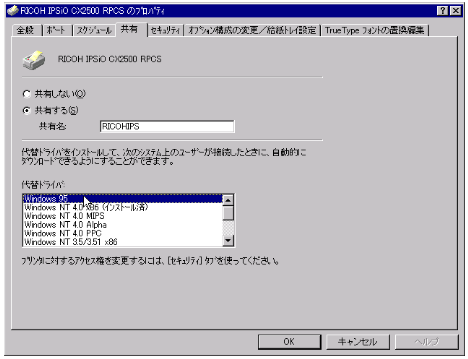


プリンターのプロパティが表示されます。

3 **[共有] タブをクリックし、[共有する] をチェックします。**



4 **プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、代替ドライバをクリックして選択します。**



補足

- ❒ インストールの際に共有をチェック（✓印を付ける）して代替ドライバーをインストールした場合は、選択する必要はありません。

5 **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

NetWare でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。NetWare ではプリンターを「プリントサーバー」または「リモートプリンター」として接続することができます。

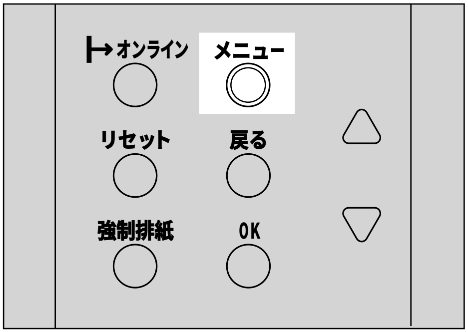
プロトコルの準備をする

プリンターの操作パネルでNetWareの設定をします。

補足

- コンピューター側に IPX/SPX プロトコルが組み込まれている必要があります。組み込まれていない場合は、Windowsのヘルプを参照してIPX/SPX プロトコルを組み込んでください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定項目を選択する画面が表示されます。

3 使用するプロトコルを有効にします。

❶ 【▲】または【▼】キーを押して「3.ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ
```

❷ 【▲】または【▼】キーを押して「6.ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
6.ユウコウプロトコル
```

❸【▲】または【▼】キーを押して「2.NetWare」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ユウコウプロトコル>
2.NetWare
```

❹【▲】または【▼】キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NetWare >
*ユウコウ
```

約2秒後有効プロトコルを設定する画面に戻ります。

❺ プロトコルの設定が終了したら【戻る】キーを押します。

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

- ❒ 工場出荷時は全てのプロトコルが有効に設定されています。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。
- ❒ NetWare5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを有効に設定してください。

4 NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET 11
- ETHERNET 802.2
- ETHERNET 802.3
- ETHERNET SNAP

補足

- ❒「自動選択」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

❶【▲】または【▼】キーを押して「5.NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
5.NWフレームタイプ
```

現在の設定が表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NWフレームタイプ>
*ジドウセンタク
```

約2秒後ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

5 設定が終了したら【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
インサツデキマス
RPCS
```

6 システム設定リストを印刷して設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

❖ Ridoc IO Adminについて

プリンターをNetWare環境で使用するには、Ridoc IO Adminを使用してNetWareのプリント環境を設定します。

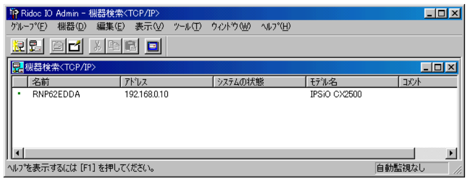
補足

❒ 下記の環境でRidoc IO Adminを使用してプリント環境を設定するときは、Novellから提供されている NetWare クライアントがインストールされている必要があります。

- Windows 95/98/Meで、NDSモードのとき
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0でNDSモードまたはBindaryモードのとき

❖ Ridoc IO Adminに表示されるプリンターについて

Ridoc IO Adminには、ネットワークに接続されているプリンターの一覧が表示されます。

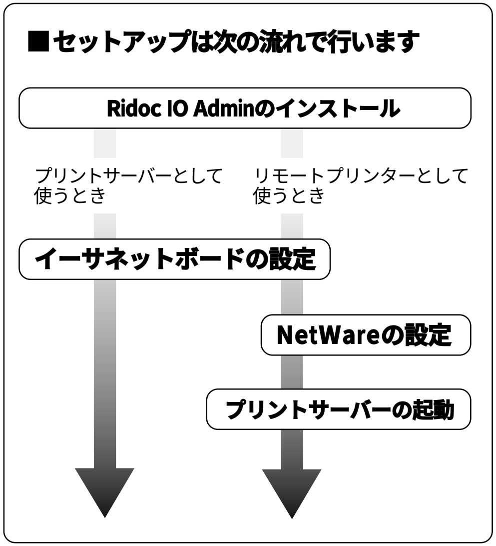


表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。

システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

NetWare 3.xJ でのセットアップ

NetWare のプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここではNetWare 3.xJにおいて、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。



補足

- ❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
    - ファイルサーバーの名前…CAREE
    - プリントサーバーの名前…PSERV
    - プリンターの名前…R-PRN
    - キューの名前…R-QUEUE

Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。Ridoc IO Adminのインストール手順については、P.128「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合は、P.91「プリントサーバーとして使う」に進んでください。

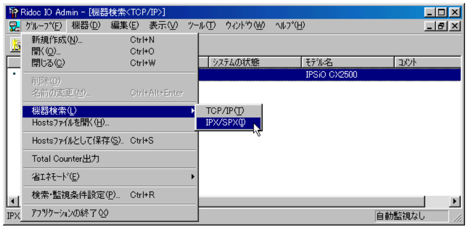
リモートプリンターとして使う場合は、P.94「リモートプリンターとして使う」に進んでください。

プリントサーバーとして使う

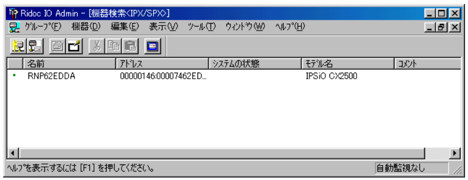
1 Supervisor または同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューの［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］を選択します。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



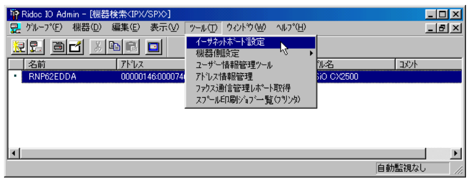
補足

- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

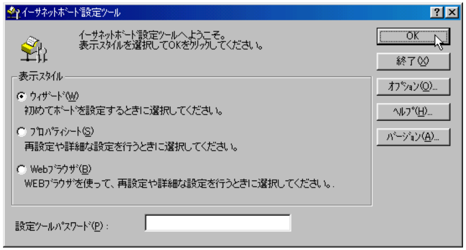
- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

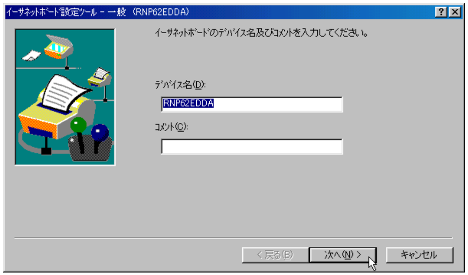


イーサネットボード設定ツールが起動します。

5 [ウィザード]をクリックして選択し、[OK]をクリックします。



6 必要に応じて[デバイス名]と[コメント]を入力し、[次へ]をクリックします。



7 [NetWare]に✓印を付け、[次へ]をクリックします。



8 [バインダリモード]をクリックして選択し、[ファイルサーバ名]を入力し、[次へ]をクリックします。



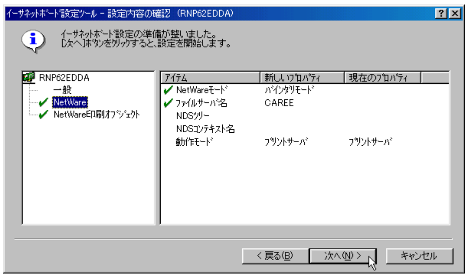
- [ファイルサーバ名]には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名(この例ではCAREE)を入力します。[参照]をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。

9 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名] を入力し、[次へ] をクリックします。



- [プリントサーバ名] には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字で47バイト以内で入力します。
- [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- [プリントキュー名] には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合R-QUEUE）を入力します。

10 設定を確認し、[次へ] をクリックします。



設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 [完了] をクリックします。



12 Ridoc IO Adminを終了します。

補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

```
F:> USERLIST
```

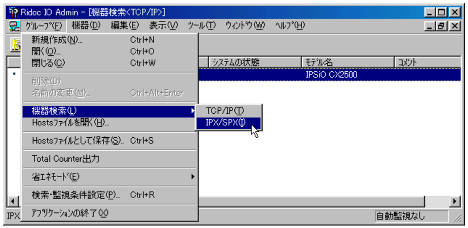
- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバー名（この例ではPSERV）が表示されます。

リモートプリンターとして使う

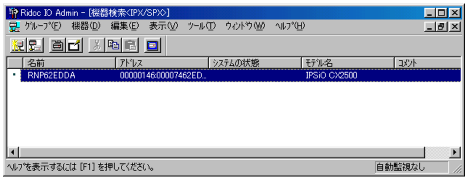
1 Supervisor または同等の権利を持つユーザとしてログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューの［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］を選択します。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



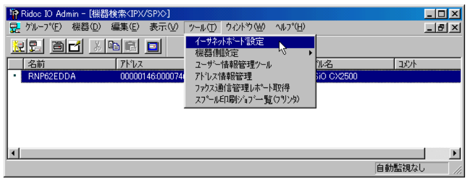
補足

- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

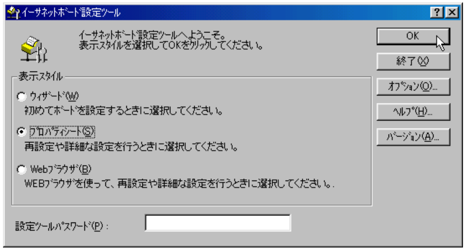
- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

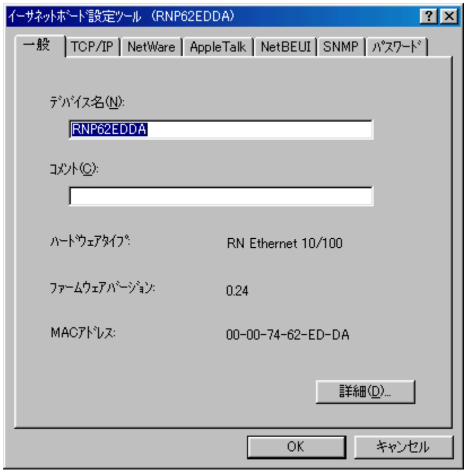


イーサネットボード設定ツールが起動します。

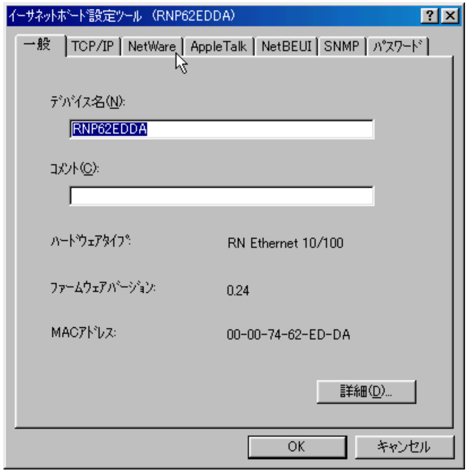
5 [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



[イーサネットボード設定ツール] ダイアログが表示されます。



6 [NetWare] タブをクリックします。



7 環境を設定します。

❶ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

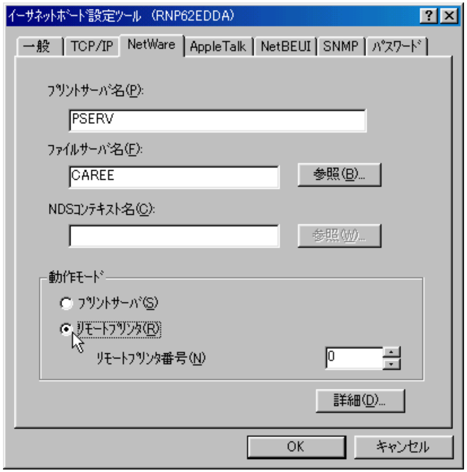
補足

❒ 47バイト以内で入力してください、

❷ [ファイルサーバ名] に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

[参照] をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ ［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。

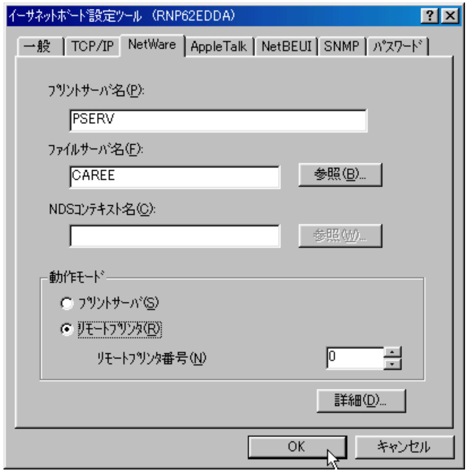


❹ ［リモートプリンタ番号］ボックスにプリンター番号を入力します。

重要

❒ プリントサーバー上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

❺ ［OK］をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

9 コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。

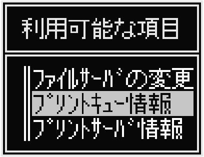
```
F:> PCONSOLE
```

10 プリントキューを作成します。

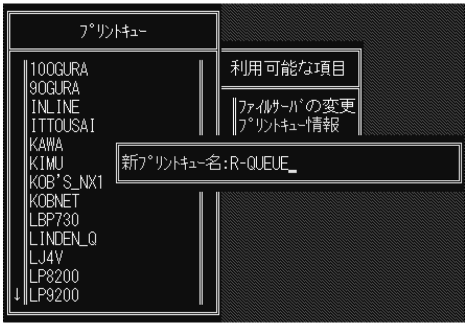
補足

- ❒ 既存のプリントキューを使う場合は、手順11に進みます。

❶［利用可能な項目］メニューから［プリントキュー情報］を選択します。



❷ Insertキーを押し、プリントキュー名を入力します。

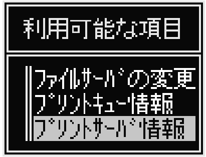


❸ Escキーを押します。

［利用可能な項目］メニューに戻ります。

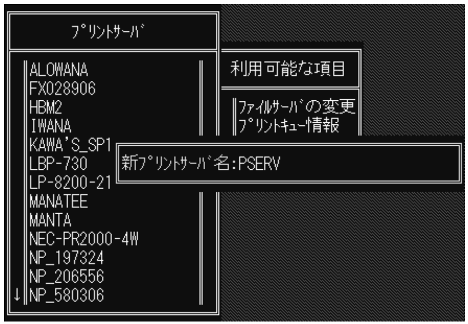
11 プリンターを作成します。

❶［利用可能な項目］メニューから［プリントサーバ情報］を選択します。



❷ 新しいプリントサーバーを作成する場合は、Insertキーを押し、プリントサーバー名を入力します。

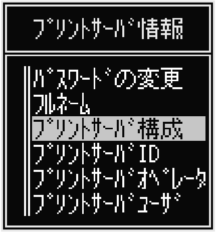
既存のプリントサーバーを使う場合は、［プリントサーバ］一覧から使用するプリントサーバーを選択します。



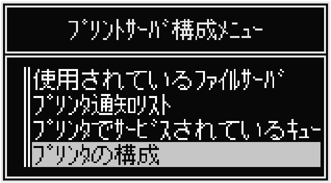
重要

- ❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名（手順7-❶）と一致させてください。

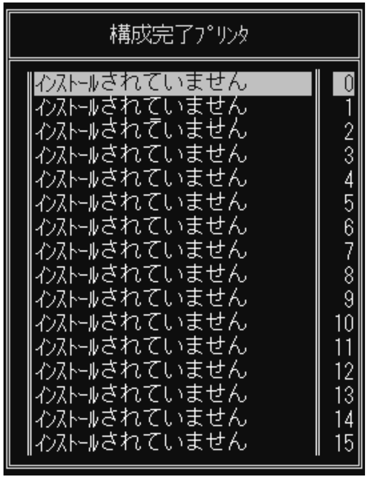
❸ [プリントサーバ情報] メニューから [プリントサーバ構成] を選択します。



❹ [プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタの構成] を選択します。



❺「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。

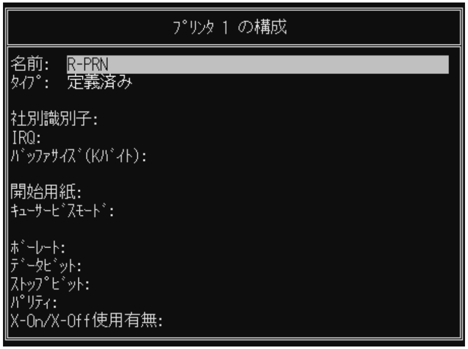


重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリンター番号（手順❼-❹）と一致させてください。

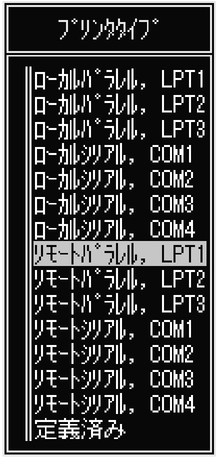
❻ **プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。**

名前は選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ×」と付けられています。



❼ **タイプとして［リモートパラレル，LPT1］を選択します。**

IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。



❽ **Escキーを押し、確認画面で［Yes］を選択します。**

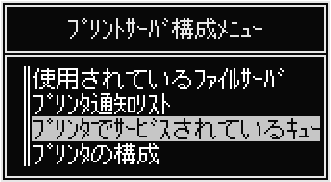


❾ **Escキーを押します。**

［プリントサーバ構成メニュー］に戻ります。

12 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

❶ [プリントサーバ構成メニュー]から[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。



❷ 手順⓫で作成したプリンターを選択します。

❸ Insertキーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。



補足

❒ 複数のキューを選択することもできます。

❹ 画面表示に従って、その他の項目を入力します。

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

13 「終了しますか？」と表示されるまでEscキーを押し、[Yes]を選択します。



PCONSOLEが終了します。

14 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

`CAREE: unload pserver`

❖ **起動する**

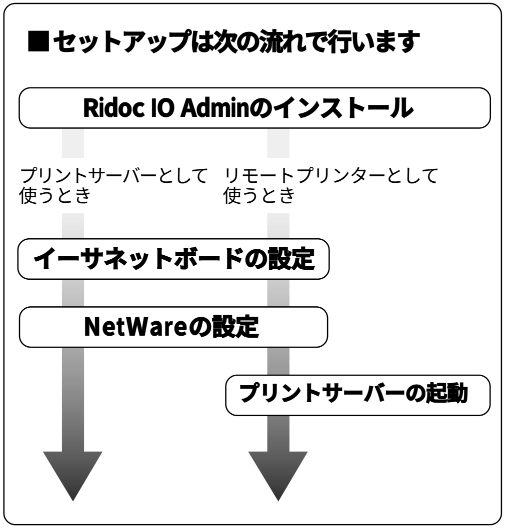
`CAREE: load pserver プリントサーバー名`

補足

❒ プリンターが設定どおり動作していると、「プリントジョブ待機中」と表示されます。

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6 でのセットアップ

NetWare のプリンター環境の設定のしかたはプリンターの使い方（プリントサーバー／リモートプリンター）によって異なります。ここではNetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6において、プリンターをプリントサーバーとして使う場合と、リモートプリンターとして使う場合について説明します。



補足

- ❒ NetWareが正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- ❒ 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバーの名前...CAREE
  - プリントサーバーの名前...PSERV
  - プリンターの名前...R-PRN
  - キューの名前...R-QUEUE

❖ NetWare 5/5.1J、Netware 6をお使いの方へ

- ピュアIP環境でお使いの場合、プリンターはプリントサーバーとしてお使いください。リモートプリンターとしては使用できません。
- ピュア IP 環境でお使いの場合、プリンターで TCP/IP プロトコルが使用できるように設定してください。設定方法については、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO AdminをWindowsにインストールします。Ridoc IO Adminのインストール手順については、P.128「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

インストール終了後、プリントサーバーとして使う場合はP.102「プリントサーバーとして使う」に進みます。

リモートプリンターとして使う場合はP.108「リモートプリンターとして使う」に進みます。

プリントサーバーとして使う

重要

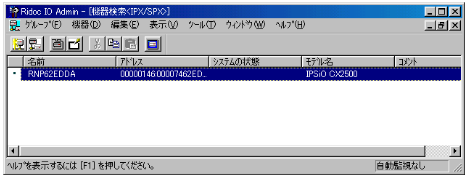
- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6においてプリントサーバーとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。

1 サーバーにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 ［グループ］メニューの［機器検索］をポイントし、［IPX/SPX］または［TCP/IP］を選択します。

設定できるプリンターの一覧が表示されます。



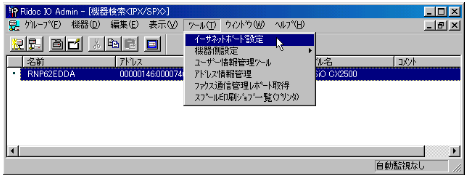
補足

- ❒ NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いの方は、［TCP/IP］を選択してください。
- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプは Windows の［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

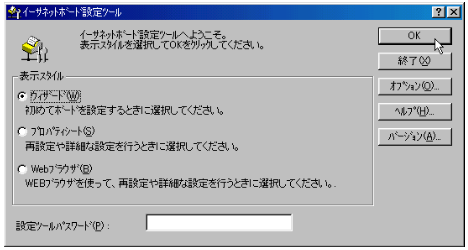


イーサネットボード設定ツールが起動します。

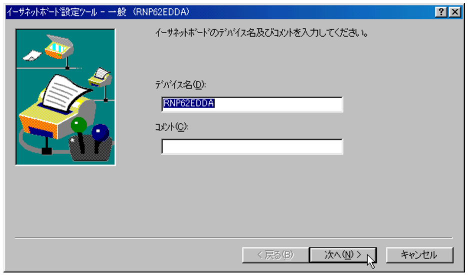
参照

NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でご使用の方はP.106「NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いの方へ」に進んでください。

5 ［ウィザード］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



6 必要に応じて［デバイス名］と［コメント］を入力し、［次へ］をクリックします。



7 [NetWare] に✓印を付け、[次へ] をクリックします。



8 [NDSモード] をクリックして選択し、[ファイルサーバ名]、[NDSツリー]、[NDSコンテキスト名] を入力し、[次へ] をクリックします。



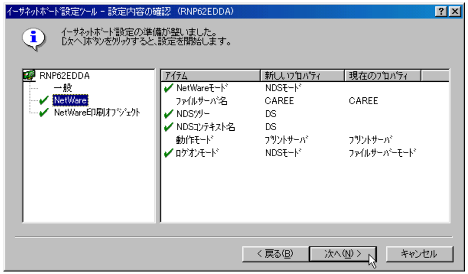
- [ファイルサーバ名] には、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名（この例ではCAREE）を入力します。[参照] をクリックして一覧からファイルサーバーを選択することもできます。
- [NDSツリー] には、プリントサーバーを作成するNDSツリーの名前を入力します。[参照] をクリックして一覧から NDS ツリーを選択することもできます。
- [NDSコンテキスト名] には、プリントサーバーを作成するコンテキストを入力します。 コンテキストは Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド（.）で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクトNETWORK にプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。[参照] をクリックして一覧から NDS コンテキストを選択することもできます。

9 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[キューボリューム] を入力し、[次へ] をクリックします。



- [プリントサーバ名] には、NetWareのプリントサーバー名（この例では、PSERV）を英数字で47バイト以内で入力します。
- [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を入力します。
- [プリントキュー名] には、NetWare上に追加するプリントキューの名前（この例の場合　R-QUEUE）を入力します。
- [キューボリューム] には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームはオブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。[参照] をクリックして一覧からボリュームを選択することもできます。

10 設定を確認し、[次へ] をクリックします。



設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11 [完了] をクリックします。



12 Ridoc IO Adminを終了します。

補足

- ❒ プリンターが設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

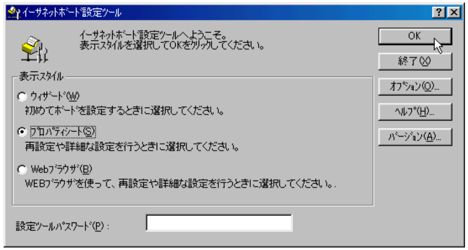
  ```
  F:> NLIST USER /A/B
  ```

- ❒ 正しく動作していると、接続しているユーザ名としてプリントサーバー名（この例ではPSERV）が表示されます。

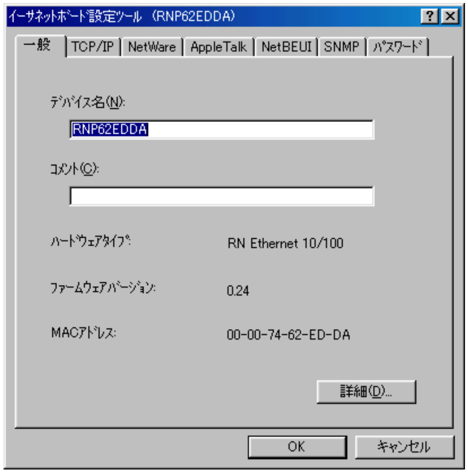
NetWare 5/5.1J、Netware 6 のピュア IP 環境でお使いの方へ

NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でキューベースのプリントサーバーを作成する場合、NetWareアドミニストレータを使用してファイルサーバー上にプリントキューを作成する必要があります。この場合、P.102「プリントサーバーとして使う」の手順5以降を次のように操作してください。

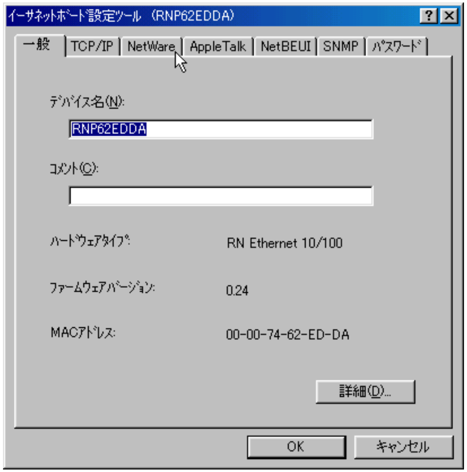
1 [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



[イーサネットボード設定ツール] ダイアログが表示されます。



2 ［NetWare］タブをクリックします。



3 環境を設定します。

❶ ［プリントサーバ名］ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。

補足

❒ 47バイト以内で入力してください、

❷ ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバーを作成するファイルサーバー名を入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルサーバーを一覧から選択できます。

❸ ［NDSツリー］に、NDSツリー名を入力します。

［参照］をクリックすると、NDSツリーを一覧から選択できます。

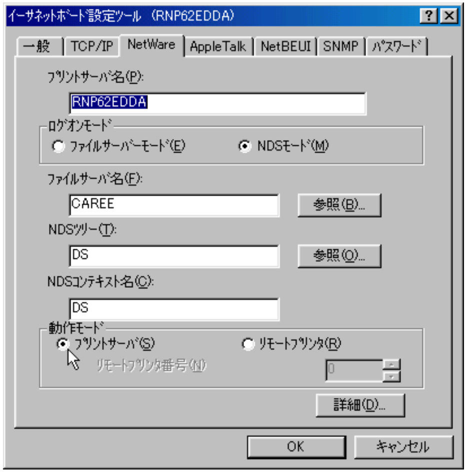
❹ NDSコンテキスト名に、NDSコンテキスト名を入力します。

［参照］をクリックすると、一覧から選択できます。

補足

❒ コンテキストはRootからのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトが DS で、その下の部門オブジェクトNETWORKにプリントサーバーを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❺ [動作モードグループ] の [プリントサーバ] をクリックして選択します。



❻ [OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

4 Ridoc IO Adminを終了します。

5 NetWareサーバーを設定します。

参照

NetWare 4.xJ、5/5.1Jの場合はP.112「NetWare 4.xJ、5/5.1Jの場合」を参照してください。

NetWare 6の場合はP.118「NetWare 6の場合」を参照してください。

リモートプリンターとして使う

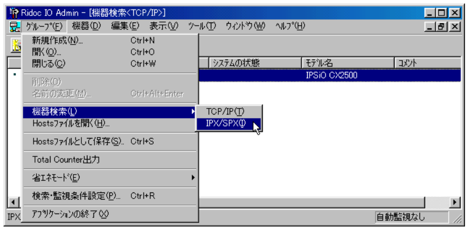
重要

- ❒ NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6においてリモートプリンターとして使用する場合は、NDSモードで使用してください。
- ❒ NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境の場合、リモートプリンターとして使用できません。

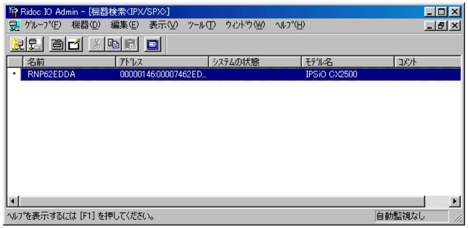
1 サーバーにAdminでログインします。

2 Ridoc IO Adminを起動します。

3 [グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



設定できるプリンターの一覧が表示されます。



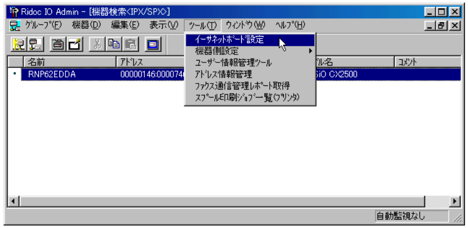
補足

- ❒ 表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、プリンターからシステム設定リストを印刷し、その「プリンタ名」と比較して目的のプリンターを探してください。
- ❒ システム設定リストの印刷方法については、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ❒ プリンターが表示されないときは、IPX/SPXプロトコルのフレームタイプをコンピューターと機器で一致させてください。コンピューターのフレームタイプはWindowsの［ネットワーク］ダイアログで変更します。機器のフレームタイプを変更する方法は、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

制限

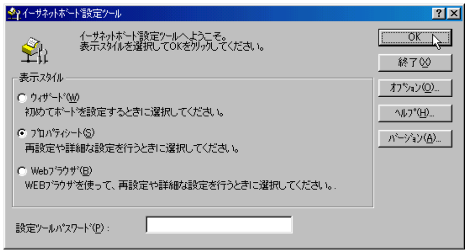
- ❒ メインウィンドウにリコー以外のプリンターが表示されることがありますが、これらのプリンターは選択しないでください。Ridoc IO Adminはリコープリンター専用のユーティリティです。

4 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［イーサネットボード設定］をクリックします。

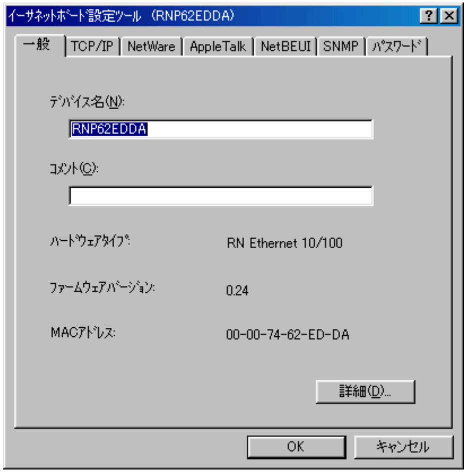


イーサネットボード設定ツールが起動します。

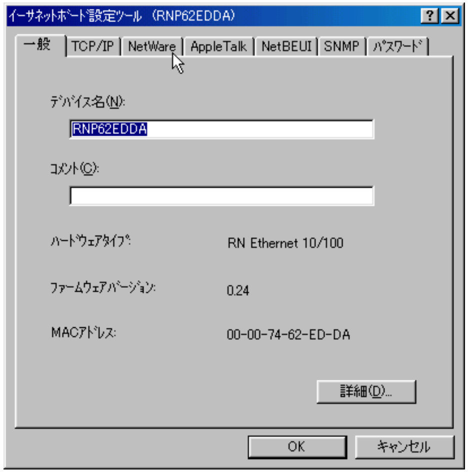
5 ［プロパティシート］をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



［イーサネットボード設定ツール］ダイアログが表示されます。



6 ［NetWare］タブをクリックします。



7 環境を設定します。

❶ ［ログオンモード］グループで［ファイルサーバーモード］か［NDSモード］を選択します。

補足

❒ ［ファイルサーバーモード］を選択すると、［ファイルサーバ名］に入力した文字列（手順③）を基に接続先を決定します。

❒ ［NDSモード］を選択すると、［NDSツリー］に入力した文字列（手順④）を基に接続先を決定します。

❷ ［プリントサーバ名］ボックスに、プリントサーバ名を入力します。

重要

❒ NetWareアドミニストレータで設定する［プリントサーバ名］と一致させてください。

制限

❒ 47バイト以内の半角英数字で入力してください。

❸ ［ファイルサーバ名］に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。

［参照］をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。

制限

❒ 47バイト以内の半角英数字で入力してください。

❹ ［NDSツリー］には、ファイルサーバを作成するNDSツリー名を入力します。

［参照］をクリックして一覧から NDS ツリーとNDSコンテキスト名を選択することもできます。

制限

❒ 32バイト以内の半角英数字（-、_使用可）で入力してください。

❺ NDS コンテキスト名に、プリントサーバのコンテキスト名を入力します。

制限

❒ 127 バイト以内の半角英数字で入力してください。

補足

❒ コンテキスト名は Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド(.)で区切って入力します。たとえばRoot上の組織オブジェクトがDSで、その下の部門オブジェクト NETWORK にプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

❻ ［動作モード］グループの［リモートプリンタ］をクリックして選択します。



❼ [リモートプリンタ番号]ボックスに、リモートプリンタ番号を入力します。

重要

❒ NetWareアドミニストレータでプリントサーバに割り当てる［プリンタ番号］と一致させてください。

❽ ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

8 Ridoc IO Adminを終了します。

9 NetWareサーバーを設定します。

参照

NetWare 4.xJ、5/5.1Jの場合はP.112「NetWare 4.xJ、5/5.1Jの場合」を参照してください。

NetWare 6の場合はP.118「NetWare 6の場合」を参照してください。

NetWare サーバーを設定する

NetWare 4.xJ、5/5.1J の場合

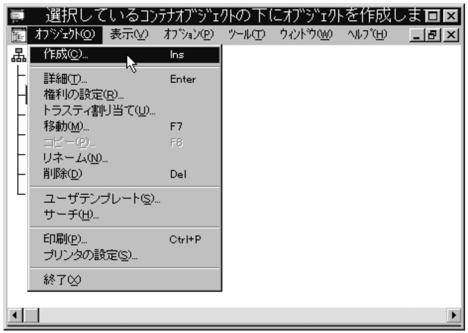
補足

❒ NetWare 4.xJの画面で説明しています。

1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。

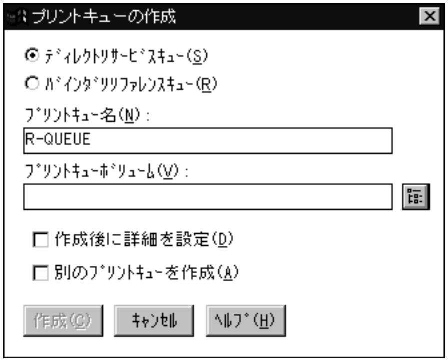
❶ 印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、［オブジェクト］メニューの［作成］をクリックします。



❷ [オブジェクトクラス]ボックスの[プリントキュー]をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。

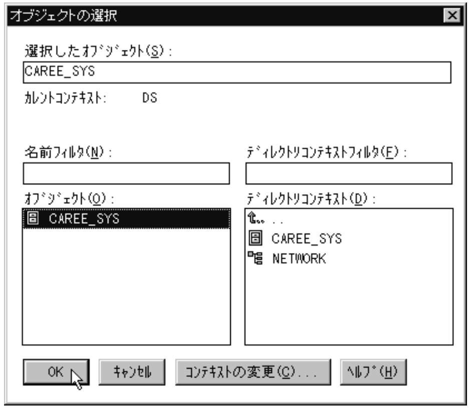


❸ [プリントキュー名] ボックスにプリントキューの名前を入力します。

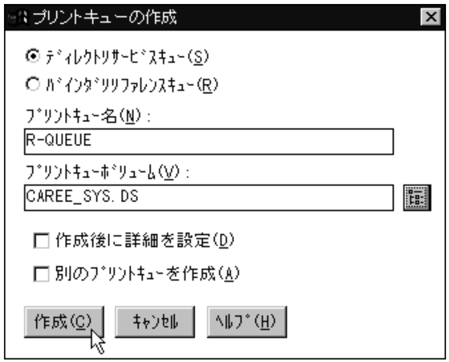


❹ [プリントキューボリューム] ボックスのブラウザボタンをクリックします。

❺ [オブジェクト] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❻ 設定内容を確認し、[作成] をクリックします。



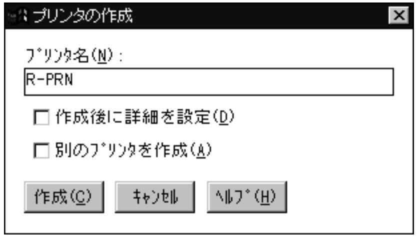
3 プリンターを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

❷ [オブジェクトクラス] ボックスの [プリンタ] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



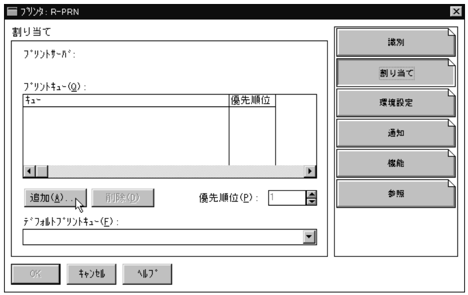
❸ [プリンタ名] ボックスにプリンターの名前を入力します。



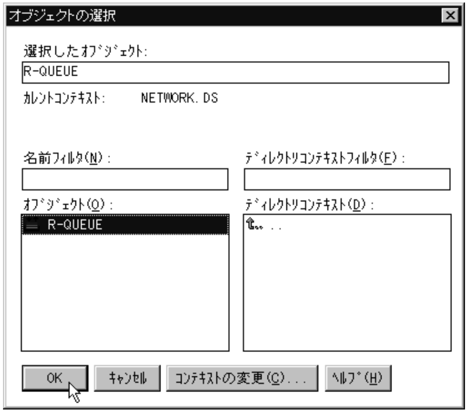
❹ [作成後に詳細を設定] をクリックして✓印を付け、[作成] をクリックします。

4 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

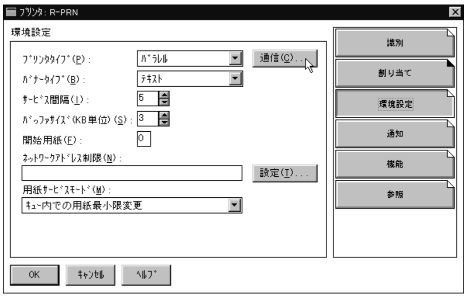
❶ [割り当て] をクリックし、[割り当て] グループの [追加] をクリックします。



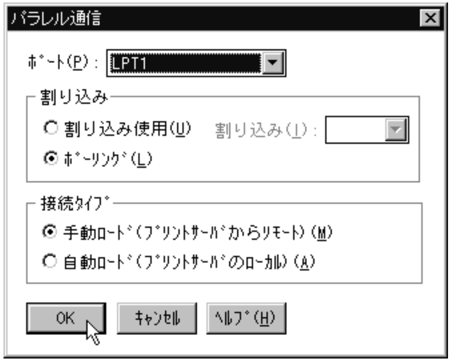
❷ [オブジェクト] ボックスで手順2で作成したキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❸ [環境設定] をクリックし、[プリンタタイプ] ボックスのドロップダウンメニューから [パラレル] を選び、[通信] をクリックします。



❹ [接続タイプ] グループの [手動ロード] をクリックし、[OK] をクリックします。



❺ 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

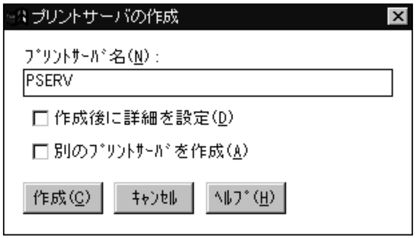
5 プリントサーバーを作成します。

❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

❷ [オブジェクトクラス]ボックスの[プリントサーバ]をクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。



❸ [プリントサーバ名] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。



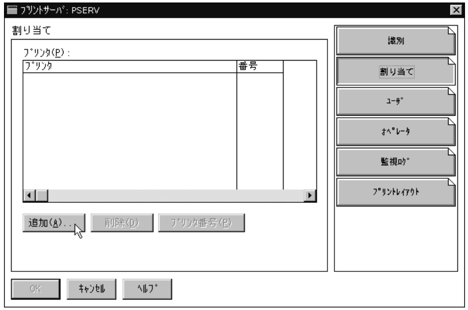
重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

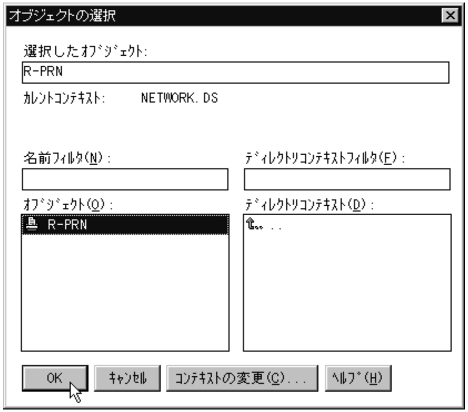
❹ [作成後に詳細を設定] をクリックして✓印を付け、[作成] をクリックします。

6 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。

❶ [割り当て]をクリックし、[割り当て]グループの [追加] をクリックします。



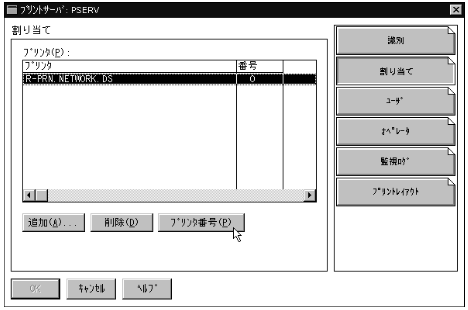
❷［オブジェクト］ボックスで手順❸で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



❸［プリンタ］グループで手順❷で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、［プリンタ番号］をクリックします。

重要

❒ ピュアIP環境でご使用の場合、この手順は不要です。



❹ プリンター番号を入力し、［OK］をクリックします。

重要

❒ Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号と一致させてください。

❒ ピュアIP環境でご使用の場合、この手順は不要です。



❺ 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

7 NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

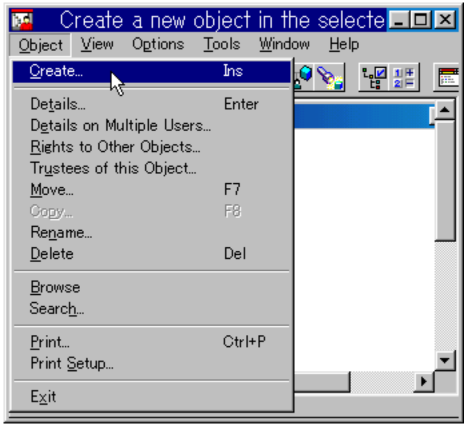
```
CAREE: load pserver
```

NetWare 6 の場合

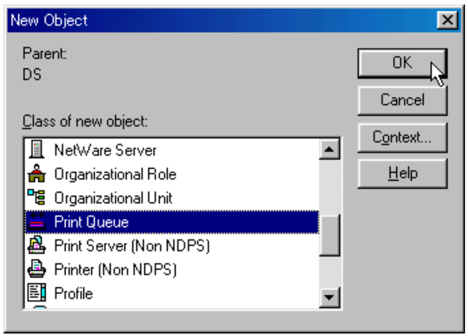
1 Windows上でNetWareアドミニストレータを起動します。

2 プリントキューを作成します。

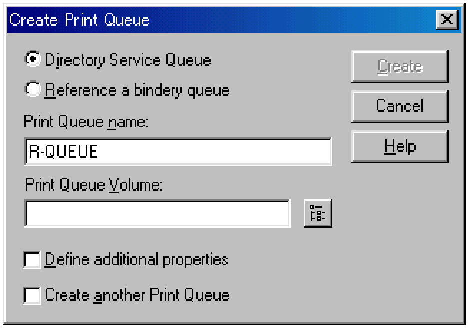
❶ 印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、［Object］メニューの［Create...］をクリックします。



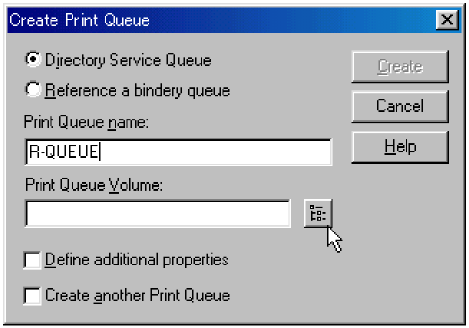
❷ ［Class of new object］ボックスの［Print Queue］をクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



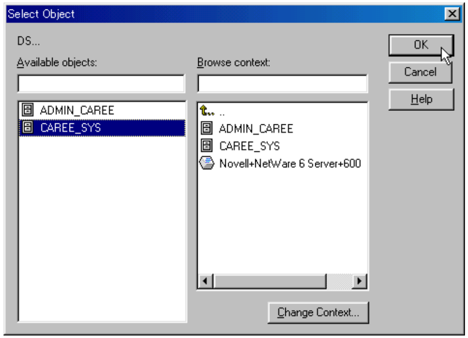
❸ [Print Queue name] ボックスにプリントキューの名前を入力します。



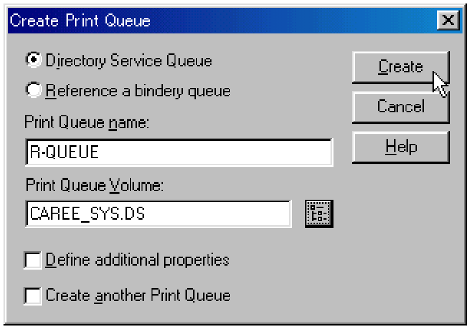
❹ [Print Queue Volume] ボックスのブラウザボタンをクリックします。



❺ [Available objects] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

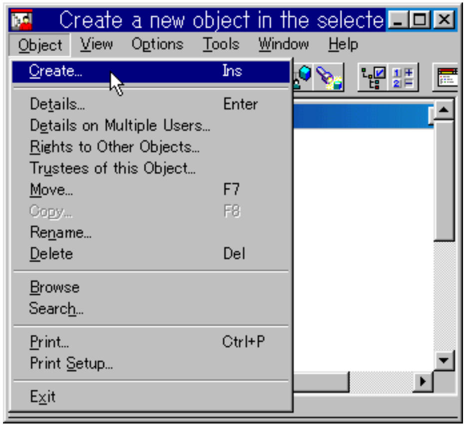


❻ 設定内容を確認し、[Create] をクリックします。

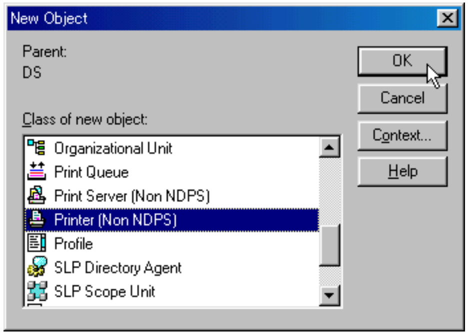


3 プリンターを作成します。

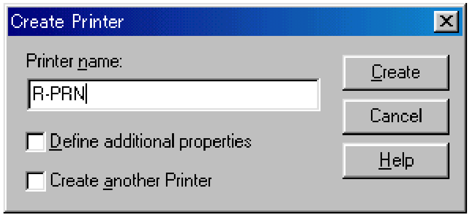
❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[Object] メニューの [Create...] をクリックします。



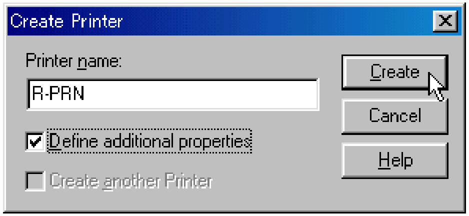
❷ [Class of new object] ボックスの [Printer] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❸ [Printer name] ボックスにプリンターの名前を入力します。

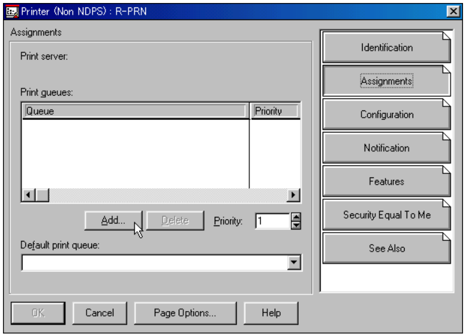


❹ ［Define additional properties］をクリックして✓印を付け、［Create］をクリックします。

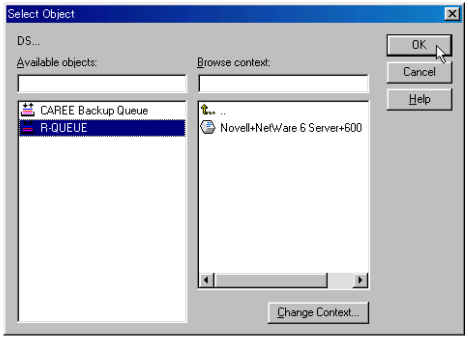


4 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。

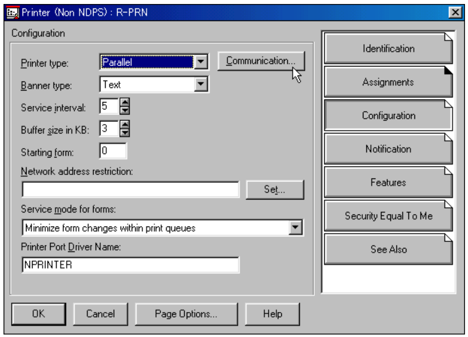
❶ ［Assignments］をクリックし、［Print queues］グループの［Add...］をクリックします。



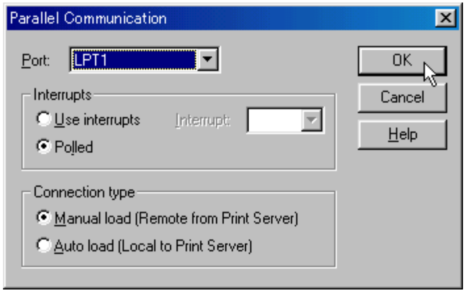
❷ ［Available objects］ボックスで手順❷で作成したキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。



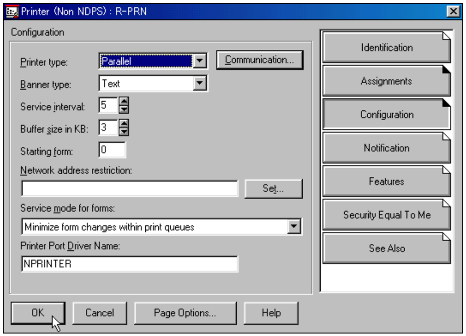
❸ ［Configuration］をクリックし、［Printer type］ボックスのドロップダウンメニューから［Parallel］を選び、［Communication］をクリックします。



❹ [Connection type] グループの [Manual load] をクリックし、[OK] をクリックします。

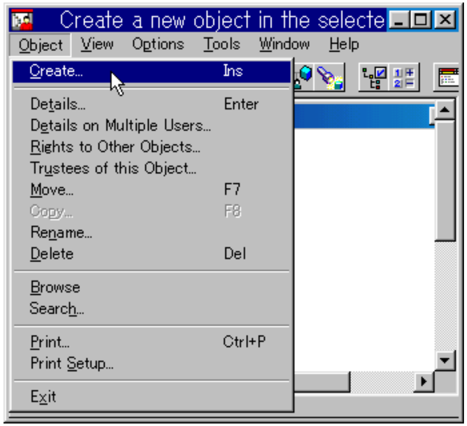


❺ 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

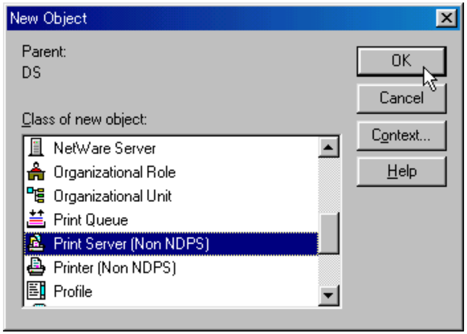


5 プリントサーバーを作成します。

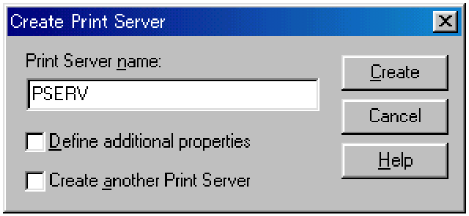
❶ 部門または組織オブジェクトを選び、[Object] メニューの [Create...] をクリックします。



❷ [Class of new object] ボックスの [Print Server] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



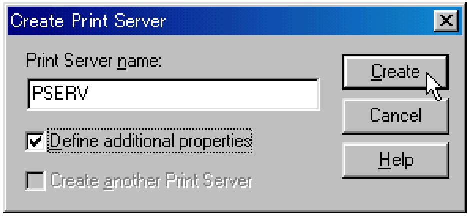
❸ [Print Server name] ボックスにプリントサーバーの名前を入力します。



重要

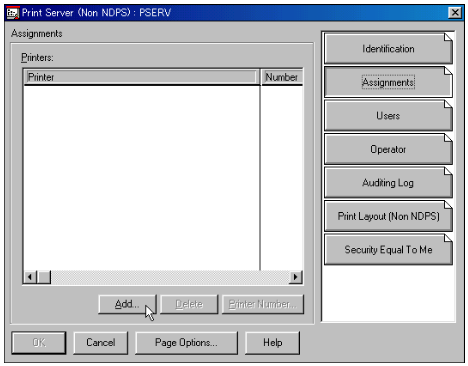
- ❒ Ridoc IO Adminで設定したプリントサーバー名と一致させてください。

❹ [Define additional properties] をクリックして✓印を付け、[Create] をクリックします。

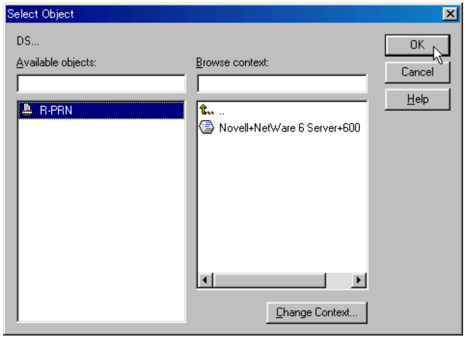


6 作成したプリントサーバーにプリンターを割り当てます。

❶ [Assignments] をクリックし、[Printers] グループの [Add...] をクリックします。



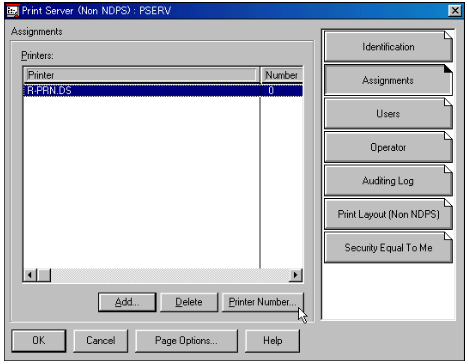
❷ [Available objects] ボックスで手順❸で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



❸ [Printers] グループで手順❷で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、[Printer Number...] をクリックします。

重要

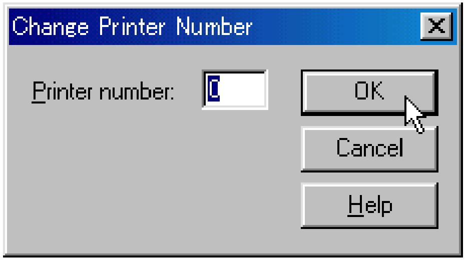
❒ ピュアIP環境でご使用の場合、この手順は不要です。



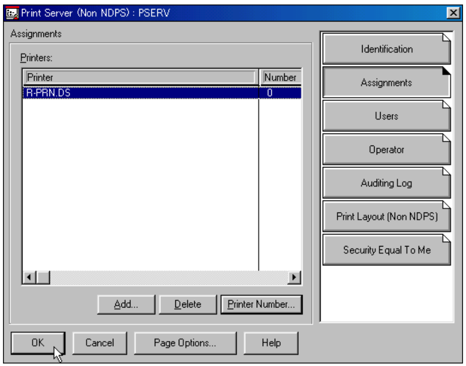
❹ **プリンター番号を入力し、[OK] をクリックします。**

重要

- ❒ Ridoc IO Adminで設定したリモートプリンター番号と一致させてください。
- ❒ ピュアIP環境でご使用の場合、この手順は不要です。



❺ **設定内容を確認し、[OK] をクリックします。**



7 **NetWareサーバーのコンソールから次のように入力してプリントサーバーを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

❖ **停止する**

```
CAREE: unload pserver
```

❖ **起動する**

```
CAREE: load pserver
```

Ridoc IO Adminでは、TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用して以下のようなことができます。

- 機器の操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンターで印刷したページ数をユーザーコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me日本語版	Windows 95/98/Meに同梱のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに同梱のIPX *1 /SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに同梱のNetWare ネットワーククライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntraNetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98/Me
Microsoft Windows 2000日本語版	Windows 2000に同梱のTCP/IPプロトコル Windows 2000に同梱のIPX *1 /SPXトランスポート Windows 2000に同梱のNetWare用クライアント Novell Client for Windows NT/2000/XP
Microsoft Windows XP日本語版	Windows XPに同梱のTCP/IPプロトコル Windows XPに同梱のIPX *1 /SPXプロトコル Novell Client for Windows NT/2000/XP

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows Server 2003日本語版	Windows Server 2003に同梱のTCP/IPプロトコル Windows Server 2003に同梱のIPX [*1] /SPXトランスポート Windows Server 2003に同梱のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT 4.0日本語版	Windows NT 4.0に同梱のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に同梱のIPX [*1] /SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に同梱のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntraNetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000/XP

[*1] IPXは機器監視のためのプロトコルです。

補足

❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

ここでは、イーサネットボードの設定の変更の方法と設定画面について説明します。

Ridoc IO Admin のインストール

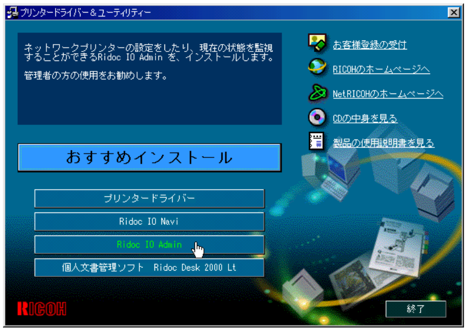
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

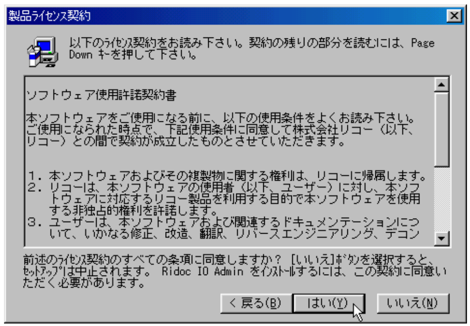
2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Admin] をクリックします。



3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

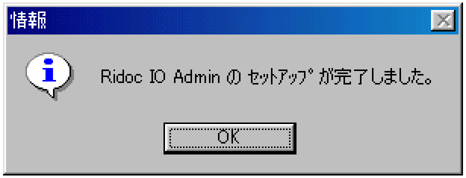


4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Adminiをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックします。

補足

❒ Ridoc IO Adminのインストールが終了したときに、コンピューターを再起動するよう指示するダイアログが表示されることがあります。このダイアログが表示された場合は、コンピューターを再起動してから、操作を続けてください。

ネットワークインターフェースボードの設定を変更する

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

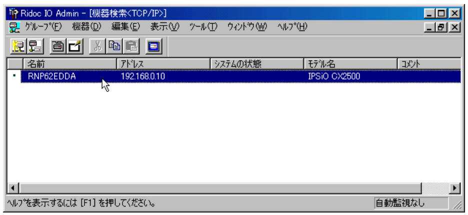
機器の一覧が表示されます。



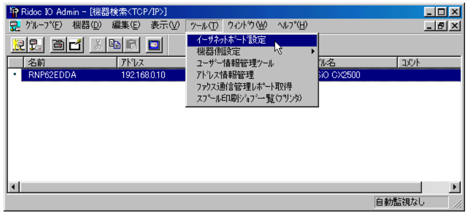
補足

❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

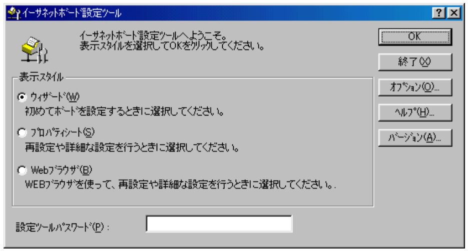
3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更するプリンターをクリックして反転表示させます。



4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

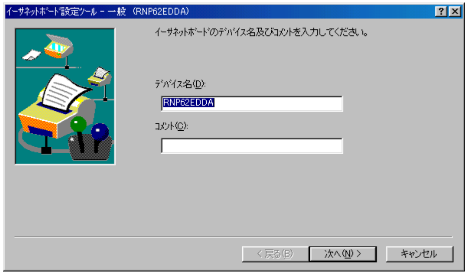


5 [ウィザード]、[プロパティシート]、または[Webブラウザ]を選択し、[OK]をクリックします。

- [ウィザード]は、初めてネットワークインターフェースボードの設定をするときに選択します。
- [プロパティシート]は、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する場合や詳細な設定を行うときに選択します。
- Webブラウザを選択すると、Webブラウザが起動し、Web Image Monitorの管理者モードに入るためのユーザ ID とパスワードを入力する画面が表示されます。Web Image Monitorを使った設定ができます。詳細はP.148「Webブラウザを使う」を参照してください。

ウィザードを選択した場合

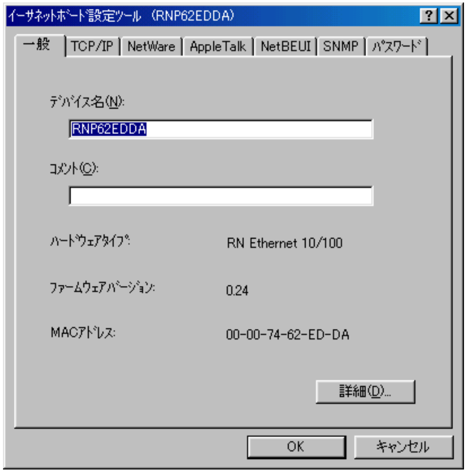
❶ 必要な項目を入力し、[次へ]をクリックします。



この後の操作はヘルプを参照してください。

プロパティシートを選択した場合

❶ **ダイアログボックスに設定の一覧が表示されます。**



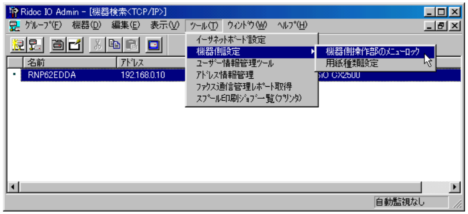
ダイアログボックスの各項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

機器側操作部のメニューをロックする

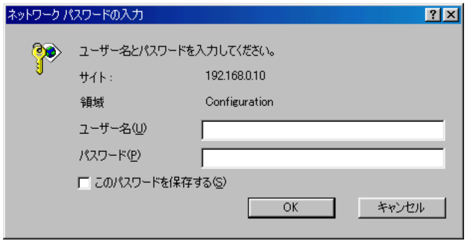
1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

3 機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [機器側設定] をポイントし、[機器側操作部のメニューロック] をクリックします。



Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

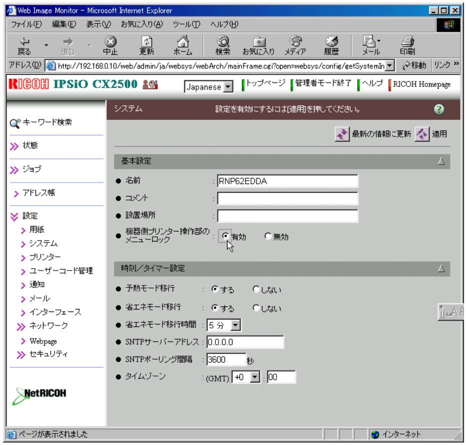


4 ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。

補足

❒ 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「ricoh」と入力します。

Web ブラウザに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

用紙種類を設定する

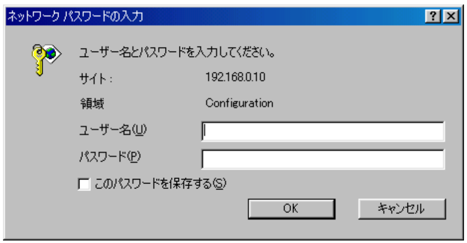
1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

3 用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させ、［ツール］メニューの［機器側設定］をポイントし、［用紙種類設定］をクリックします。



Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

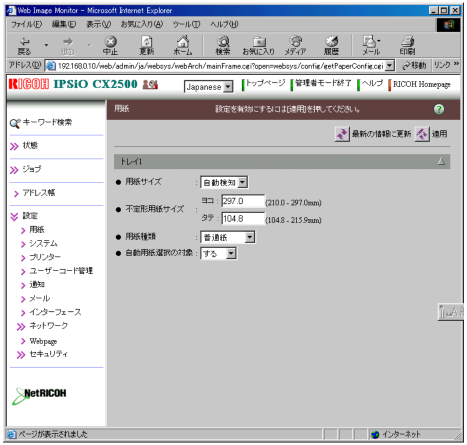


4 ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

❒ 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「ricoh」と入力します。

Webブラウザに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

ユーザー情報を管理する

ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーコードごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限したりすることができます。

参照

ユーザー情報管理ツールの詳細は、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ **ユーザー情報を管理するには、オプションのアカウント拡張モジュールが必要です。アカウント拡張モジュールについては、使用説明書＜オプション設置編＞を参照してください。**

ユーザー情報管理ツールを起動する

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

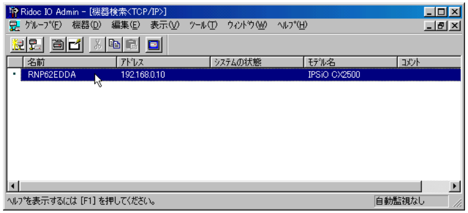
機器の一覧が表示されます。



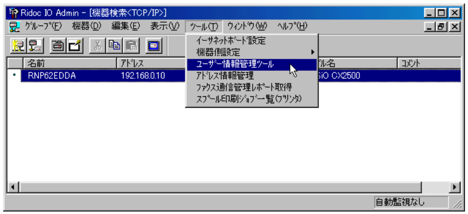
補足

- ❒ **設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。**

3 一覧からユーザー情報を管理するプリンターをクリックして反転表示させます。

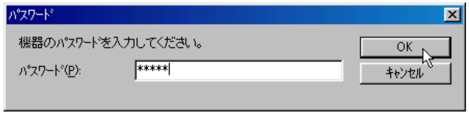


4 [ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。



パスワードを入力する画面が表示されます。

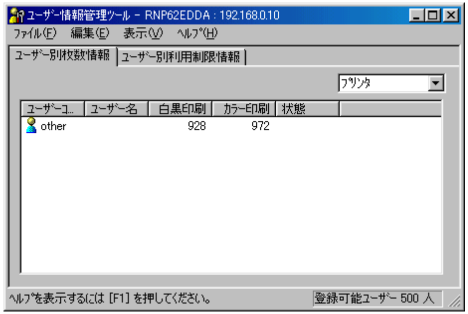
5 パスワードを入力して [OK] をクリックします。



補足

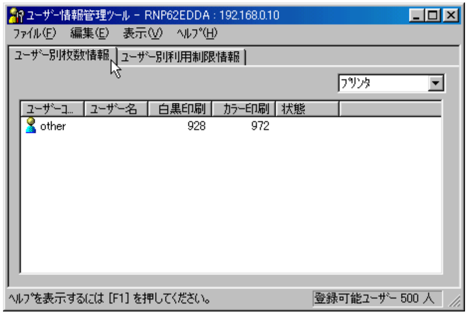
- ❒ 工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。

ユーザー情報管理ツールが起動します。



印刷枚数を表示する

1 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。

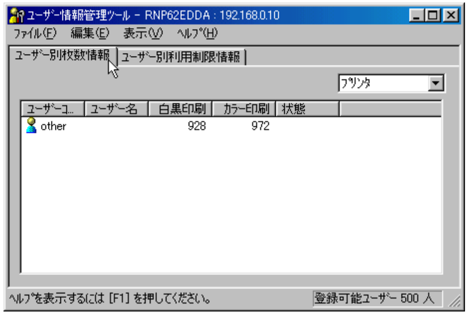


本機で印刷した枚数に関する情報が表示されます。

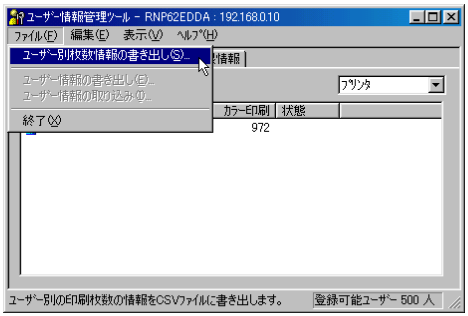
印刷枚数の情報を保存する

ユーザーコード別の印刷枚数情報をcsvファイルで保存することができます。

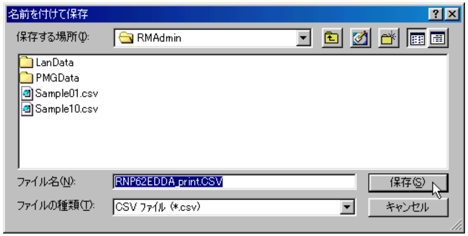
1 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。



2 ［ファイル］メニューをクリックし、［ユーザー別枚数情報の書き出し］をクリックします。



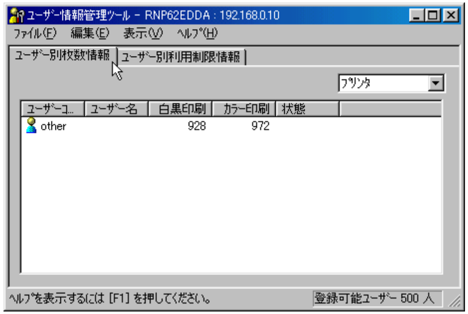
3 保存するフォルダとファイル名を指定し、［保存］をクリックします。



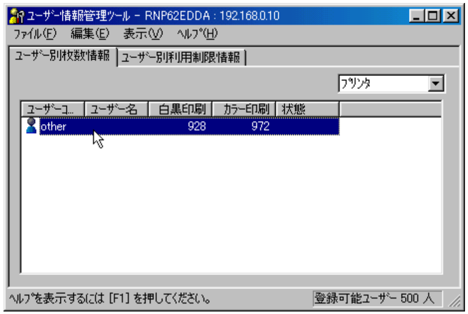
印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーコードごとに、印刷枚数の情報をリセットする（0にする）ことができます。

1 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別枚数情報］タブをクリックします。



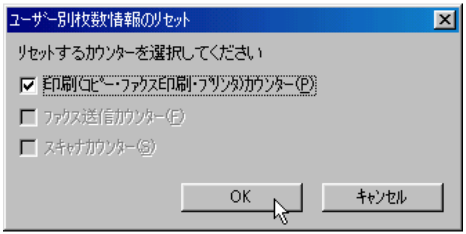
2 リセットするユーザーをクリックします。



3 [編集] メニューをクリックし、[ユーザー別枚数情報のリセット] をクリックします。

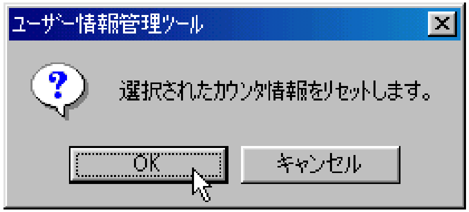


4 リセットする項目のチェックボックスにチェックを付け、[OK] をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

5 [OK] をクリックします。



6 [編集] メニューをクリックし、[設定内容の送信] をクリックします。

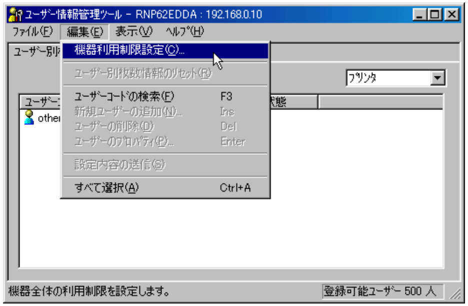


変更した情報が本機に反映されます。

利用制限を設定する

本機の機能について、機能ごとに利用制限をするかしないかを設定します。

1 ユーザー情報管理ツールの［編集］メニューをクリックし、[機器利用制限設定] をクリックします。



2 利用制限を設定する機能のチェックボックスにチェックを付けます。



3 ［OK］をクリックします。

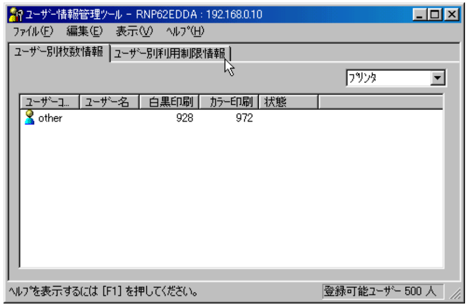


設定内容が本機に反映されます。

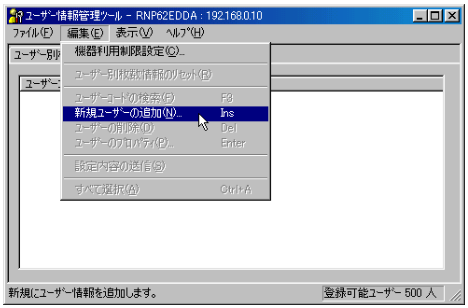
ユーザーごとに利用可能な機能を設定する

ここでは、ユーザーを追加して利用可能な機能を設定する方法を説明します。

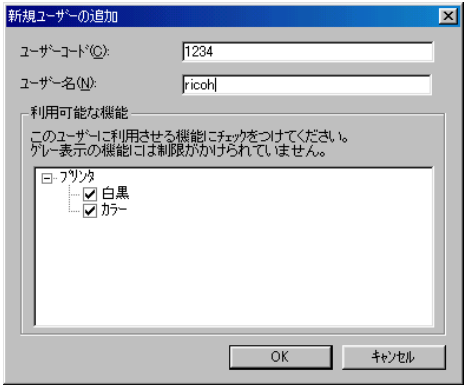
1 ユーザー情報管理ツールの［ユーザー別利用制限情報］タブをクリックします。



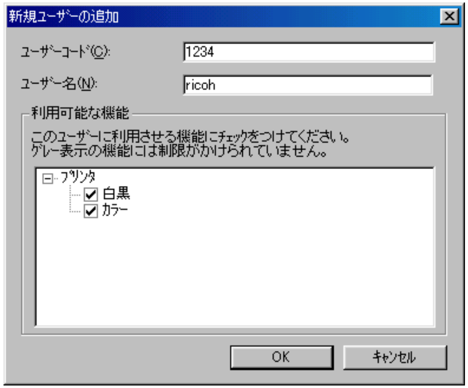
2 ［編集］メニューをクリックし、［新規ユーザーの追加］をクリックします。



3 ユーザーコードとユーザー名を入力します。



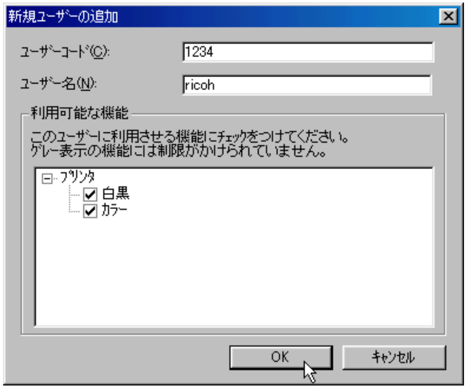
4 追加したユーザーに使用を許可する機能のチェックボックスにチェックを付けます。



補足

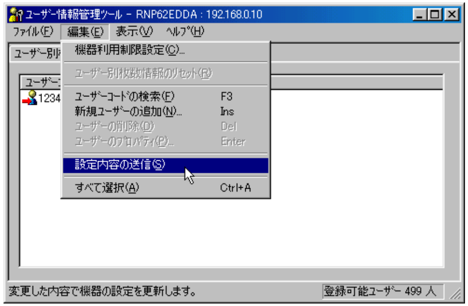
- チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。使用の可否を設定する場合は、P.140「利用制限を設定する」またはRidoc IO Adminのヘルプを参照して、利用制限を設定してください。

5 [OK]をクリックします。



ユーザーが追加されます。

6 [編集]メニューをクリックし、[設定内容の送信]をクリックします。



設定内容が本機に反映されます。

参照

利用制限の設定方法について、詳細はRidoc IO Adminのヘルプを参照してください。

省エネモードを設定する

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



補足

❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

3 一覧から省エネモードを設定するプリンターをクリックして反転表示させます。

補足

❒ グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。

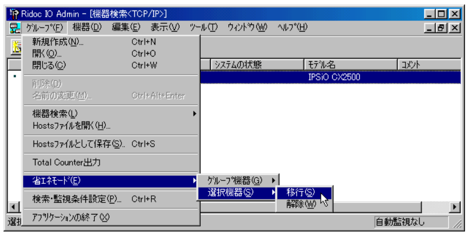
4 [グループ] メニューをクリックし、[省エネモード] をポイントします。

グループ内の機器を全て設定する場合は [グループ機器] を選択ます。選択した機器だけを設定する場合は [選択機器] します。いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。

❖ グループ機器の場合



❖ 選択機器の場合



設定値について詳しくは、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

パスワードを設定する

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



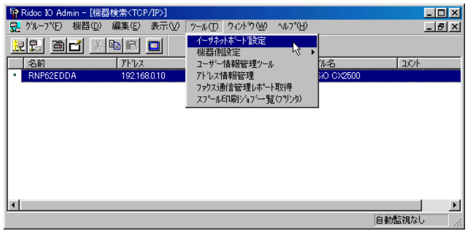
補足

- 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

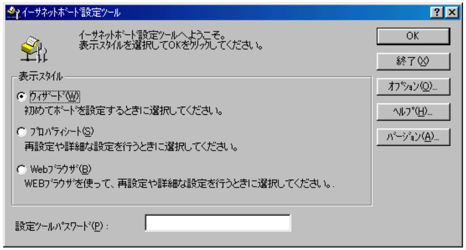
3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更するプリンターをクリックして反転表示させます。



4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。



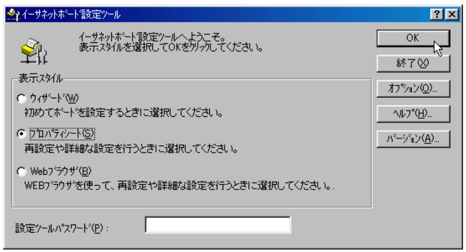
イーサネットボード設定ツールが起動します。



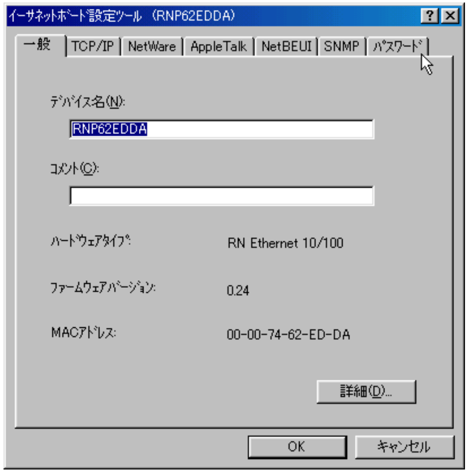
補足

- ❒ ネットワーク管理者以外の第三者が誤ってネットワークインターフェースボードの設定を変更しないように、イーサネットボード設定ツールにパスワードを設定できます。イーサネットボード設定ツールの画面で［オプション］をクリックし、［パスワード］タブでパスワードの変更をチェックして新規パスワードを入力します。

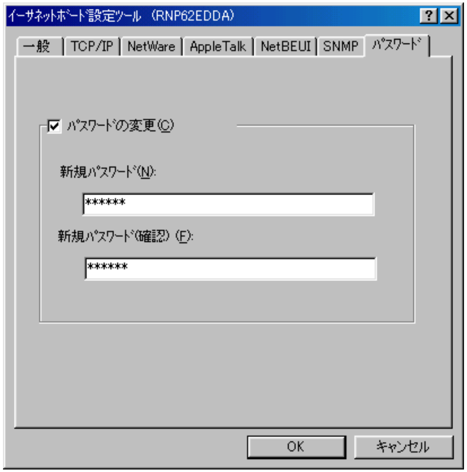
5 ［プロパティシート］を選択し、［OK］をクリックします。



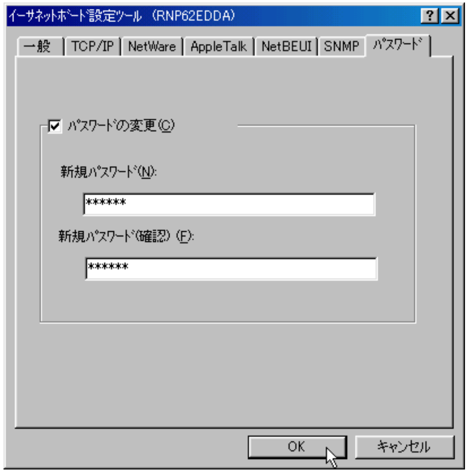
6 ［パスワード］タブをクリックします。



7 [パスワードの変更] をクリックし、[新規パスワード] および [新規パスワード (確認)] を入力します。



8 [OK] をクリックします。



Webブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能をWeb Image Monitorといいます。

❖ どんなことができるのか？

Web Image Monitorは、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンのWebブラウザ上からできる機能です。

Web Image Monitorでは以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティの設定

❖ 本機の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。Web Image Monitorを使用する場合は、本機でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

参照

TCP/IPに関する本機の設定方法については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

❖ Webブラウザ

対象OS	対応ブラウザ
Microsoft Windows 95/98/Me/2000/XP	Microsoft Internet Explorer 5.5 以降 Netscape Navigator 7.0以降
Windows Server 2003	
Microsoft Windows NT 4.0	
Mac OS 8.1 〜9.2.2	Netscape Navigator 7.0以降
Mac OS X 10.1〜	Netscape Navigator 7.0以降 Safari 1.0以降

制限

- 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookieの使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- ブラウザの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web Image Monitorで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Webブラウザの［更新］、［再読み込み］、またはWeb Image Monitorのワークエリアに表示された［最新の情報に更新］をクリックしてください。

トップページを表示する

1 Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のIPアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

補足

- ❒ DNSサーバー、WINSサーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。⇒ P.296 「DHCPを使用する」
- ❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合、暗号化通信を行うことを示すメッセージが表示されます。表示されたメッセージで［OK］をクリックしてください。

Web Image Monitorは、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



AAL555D

1. **ヘッダーエリア**

   管理者モードへの切り替えやヘルプ、RICOH Homepageへのリンクが表示されます。

2. **メニューエリア**

   メニュー項目が表示されます。

   メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3. **ワークエリア**

   メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

   ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Webブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの［更新］をクリックしてください。

メニュー構成とモード

Web Image Monitorには、ユーザーモードと管理者モードがあります。

ユーザーモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

管理者モードでは、ユーザーモードでできることに加えて、機器に関する各種の設定ができます。

表中の「○」は状態の表示可能、「◎」は設定変更可能、「×」はメニューが表示されないこと示します。

メニュー構成			ユーザーモード	管理者モード
ジョブリセット（トップページに表示）			×	◎
システムリセット（トップページに表示）			×	◎
状態	給紙トレイ		○	○
	排紙トレイ		○	○
	トナー		○	○
	機能		○	○
	システム		○	○
	エミュレーション		○	○
ジョブ	プリンター	スプール *1	○	◎
		ジョブ履歴	○	○
		エラー履歴	○	◎
		文書印刷 *2	◎	◎
アドレス帳			×	◎

メニュー構成				ユーザーモード	管理者モード
設定	用紙			×	◎
	システム			×	◎
	プリンター			○	◎
	ユーザーコード管理 *3			×	◎
	通知 *4			○	◎
	メール *4			×	◎
	インターフェース			○	◎
	ネットワーク	プロトコル	プロトコル	○	◎
			TCP/IP	○	◎
			NetWare	○	◎
			AppleTalk	○	◎
			SMB	○	◎
			SNMP	×	◎
			BMLinkS	○	◎
			Rendezvous	○	◎
		システムログ		○	○
	WebPage			○	◎

メニュー構成			ユーザーモード	管理者モード
設定	セキュリティ	パスワード	×	◎
		アクセスコントロール	×	◎
		IPP認証	×	◎
		SSL/TLS [*5]	×	◎
		サーバ証明 [*5]	×	◎

[*1] ［スプール］メニューは、オプションの拡張HDDが装着された状態で、システム設定メニューの［スプールインサツ］が［スル］の設定になっているときに表示されます。

[*2] オプションの拡張HDDが装着されている場合に表示されます。

[*3] オプションのアカウント拡張モジュールが装着されている場合に表示されます。

[*4] 操作パネルの［システム設定］メニューで［メールツウチセッテイ］が［スル］に設定されている場合に表示されます。

[*5] オプションの暗号化カードが装着されている場合に表示されます。

メニューの概要

Web Image Monitorの各メニューの概要を示します。

参照

各表示項目、および設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。⇒ P.158「Web Image Monitorのヘルプについて」

プリンタージョブリセット

トップページの［プリンタージョブリセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブ、または、実行中および待機中のすべてのジョブをリセットすることができます。

リセット

トップページの［リセット］ボタンをクリックすると、実行中のジョブが終了次第、本機を再起動します。

状態

給紙トレイにセットされている用紙やトナーの残量など、本機の状態を表示します。

ジョブ

- プリンター
  スプール印刷ジョブやエラー履歴などの一覧の表示と削除、および、試し印刷／機密印刷を実行したりできます。

補足

❒ ユーザーモードでは、試し印刷／機密印刷を実行することができますが、スプール印刷ジョブとエラー履歴の削除はできません。

アドレス帳

本機を利用するユーザーの情報を登録／表示／変更／削除することができます。

設定

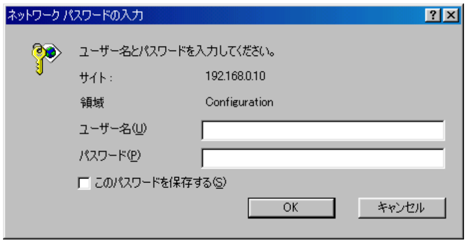
- 用紙
  給紙トレイの用紙サイズや用紙種類の設定をします。
- システム
  本機の名前、スプール印刷のON/OFF、SNTPサーバアドレスなど、本機のシステムに関する設定をします。
- プリンター
  システム設定、インターフェース設定など、本機の操作パネルで設定する項目の一部を設定できます。
- ユーザーコード管理
  本機の機能ごとに利用制限をするかどうかを設定します。
- 通知
  メール通知機能で通知する内容を設定します。
  本機のメールアドレス、通知先のグループ化、アラート項目ごとの通知の有無、通知のタイミングなどを設定できます。
- メール
  メール通知機能を使用する場合に必要な設定をします。
  本機からメール通知機能でアラートの情報を送信するには、送信先のメールアドレス、SMTPなどの設定をする必要があります。
- インターフェース
  Ethernet、無線 LAN などのインターフェースに関する設定をします。
- ネットワーク
  各種プロトコルの有効／無効の設定、TCP/IP や NetWare などの各プロトコルの設定、およびシステムログの表示をすることができます。
- Web Page
  Web Image Monitorのヘルプに関する設定、リンク先の設定、および表示言語などを設定します。
- セキュリティ
  Web Image Monitorに管理者モードでアクセスするためのパスワードの変更、アクセスコントロールの設定、サーバー証明書の発行など、セキュリティに関する設定ができます。
  サーバー証明は、公的機関によるサーバー証明書の発行、または、本機内のサーバー証明を設定することで実現します。サーバー証明書を発行することで、通信の暗号化が可能となります。サーバー証明の機能を使用するには、オプションの暗号化カードが必要です。

管理者モードでアクセスする

1 Web Image Monitorのトップページで、[管理者モード] をクリックします。



ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。

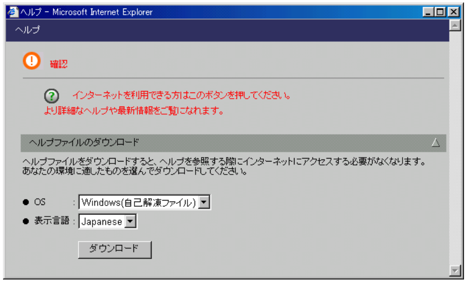


2 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。

Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitorのヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］、またはワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると次の画面が表示され、次の2種類の方法でWeb Image Monitorのヘルプを見ることができます。



❖ **インターネットのWeb Image Monitorのヘルプを見る**

最新のWeb Image Monitorのヘルプを見ることができます。

❖ **Web Image Monitorのヘルプをダウンロードして見る**

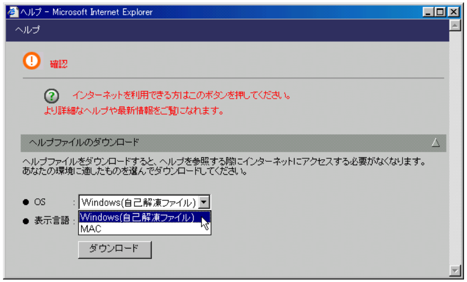
Web Image Monitorのヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクへダウンロードして見ることができます。ヘルプのURLにローカルディスクのパスを指定すると、インターネットへ接続せずにヘルプを見ることができます。

補足

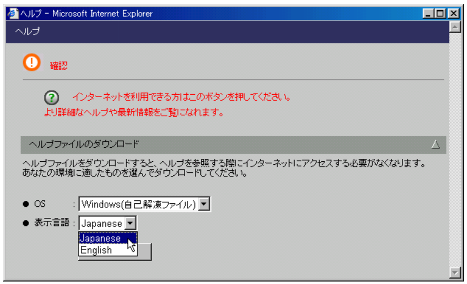
- ❒ ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］をクリックすると、通常はWeb Image Monitorのヘルプの目次を表示します。
- ❒ ワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

ヘルプのダウンロード

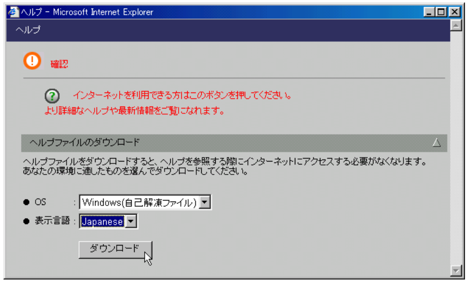
1 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。



2 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。



3 ［ダウンロード］をクリックします。



4 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。

5 ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。

補足

- ❒ ダウンロードしたWeb Image Monitorのヘルプを見る場合は、解凍した場所のパスを設定してください。

ヘルプへのアドレス (URL) リンク

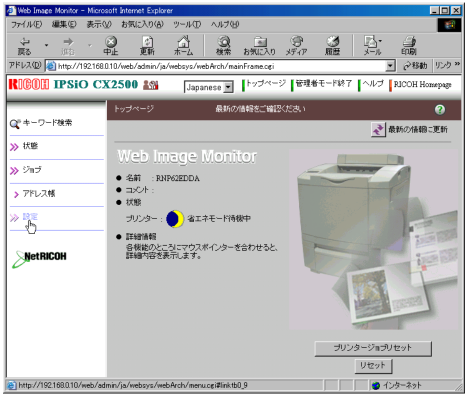
パソコンまたは Web サーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］のアドレス(URL)を次の手順でリンクすることができます。

1 管理者モードでWeb Image Monitorにアクセスします。

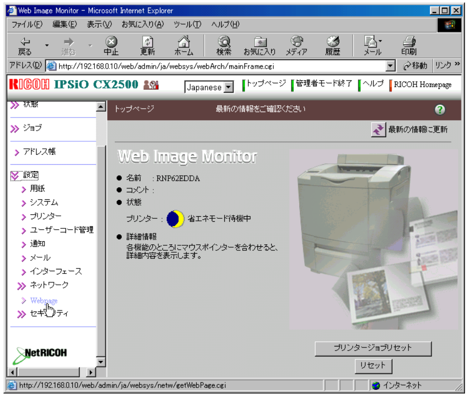
参照

管理者モードでのアクセス方法は、P.157「管理者モードでアクセスする」を参照してください。

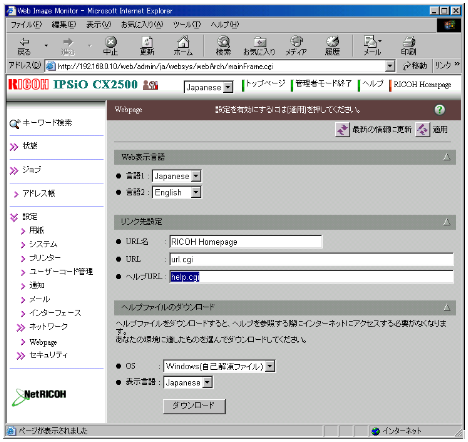
2 左フレーム内の［設定］をクリックします。



3 ［Webpage］をクリックします。

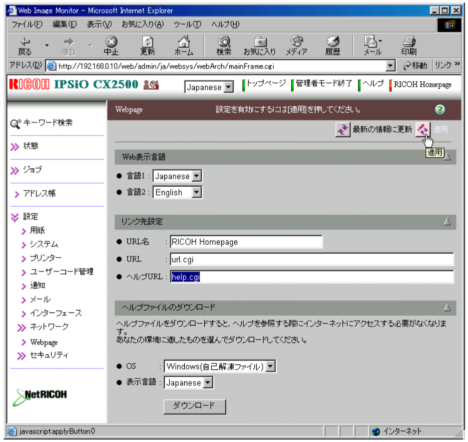


4 [ヘルプURL] にヘルプファイルへのパスを入力します。



例えば、C:¥HELP¥JA にヘルプファイルをコピーしていた場合、「file://C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーしていて URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

5 [適用] をクリックします。



名前とコメントを変更する

Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviで一覧表示したプリンターを識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けることができます。



表示される名前やコメントを変更するには、以下のユーティリティを使用します。

❖ Ridoc IO Admin
TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルが使用できる場合、Ridoc IO Adminを使用して名前とコメントを変更できます。Ridoc IO Adminは、本機に付属している CD-ROM からインストールします。インストール方法については、P.102 「Ridoc IO Adminのインストール」を参照してください。

❖ Webブラウザ
TCP/IPプロトコルが使用できる場合、Webブラウザを使用して名前とコメントを変更できます。

補足

❒ TCP/IPプロトコルで表示される名前(プリンター名)とNetBEUIプロトコルで表示される名前(コンピュータ名)は個別に変更します。コメントは共通です。

❒ 工場出荷時には「RNP」とイーサネットボードのMACアドレスの下3バイトで構成される名前が設定されています。たとえば、MACアドレスが00:00:74:62:11:7Aの場合は「RNP62117A」です。コメントは設定されていません。

Ridoc IO Admin の場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP] または [IPX/SPX] をクリックします。

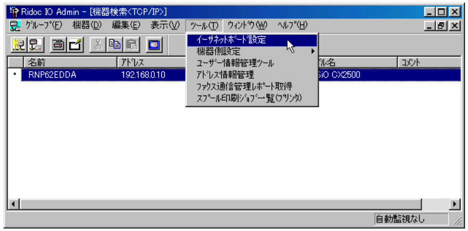
補足

- ❒ 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

機器の一覧が表示されます。

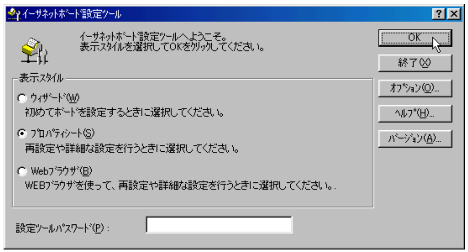


3 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。



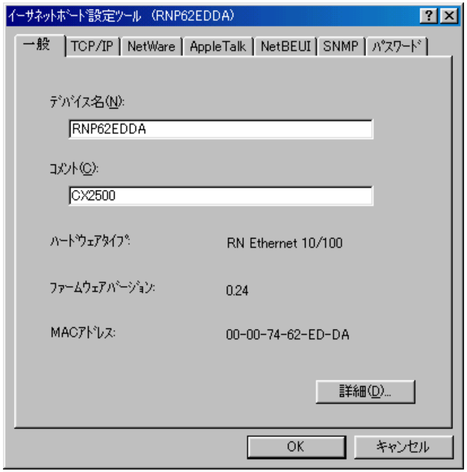
イーサネットボード設定ツールが起動します。

4 [プロパティシート] を選択し、[OK] をクリックします。



TCP/IPの場合

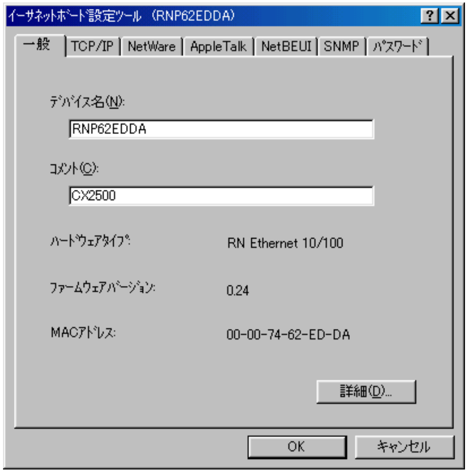
❶ ［一般］タブの［デバイス名］と［コメント］に名前とコメントを入力します。



- ［デバイス名］には、プリンターの名前を半角の英数字で 15 バイト以内で入力します。工場出荷時には RNP で始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

SMBの場合

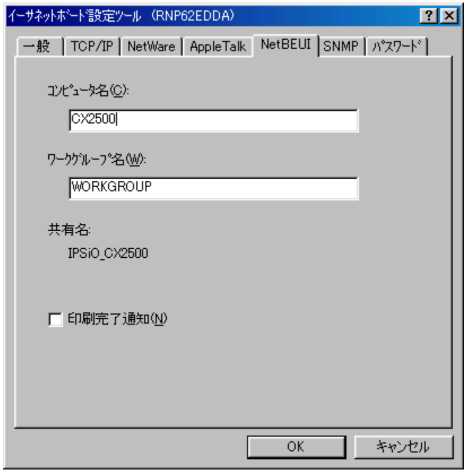
❶ ［一般］タブの［コメント］にコメントを入力します。



- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

❷ ［NetBEUI］タブをクリックします。

❸［コンピュータ名］に名前を入力します。



- ［コンピュータ名］には、SMBプロトコルでプリンターを識別するための名前を入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で15バイト以内です。RNP で始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

5 ［OK］をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定がプリンターに送信されます。

6 Ridoc IO Adminを終了します。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力し、設定を変更するプリンターにアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。



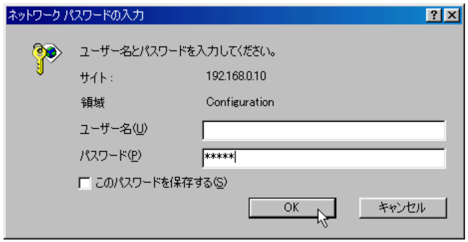
3 ［管理者モード］をクリックします。



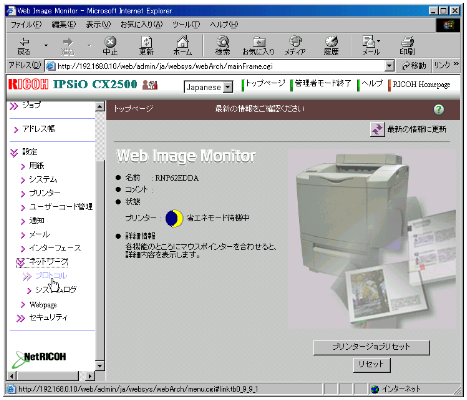
パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定のままの場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 左フレームの[設定]をクリックし、[ネットワーク]をクリックして表示される[プロトコル]をクリックします。

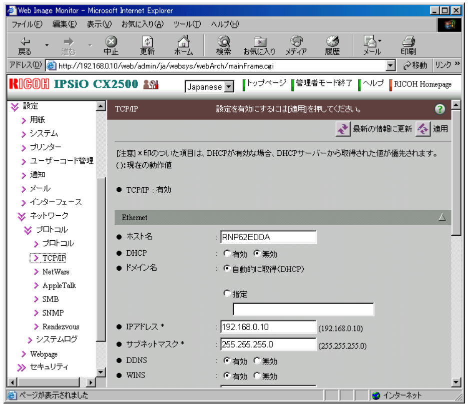


6 名前とコメントを変更します。

TCP/IPの場合

❶ ［TCP/IP］をクリックします。

❷ Ethernet または無線 LAN で使用する名前の場合、［Ethernet］欄の［ホスト名］に名前を入力します。

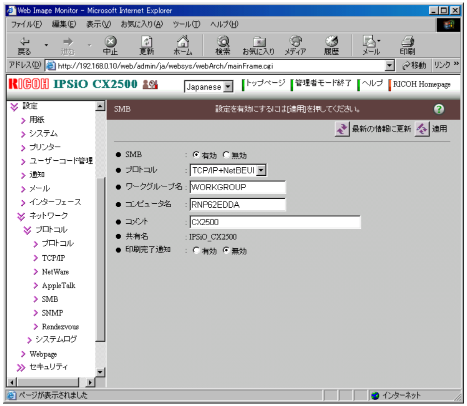


［ホスト名］には、プリンターの名前を半角の英数字で15バイト以内で入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。RNPで始まる名前は入力できません。また、IPアドレスの設定方法としてDHCPを選択した場合、入力できる文字は13バイト以内になります。

SMBの場合

❶［SMB］をクリックします。

❷［コンピュータ名］と［コメント］に、名前とコメントを入力します。



- ［コンピュータ名］には、SMBプロトコルでプリンターを識別するための名前を入力します。工場出荷時にはRNPで始まる名前が設定されています。入力できる文字は半角英数字（大文字）と半角記号（"*+,/:;<=>?[¥]|.およびスペースを除く）で15バイト以内です。RNP で始まる名前は入力できません。同じネットワーク上にある他の機器と重複しない名前を付けてください。
- ［コメント］には、プリンターのコメントを半角文字で31バイト以内で入力します。

7［適用］をクリックします。

設定がプリンターに送信されます。

8 Webブラウザを終了します。

機器の状態を表示する

Ridoc IO Admin、Ridoc IO Navi、Webブラウザを使ってプリンターの状態を確認できます。

Ridoc IO Admin の場合

1 Ridoc IO Adminを起動します。

2 ［グループ］メニューをクリックし、［機器検索］をポイントし、［TCP/IP］または［IPX/SPX］をクリックします。

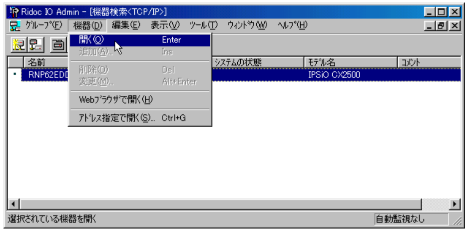
一覧にプリンターの状態がアイコンで表示されます。



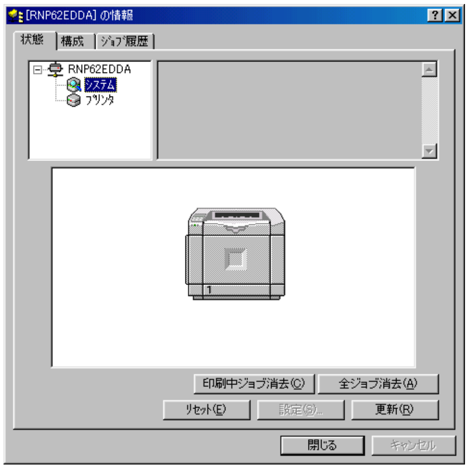
補足

❒ 状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたいプリンターをクリックして反転表示させ、［機器］メニューの［開く］をクリックします。



プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

- ❒ ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi の場合

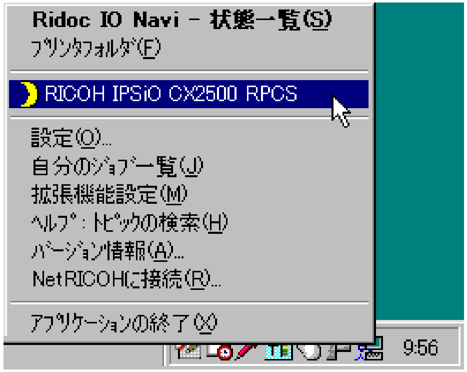
Ridoc IO Naviを使用してプリンターの状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたいプリンターを監視するように設定しておく必要があります。

監視するプリンターに設定するには

1 Ridoc IO Naviを起動します。

タスクバーの右端にRidoc IO Naviアイコンが表示されます。

2 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的のプリンターが設定されているかどうかを確認します。



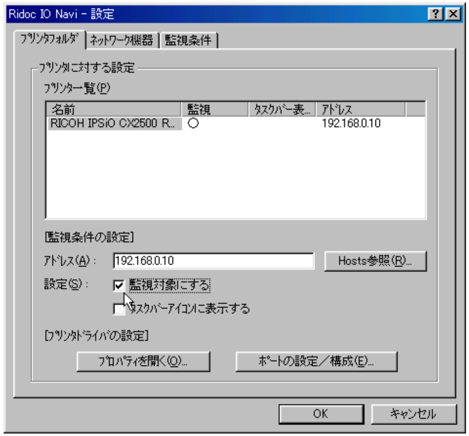
設定されている場合には、P.172「プリンターの状態を表示する」に進みます。

3 目的のプリンターが設定されていない場合は、ポップアップメニューの［設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。

4 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、［設定］の［監視対象にする］に✓印を付けます。



補足

- ❒［タスクバーアイコンに表示する］に✓印を付けると、タスクトレイのRidoc IO Naviアイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。
- ❒ 状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

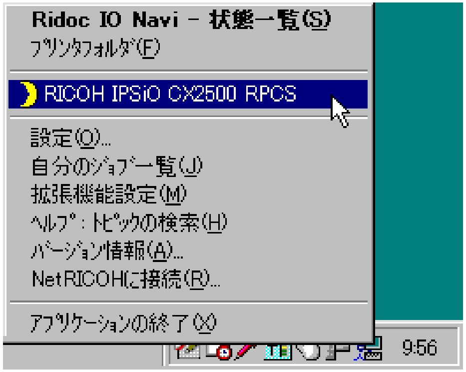
5［OK］をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

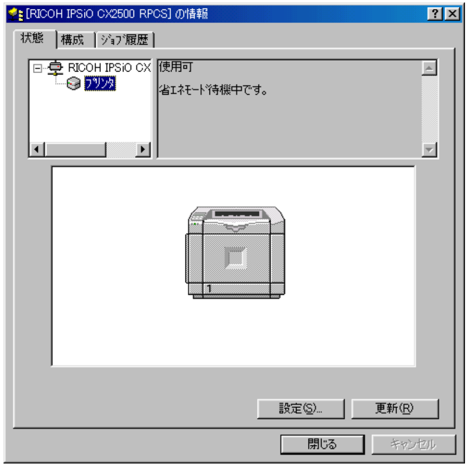
プリンターの状態を表示する

1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 Ridoc IO Naviアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたいプリンターをクリックします。



プリンターの状態が、ダイアログに表示されます。



補足

❒ ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力し、状態を表示させるプリンターにアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

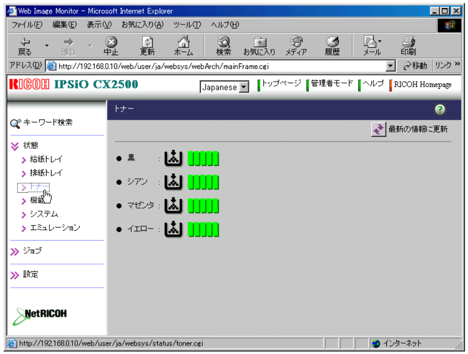


3 左フレーム内の［状態］をクリックします。



4 確認したいメニューをクリックします。

状態が表示されます。



補足

- それぞれの項目の詳細についてはWeb Image Monitorのヘルプを参照してください。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。

アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。

1 操作パネルを使用して、[システム設定] メニューの [メール通知設定] を [する] に設定します（工場出荷時は [する] に設定されています）。

参照

詳細は、P.201「システム設定メニュー」を参照してください。

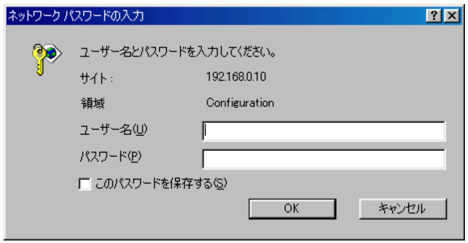
2 Webブラウザを起動し、Webブラウザのアドレスバーに「http://（本機のIPアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。

3 Web Image Monitorのトップページで、[管理者モード] をクリックします。



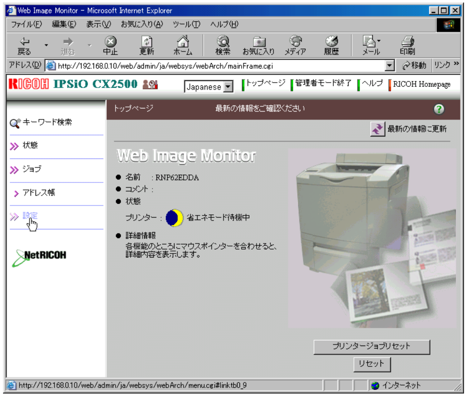
ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

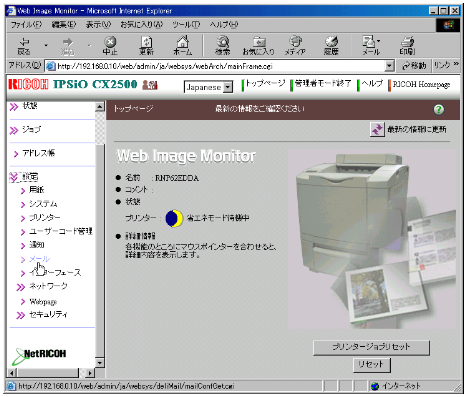
工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。

5 左フレーム内の［設定］をクリックします。



6［メール］をクリックします。

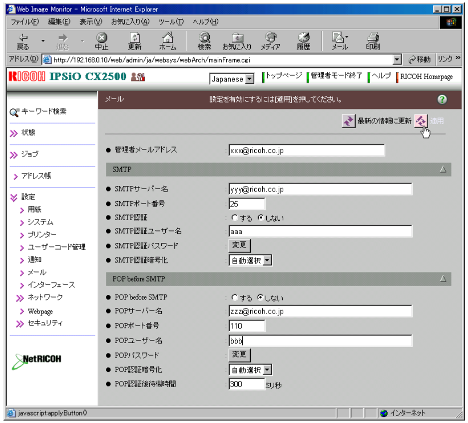
メール通知機能に関する設定画面が表示されます。



7 設定画面に示された以下の項目を設定します。

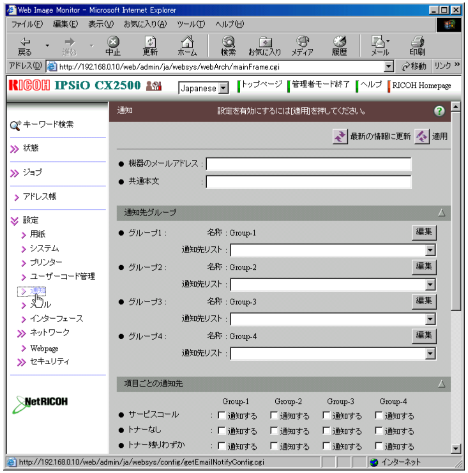
- 管理者メールアドレス
- SMTP欄の各項目
- POP before SMTP欄の各項目

8［適用］をクリックします。



9 左フレーム内の［通知］をクリックします。

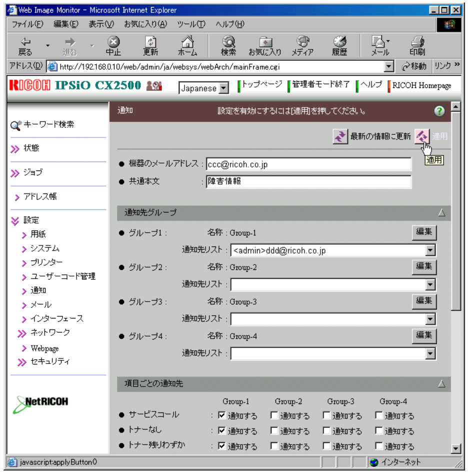
通知項目に関する設定画面が表示されます。



10 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- 機器のメールアドレス
- 共通本文
- 通知先グループ欄の各項目
- 項目ごとの連絡先欄の各項目
  項目の詳細を設定する場合は、［各項目の詳細設定］の［編集］をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して［OK］をクリックします。

11 ［適用］をクリックします。



12 Webブラウザを閉じます。

操作パネルを使用して、本機を使用するための基本的な各種の設定や調整をすることができます。設定できる機能の一覧は以下のとおりです。

各機能をご使用になるときは、表中のページを参照してください。

補足

- ❒ 本機は操作パネルのキーを押した後、ディスプレイの表示が切り替わるまで時間がかかることがあります。操作する際は、キーを押した後にすぐ離し、表示が切り替わるのを確認してから次の操作へ進んでください。

【メニュー】キー機能一覧表

カテゴリー	メニュー機能
タメシインサツブンショ	⇒使用説明書＜クライアント編＞「試し印刷/機密印刷する」[*1]
キミツインサツブンショ	⇒使用説明書＜クライアント編＞「試し印刷/機密印刷する」[*1]
ヨウシセッテイ (⇒ P.182)	1.トレイ１　ヨウシサイズ
	2.ヨウシシュルイ
	3.ジドウトレイセンタク
	4.ユウセンキュウシトレイ

カテゴリー	メニュー機能
テストインサツ （以下のメニューは使用するエミュレーションによって異なります（⇒ P.186））	1.イッカツリストインサツ
	2.システムセッテイリスト
	3.エラーリレキ
	4.インサツジョウケンリスト
	5.メニューリスト
	6.トウロクフォームリスト
	7.カラーサンプル
	8.ゼンモジインサツ
	9.フォントリスト
	10.PSジョウホウリスト
	11.PDFジョウホウリスト
	12.ヘキサダンプ
	13.ドウサカクニンインサツ
キュウシトレイ センタク *2	印刷する給紙トレイを切り替えます。
エミュレーションヨビダシ	エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。
インサツジョウケン *2	アプリケーションやパソコンに合わせて印刷条件を設定します。
プログラム トウロク *2	設定した印刷条件を登録します。

カテゴリー	メニュー機能
チョウセイ／カンリ （⇒ P.193）	1.カイチョウ ホセイ
	2.インサツイチ チョウセイ
	3.フツウシセッテイ
	4.アツガミセッテイ
	5.メンテナンスクリア
	6.HDフォーマット *1
	7.4Cビョウガモード
	8.デンパジョウタイ *3
	9.ムセンセッテイチ　ショキカ *3
システムセッテイ （⇒ P.201）	1.エラーレポート インサツ
	2.エラースキップ
	3.ガゾウエラーショリ
	4.エラーヒョウジセッテイ
	5.ヨネツモード
	6.ショウエネモード
	7.エミュレーション ケンチ
	8.ユウセン エミュレーション
	9.スプールインサツ *1
	10.ホジョヨウシサイズ

カテゴリー	メニュー機能
システムセッテイ（⇒ P.201）	11.レターヘッドシ　セッテイ
	12.RAMディスク
	13.メールツウチセッテイ
システムセッテイ（EM）*4 （⇒ P.209）	1.ハクシハイシ
	2.ヨウシナシエラー
	3.ジドウハイシジカン
	4.マクロキャッシュ
PSセッテイ *5 ⇒ P.213	1.リョウメンセッテイ *7
	2.データケイシキ
	3.カイゾウド
	4.RGBホセイ
	5.カラープロファイル
PDFセッテイ *6 ⇒ P.217	1.パスワードヘンコウ
	2.グループパスワード
	3.リョウメンセッテイ *7
	4.カイゾウド
	5.RGBホセイ
	6.カラープロファイル

カテゴリー	メニュー機能
インターフェースセッテイ （⇒ P.221）	1.ジュシンバッファ
	2.I/Fキリカエジカン
	3.ネットワークセッテイ
	4.パラレルI/Fセッテイ
	5.IEEE 802.11b [*8]

[*1] 拡張HDDを装着している場合に表示されます。

[*2] エミュレーション選択時に表示されます。

[*3] インターフェース設定メニューの「8.I/Fセンタク」で［IEEE 802.11b］が選択されているときに表示されます。

[*4] オプションの拡張エミュレーションカードを装着している場合に表示されます。

[*5] オプションのPS3拡張エミュレーションカードを装着している場合に表示されます。

[*6] オプションのPS3拡張エミュレーションカード、またはPDF拡張エミュレーションカードを装着している場合に表示されます。

[*7] オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。

[*8] オプションの拡張無線LANボードを装着しているときに表示されます。

用紙設定メニュー

用紙設定メニューでは、各トレイにセットする用紙のサイズや種類を設定できます。また、特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外したり、優先給紙トレイを設定することができます。

メニュー名	設定項目
用紙設定（ヨウシセッテイ）	トレイ１用紙サイズ（トレイ１　ヨウシサイズ） ⇒使用説明書<運用編>「用紙について」
	用紙種類（ヨウシシュルイ） ⇒使用説明書<運用編>「用紙について」
	自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）⇒ P.183 「特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す」
	優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）⇒ P.184 「優先給紙トレイを設定する」

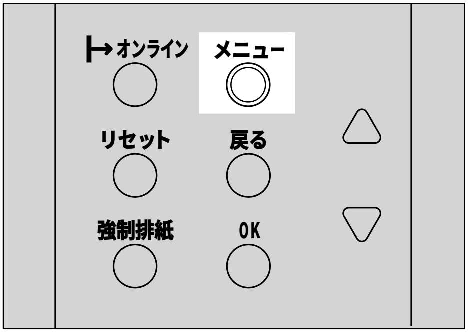
特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す

自動トレイ選択の対象としないトレイを設定します。「自動トレイ選択」とは、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択される機能のことです。工場出荷時は「タイショウニスル」になっています。

補足

- ❒ 不定形サイズの用紙の場合、「自動トレイ選択」を「対象にする」に指定した場合は操作パネルのサイズ指定が優先され、「対象にしない」に指定した場合はプリンタードライバーのサイズ指定が優先されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 ヨウシセッテイ
```

用紙設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.ジドウトレイセンタク」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ヨウシセッテイ>
3.ジドウトレイセンタク
```

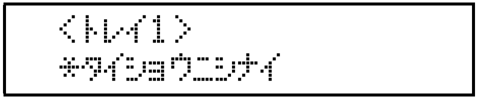
給紙トレイの選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して自動トレイ選択の対象としないトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ジドウトレイセンタク>
1.トレイ1
```

対象にするかどうかの選択画面が表示されます。

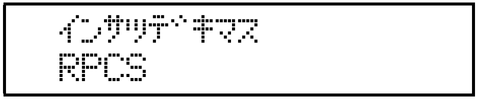
5 【▲】または【▼】キーを押して「タイショウニシナイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



設定が完了し、２秒後に手順**4**のメニューに戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

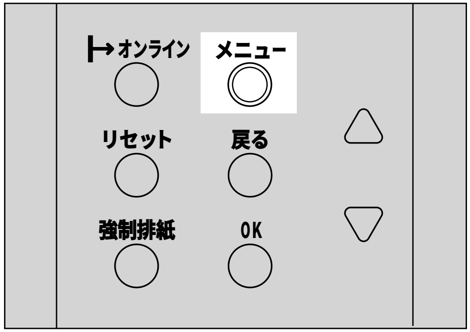
通常の画面が表示されます。



優先給紙トレイを設定する

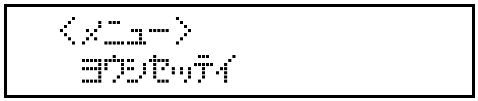
優先給紙トレイを設定します。「優先給紙トレイ」とは、プリンターの電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択やリミットレス給紙のときに一番最初に対象となるトレイです。工場出荷時の設定は「トレイ１」です。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「ヨウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



用紙設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「4.ユウセンキュウシトレイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ヨウシセッテイ>
4.ユウセンキュウシトレイ
```

給紙トレイの選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して目的のトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ユウセンキュウシトレイ>
*トレイ1
```

設定が完了し、２秒後に用紙設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス
RPCS
```

テスト印刷メニュー

テスト印刷メニューでは、本機の使用環境や印刷に関する条件の設定状況の一覧表を印刷することができます。また、印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

メニュー名	種類	対象	印刷される内容
テスト印刷（テストインサツ）	一括リスト印刷（イッカツリストインサツ）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	システム設定リストとエラー履歴が印刷されます。
	システム設定リスト（システムセッテイリスト）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。印刷される内容については、P.191「システム設定リストの見かた」を参照してください。
	エラー履歴（エラーリレキ）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	エラーになったジョブの履歴が印刷されます。
	印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）	RPDL、R55、R98、R16	印刷条件の設定内容が印刷されます。
	メニューリスト（メニューリスト）	–	【メニュー】キーを使って設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。
	登録フォームリスト（トウロクフォームリスト）	RPDL、R55	登録されているフォームの一覧が印刷されます。
	カラーサンプル（カラーサンプル）	–	カラーサンプルが印刷されます。

メニュー名	種類	対象	印刷される内容
テスト印刷（テストインサツ）	全文字印刷（ゼンモジインサツ）	RPDL、R55、R98、R16	現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できる全ての文字が印刷されます。
	フォントリスト（フォントリスト）	RPDL、R55、R98、R16	現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるフォントの一覧が印刷されます。
	PS情報リスト *1（PSジョウホウリスト）	PS3	PS3のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
	PDF情報リスト（PDFジョウホウリスト）	PS3、PDF	PDFの情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
	PS情報リスト *1（PSジョウホウリスト）	PS3	PS3のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
	PDF情報リスト（PDFジョウホウリスト）	PS3、PDF	PDFの情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
	ヘキサダンプ（ヘキサダンプ）	選択されている全てのプリンター言語とエミュレーション	印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷するモードに移行します。

メニュー名	種類	対象	印刷される内容
テスト印刷（テストインサツ）	動作確認印刷（ドウサカクニンインサツ）	−	オプションを含む給排紙と印刷動作を確認するためのテスト印刷を行います。オプションに関する設定項目は、実際に装着されているオプションにについてだけ表示されます。 指定した機能が実現できないと、メッセージを表示して印刷を中止します。正しく動作すると、黒の罫線枠を印刷します。

*1 詳細については、PostScript 3使用説明書を参照してください。

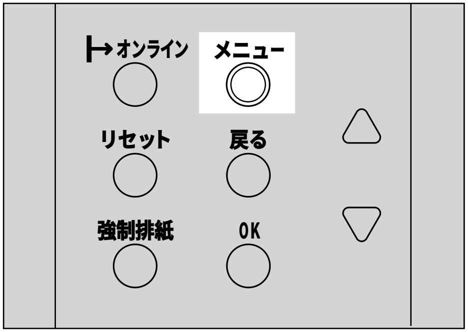
システム設定リストとエラー履歴を印刷する

システム設定リストとエラー履歴をまとめて印刷することができます。

重要

❒ システム設定リストとエラー履歴は、A4またはLetter（$8^1/_2$×11）で印刷されます。給紙トレイにA4またはLetter（$8^1/_2$×11）の用紙をセットしてください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2【▲】または【▼】キーを押して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
テストインサツ

テスト印刷メニューが表示されます。

3【▲】または【▼】キーを押して「1.イッカツリストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<テストインサツ>
1.イッカツインサツ

システム設定リストとエラー履歴が印刷されます。印刷完了後、テスト印刷メニューに戻ります。

重要

❒ システム設定リストとエラー履歴が印刷されない場合は、ディスプレイに表示されているエラーメッセージを確認してください。エラーメッセージの詳細は、使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」を参照してください。

4【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

インサツデキマス
RPCS

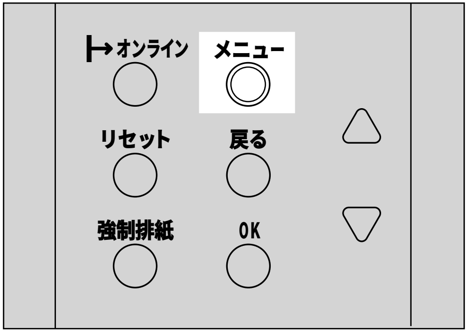
システム設定リストを印刷する

ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明します。他のリストを印刷する場合も、基本的な操作方法は同じです。

重要

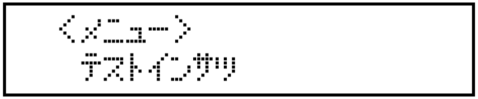
- ❒ システム設定リストはA4またはLetter（$8\frac{1}{2}$×11）で印刷されます。給紙トレイにA4またはLetter（$8\frac{1}{2}$×11）の用紙をセットしてください。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



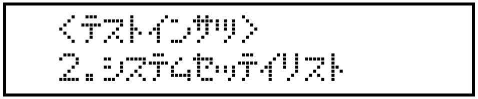
メニュー画面が表示されます。

2【▲】または【▼】キーを押して「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。



テスト印刷メニューが表示されます。

3【▲】または【▼】キーを押して印刷したいをリスト名を表示させ、【OK】キーを押します。



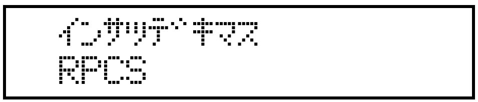
システム設定リストが印刷されます。印刷完了後、テスト印刷メニューに戻ります。

重要

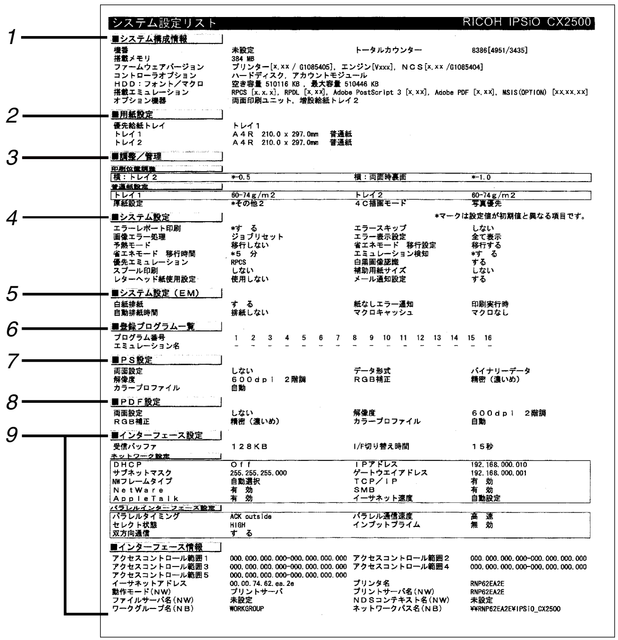
- ❒ システム設定リストとエラー履歴が印刷されない場合は、ディスプレイに表示されているエラーメッセージを確認してください。エラーメッセージの詳細は、使用説明書＜保守・運用編＞「こんなときには」を参照してください。

4【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。



システム設定リストの見かた



システム設定リスト　RICOH IPSiO CX2500

■システム構成情報

機番	未設定	トータルカウンター	8386[4951/3435]
搭載メモリ	384 MB		
ファームウェアバージョン	プリンター[x.xx / G1085405]，エンジン[Vxxx]，ＮＣＳ[x.xx /G1085404]		
コントローラオプション	ハードディスク，アカウントモジュール		
ＨＤＤ：フォント／マクロ	空き容量 510116 KB ，最大容量 510446 KB		
搭載エミュレーション	RPCS [x.x.x]，RPDL [x.xx]，Adobe PostScript 3 [x.xx]，Adobe PDF [x.xx]，MSIS(OPTION) [xx.xx.xx]		
オプション機器	両面印刷ユニット，増設給紙トレイ２		

■用紙設定

優先給紙トレイ	トレイ１
トレイ１	Ａ４Ｒ　210.0 x 297.0mm　普通紙
トレイ２	Ａ４Ｒ　210.0 x 297.0mm　普通紙

■調整／管理

印刷位置調整

横：トレイ２	*-0.5	横：両面時裏面	*-1.0

普通紙設定

トレイ１	60-74ｇ/ｍ２	トレイ２	60-74ｇ/ｍ２
厚紙設定	*その他２	４Ｃ描画モード	写真優先

■システム設定　*マークは設定値が初期値と異なる項目です。

エラーレポート印刷	*す　る	エラースキップ	しない
画像エラー処理	ジョブリセット	エラー表示設定	全て表示
予熱モード	移行しない	省エネモード　移行設定	移行する
省エネモード　移行時間	*5　分	エミュレーション検知	*す　る
優先エミュレーション	RPCS	白黒画像認識	する
スプール印刷	しない	補助用紙サイズ	しない
レターヘッド紙使用設定	使用しない	メール通知設定	する

■システム設定（ＥＭ）

白紙排紙	す　る	紙なしエラー通知	印刷実行時
自動排紙時間	排紙しない	マクロキャッシュ	マクロなし

■登録プログラム一覧

プログラム番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
エミュレーション名	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

■ＰＳ設定

両面設定	しない	データ形式	バイナリーデータ
解像度	６００ｄｐｉ　２階調	ＲＧＢ補正	精密（濃いめ）
カラープロファイル	自動		

■ＰＤＦ設定

両面設定	しない	解像度	６００ｄｐｉ　２階調
ＲＧＢ補正	精密（濃いめ）	カラープロファイル	自動

■インターフェース設定

受信バッファ	１２８ＫＢ	I/F切り替え時間	１５秒

ネットワーク設定

ＤＨＣＰ	Ｏｆｆ	ＩＰアドレス	192.168.000.010
サブネットマスク	255.255.255.000	ゲートウエイアドレス	192.168.000.001
NWフレームタイプ	自動選択	ＴＣＰ／ＩＰ	有　効
ＮｅｔＷａｒｅ	有　効	ＳＭＢ	有　効
ＡｐｐｌｅＴａｌｋ	有　効	イーサネット速度	自動設定

パラレルインターフェース設定

パラレルタイミング	ACK outside	パラレル通信速度	高　速
セレクト状態	HIGH	インプットプライム	無　効
双方向通信	す　る		

■インターフェース情報

アクセスコントロール範囲１	000.000.000.000-000.000.000.000	アクセスコントロール範囲２	000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲３	000.000.000.000-000.000.000.000	アクセスコントロール範囲４	000.000.000.000-000.000.000.000
アクセスコントロール範囲５	000.000.000.000-000.000.000.000		
イーサネットアドレス	00.00.74.62.ea.2e	プリンタ名	RNP62EA2E
動作モード(ＮＷ)	プリントサーバ	プリントサーバ名(ＮＷ)	RNP62EA2E
ファイルサーバ名(ＮＷ)	未設定	ＮＤＳコンテキスト名(ＮＷ)	未設定
ワークグループ名(ＮＢ)	WORKGROUP	ネットワークパス名(ＮＢ)	¥¥RNP62EA2E¥IPSiO_CX2500

1. **システム構成情報**
   プリンターのバージョン情報やオプションの装着状況、搭載エミュレーションやプリンター言語の名称などが印刷されます。
2. **用紙設定**
   現在選択されている優先給紙トレイと各トレイにセットされている用紙のサイズと種類など用紙設定メニューの設定項目が印刷されます。
3. **調整／管理**
   濃度調整や印刷位置設定など、調整／管理メニューの設定項目が印刷されます。
4. **システム設定**
   システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。
   ＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。
5. **システム設定（EM）**
   システム設定（EM）メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。
   「原点位置」以下の項目は、PostScript 3以外のエミュレーション使用時に表示されます。
   ＊印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。
6. **登録プログラム一覧**
   登録されているプログラムのエミュレーション名が表示されます。
7. **PS設定**
   PS設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。
8. **PDF設定**
   PDF設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。
9. **インターフェース設定、インターフェース情報**
   インターフェース設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

調整管理メニュー

調整管理メニューでは、階調や濃度などの印刷条件の調整のほか、ハードディスクのフォーマットやメニューのプロテクトといったプリンターの管理についての設定ができます。

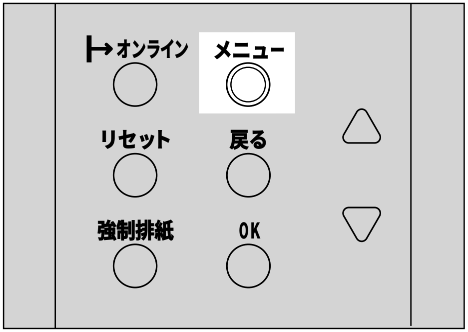
メニュー名	設定項目
調整／管理（チョウセイ／カンリ）	階調補正（カイチョウ　ホセイ） ⇒使用説明書<保守・運用編>「清掃・調整する」
	印刷位置調整（インサツイチ チョウセイ） ⇒使用説明書<保守・運用編>「清掃・調整する」
	普通紙設定（フツウシセッテイ） ⇒ P.195 「普通紙の種類を設定する」
	厚紙設定（アツガミセッテイ） ⇒ P.196 「厚紙の種類を設定する」
	メンテナンスクリア（メンテナンスクリア） ⇒使用説明書<保守編>「消耗品を交換する」
	HDフォーマット（HDフォーマット） ⇒ P.197 「拡張HDDをフォーマットする（初期設置以降）」
	4C描画モード（4Cビョウガモード） 印刷時にCMYK各色のトナーを重ね合わせる量を切り替える設定です。文字、罫線などのにじみが気になる場合に「文字優先」を選択すると改善される場合があります。 通常は「写真優先」でご使用ください。

メニュー名	設定項目
調整／管理（チョウセイ／カンリ）	電波状態（デンパジョウタイ） ⇒ P.198 「無線LANの電波状態を表示する」
	無線設定値初期化（ムセンセッテイチショキカ） ⇒ P.200 「無線LANの設定値を初期化する」

普通紙の種類を設定する

使用する普通紙の種類として、「60–74g/m2」、「74–90g/m2」、または「90–105g/m2」のどれかを選択します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
チョウセイ/カンリ
```

調整/管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.フツウシセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ/カンリ>
3.フツウシセッテイ
```

4 【▲】または【▼】キーを押して設定するトレイを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<フツウシセッテイ>
1.トレイ1
```

5 【▲】または【▼】キーを押して設定する普通紙の種類をさせ、【OK】キーを押します。

```
<トレイ1>
*74 90g/m2
```

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
インサツデキマス
RPCS
```

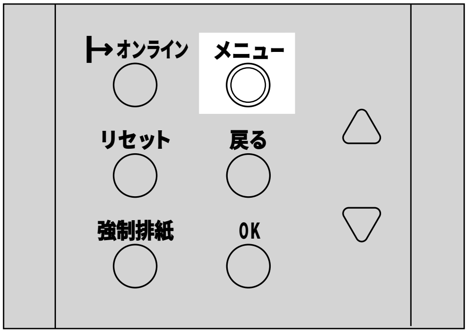
厚紙の種類を設定する

使用する厚紙の種類として、「105–163g/m2」「163–210g/m2」「ハガキ」「ソノタ1」「ソノタ2」のどれかを選択します。

制限

- 厚紙をセットして印刷できるトレイは、本体給紙トレイ（トレイ1）です。オプションの500枚増設トレイユニットのトレイ（トレイ2）には、厚紙をセットして印刷することはできません。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ﾁｮｳｾｲ/ｶﾝﾘ
```

調整/管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「4.アツガミセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾁｮｳｾｲ/ｶﾝﾘ>
4.ｱﾂｶﾞﾐｾｯﾃｲ
```

4 【▲】または【▼】キーを押して設定す厚紙の種類をさせ、【OK】キーを押します。

```
<ｱﾂｶﾞﾐｾｯﾃｲ>
*163 210g/m2
```

5 【オンライン】キーを押します。

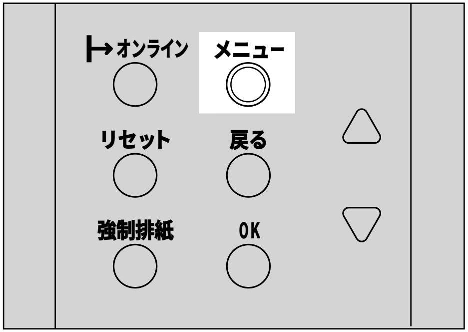
通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

拡張 HDD をフォーマットする（初期設置以降）

初期の設置以降に拡張 HDD のフォーマットが必要になったときは、調整/管理メニューの「HDフォーマット」を実行します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

調整/管理する項目を選択する画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「6.HDフォーマット」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ/カンリ>
6.HDフォーマット
```

補足

- ❒「6.HD フォーマット」が表示されない場合は拡張HDDが正しく取り付けられていません。使用説明書＜オプション設置編＞「オプションを取り付ける」を参照して、拡張HDDを取り付け直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

4 確認のメッセージが表示されていることを確認し、【OK】キーを押します。

```
HDフォーマット
OKキーデ ジッコウシマス
```

拡張HDDがフォーマットされ、再起動のメッセージが表示されます。

```
カンリョウシマシタ デンゲン
ヲ イレナオシテ クダサイ
```

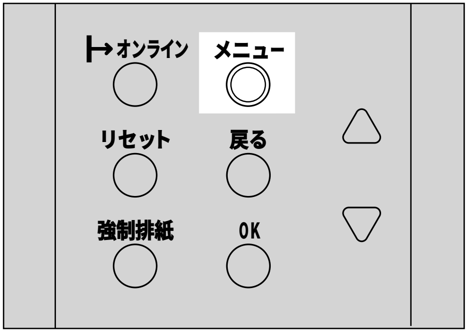
5 本機の電源を一度切り、再び電源を入れます。

拡張HDDのフォーマットが終了し、使用できるようになります。

無線 LAN の電波状態を表示する

無線 LAN の電波状態を確認する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「デンパジョウタイ」を実行します。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 チョウセイ/カンリ
```

「チョウセイ/カンリ」メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「8.デンパジョウタイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<チョウセイ/カンリ>
8.デンパジョウタイ
```

現在の電波状態が表示されます。

```
デンパジョウタイ
サイリョウ        100%
```

```
デンパジョウタイ
リョウ             85%
```

```
デンパジョウタイ
フアンテイ         60%
```

```
デンパジョウタイ
ツウシンフカ       30%
```

補足

- 「8. デンパジョウタイ」が表示されない場合はインターフェース設定メニューのネットワーク設定内「I/F選択」で「IEEE 802.11b」が選択されていません。「I/F選択」で「IEEE 802.11b」を選択してから、再度調整管理メニューの「電波状態」を選択してください。
- 電波状態は、無線LANの通信モードが「インフラストラクチャー」モードの場合に測定できます。通信モードが「アドホック」または、「802.11アドホック」の場合は電波状態を測定できません。インターフェース設定メニューの「IEEE 802.11b」の「通信モード」で「インフラストラクチャー」を選択してから確認しなおしてください。
- 【OK】キーを押すたびに電波状態が更新されます。
- 電波状態は、86〜100%で最良、61〜85%で良、31〜60%で不安定、0〜30%で通信不可と表示されます。電波の状態が不安定または通信不可のときは、電波の通る場所に移動するか障害物を取り除いてください。
- 近くで電子レンジや無線機器等をお使いになると、電波の状態に影響を与えることがあります。

4 【戻る】キーを押します。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

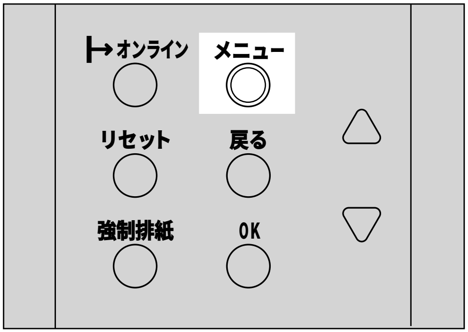
無線 LAN の設定値を初期化する

無線 LAN の設定値を初期化する必要があるときは、「チョウセイ/カンリ」メニューの「ムセンセッテイチショキカ」を実行します。

補足

- この実行により初期化される項目は、インターフェース設定メニュー「IEEE 802.11b」の「通信モード」「チャンネル」「通信速度」「SSID」「WEP設定」の5項目です。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「チョウセイ/カンリ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
チョウセイ/カンリ

「チョウセイ/カンリ」メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「9.ムセンセッテイチショキカ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<チョウセイ/カンリ>
9.ムセンセッテイチ ショキカ

確認のメッセージが表示されます。

<ムセンセッテイチ ショキカ>
セッテイヲ ショキカ シマスカ?

4 【OK】キーを押します。

無線設定値が初期化され、確認のメッセージが表示されます。

ショキカ サレマシタ

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

インサツデキマス
RPCS

システム設定メニュー

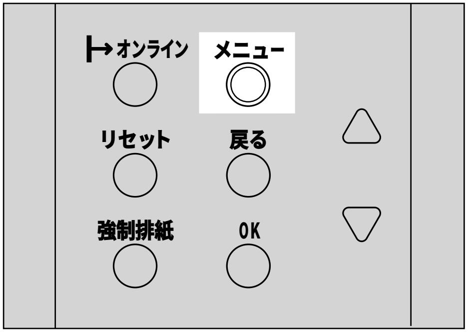
システム設定メニューでは、プリンターを使用する上で基本的な動作に関る設定を行うことができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

メニュー名	設定項目
システム設定（システムセッテイ）	エラーレポート印刷（エラーレポート　インサツ）
	エラースキップ（エラースキップ）
	画像エラー処理（ガゾウエラーショリ）
	エラー表示設定（エラーヒョウジセッテイ）
	予熱モード（ヨネツモード）
	省エネモード（ショウエネモード）
	エミュレーション検知（エミュレーション ケンチ）
	優先エミュレーション（ユウセン エミュレーション）
	スプール印刷（スプールインサツ）
	補助用紙サイズ（ホジョヨウシサイズ）
	レターヘッド紙設定（レターヘッドシ セッテイ）
	RAMディスク
	メール通知設定（メールツウチセッテイ）

システム設定を変更する

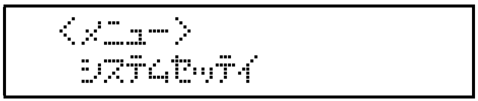
ここでは設定の手順を、「省エネモード」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



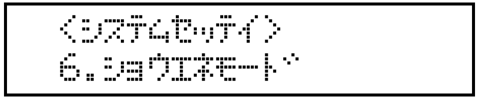
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「システムセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



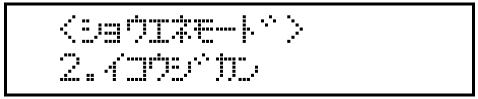
システム設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「6.ショウエネモード」を表示させ、【OK】キーを押します。



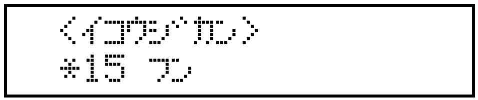
設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して設定を変更する項目を表示させ、【OK】キーを押します。



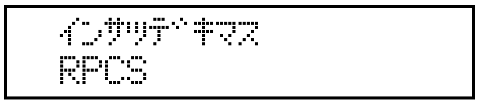
5 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

設定が確定し、約２秒後に省エネモードメニューに戻ります。



6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。



システム設定メニューの設定項目

ここでは、システム設定メニューの設定項目について説明します。

　　　　は工場出荷時の設定です。

❖ エラーレポート印刷

プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

しない	する

❖ エラースキップ

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種が一致するトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定します。

しない	プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。
即時	用紙サイズ・用紙種類が一致しない場合でもすぐに印刷します。
1分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを1分間表示し、その後印刷を実行します。
5分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを5分間表示し、その後印刷を実行します。
10分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを10分間表示し、その後印刷を実行します。
15分	用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを15分間表示し、その後印刷を実行します。

❖ 画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

ジョブリセット	エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。
エラーレポート印刷	エラーが発生したページはエラー発生直前の画像まで印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブの終わりにエラーレポートを印刷します。エラーコードと、エラーによって出力結果が不完全になったページを最大16ページ分印刷します。

❖ エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

全て表示	簡易表示

❖ 予熱モード

予熱モードとは、プリンター待機状態の消費電力を節約する機能です。プリンターを一定時間使用しないと予熱モードに切り替わります。予熱モードからプリンターの起動までは約30秒です。予熱モードでプリンターを一定時間使用しないと省エネモードに切り替わります。

移行する	移行しない

❖ 省エネモード

省エネモードとは、プリンターの消費電力を節約する機能です。

- **移行設定**
  省エネモードに移行するかしないかを選択します。

移行する	移行しない

- **移行時間**
  省エネモードに移行する場合は、移行するまでの時間を設定します。ここで設定した時間の間プリンターを使用しないと、省エネモードに切り替わります。省エネモード中はプリンターの起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

5分	15分	30分	45分	60分

❖ エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのはPS3です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーションで設定されているエミュレーションになります。

する	しない

❖ 優先エミュレーション

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

RPCS	RPDL	R98	R16	R55
PS3	PDF	BMLinkS	プログラム1〜16	

補足

- ❒ 「プログラム1」〜「プログラム16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。RPCS、PS3、PDF、BMLinkS以外で有効です。
- ❒ RPCS以外は、拡張エミュレーションカードが装着されているときのみ表示されます。

❖ スプール印刷

スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、転送が終わってから印刷する機能です。

しない	する

補足

- ❒ オプションの拡張HDDを装着時にのみ表示されます。
- ❒「スル」を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。また、印刷が完了する前にプリンターの電源を切ると、プリントジョブはハードディスクに保存されます。

参照

スプール印刷の詳細については、P.303 「スプール印刷について」を参照してください。

❖ 補助用紙サイズ

A4とLetter（8½×11）の切り替えをするかどうかを設定します。

しない	自動

補足

- ❒ 切替を行った場合、A4とLetter（8½×11）では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を越えた描画は、端部が切れたり、正常に印刷されなかったりします。

❖ レターヘッド紙設定

レターヘッド紙印刷を行うかどうかを設定します。
レターヘッド紙印刷を行うと、両面印刷のとき、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷されます。

使用しない	使用する（常時）	使用する（自動）

- 使用しない
  レターヘッド紙印刷を行いません。
- 使用する（常時）
  常にレターヘッド紙印刷を行います。
- 使用する（自動）
  レターヘッド紙が指定されたときに行います。

補足

- ❒ 両面印刷ができない紙サイズの場合、両面印刷は解除されます。
- ❒ 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になった場合、ソートの2部目以降は全て両面印刷となります。2部目以降も片面で印刷したいときは、両面印刷ができない紙サイズを給紙してください。
- ❒ レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意が必要です。

❖ RAMディスク
PDFダイレクトプリントをする場合で、オプションの拡張HDDを装着していないときに指定します。2MB以上の値を指定してください。

重要

❒ SDRAMモジュールを増設していない状態でRAMディスクの値を16MBに設定した場合、通常の印刷実行において、印刷データによっては印刷ができなかったり、両面印刷が解除されたりすることがあります。そのような場合は、RAMディスクの設定値を8MB以下にしてください。または、SDRAMモジュールを増設してください。

参照

オプションのSDRAMモジュールについては、使用説明書＜オプション設置編＞を参照してください。

0MB	2MB	4MB	8MB	16MB

❖ メール通知設定
本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。

重要

❒ 設定を変更したときは、いったん電源をOFFにし、あらためて電源をONにしてください。

しない	する

システム設定（EM）メニュー

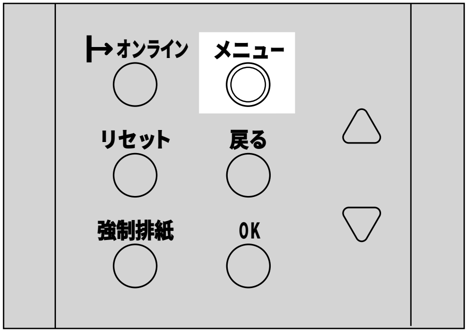
システム設定（EM）メニューでは、DOS で使用する上での基本的な動作に関わる設定を行うことができます。RPDL、R98、R16、R55のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。通常は、工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定（EM）の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

メニュー名	設定項目
システム設定（EM） （システムセッテイ（EM））	白紙排紙（ハクシ ハイシ）
	用紙なしエラー（ヨウシナシエラー）
	自動排紙時間（ジドウハイシジカン）
	マクロキャッシュ（マクロキャッシュ）

システム設定（EM）を変更する

ここでは設定の手順を、「自動排紙時間」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「システムセッテイ(EM)」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ(EM)
```

システム設定（EM）メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.ジドウハイシジカン」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ(EM)>
3.ｼﾞﾄﾞｳﾊｲｼｼﾞｶﾝ
```

設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｼﾞﾄﾞｳﾊｲｼｼﾞｶﾝ>
*15 ﾋﾞｮｳ
```

設定が確定し、約２秒後に**3**の画面に戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ    ﾄﾚｲ1
RPDL         A4ﾀﾃ
```

システム設定（EM）メニューの設定項目

ここではシステム設定（EM）メニューの設定項目について説明します。　　　は工場出荷時の設定です。

❖ 白紙排紙

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します

する	排紙します。
スペース	排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。
しない	排紙しません。

❖ 用紙なしエラー

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。「常時」に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

印刷実行時	用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。
用紙なし時	用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

❖ 自動排紙時間

一定時間パソコンからデータが送信されない場合にプリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて【強制排紙】キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。「なし」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。 設定された時間が経過すると送信されてきたデータが１ページの途中までであっても強制的に印刷されるため、適切な時間を設定することが重要です。

自動排紙しない	10秒	15秒	20秒	25秒	60秒	300秒

❖ マクロキャッシュ

プリンター言語モジュールがマクロキャッシュとして使用するメモリの上限を設定します。

マクロなし	**マクロ**　2.1MB	**マクロ**　4.3MB	**マクロ**　8.4MB

PS 設定メニュー

PS設定メニューでは、PostScript印刷を行うときの印刷条件を設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

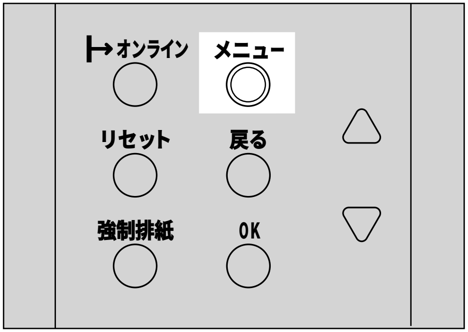
メニュー名	設定項目
PS設定 （PSセッテイ）	両面設定（リョウメンセッテイ）
	データ形式（データケイシキ）
	解像度（カイゾウド）
	RGB補正（RGBホセイ）
	カラープロファイル（カラープロファイル）

PS設定メニューは、オプションのPS3拡張エミュレーションカードが装着され、PS3がエミュレーション呼び出しされているときに表示されます。

PS 設定を変更する

ここでは設定の手順を、「解像度」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「PSセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 PSｾｯﾃｲ
```

PS設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「3.カイゾウド」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<PSｾｯﾃｲ>
3.ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
```

解像度の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して設定を変更し、【OK】キーを押します。

```
<ｶｲｿﾞｳﾄﾞ>
*600dpi ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

設定が確定し、約２秒後に3の画面に戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
PS3
```

PS 設定メニューの設定項目

ここではPS設定メニューの設定項目について説明します。　　　は工場出荷時の設定です。

❖ 両面設定

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

しない	長辺	短辺

❖ データ形式

データ形式を設定します。

バイナリーデータ	TBCP

制限

- ❒ パラレル接続、USB接続、およびEtherTalk接続の場合に有効です。
- ❒ パラレル接続、およびUSB接続の場合に「バイナリデータ」をプリンタードライバーから送信すると、ジョブはキャンセルされます。
- ❒ イーサネット接続では、次の場合はジョブがキャンセルされます。
  - 「バイナリデータ」を設定しているときに、プリンタードライバーからTBCPのデータを送信した場合
  - 「TBCP」を設定しているときに、プリンタードライバーからバイナリデータを送信した場合

❖ 解像度

解像度を設定します。

600dpi 2 階調	600dpi標準

❖ RGB補正

RGB補正を設定します。

しない	精密（普通）	精密（濃いめ）

❖ カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

自動	ビジネス	ベタ	フォト	ユーザー設定

PDF 設定メニュー

PDF設定メニューでは、PDFダイレクトプリントを行うときの印刷条件を設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

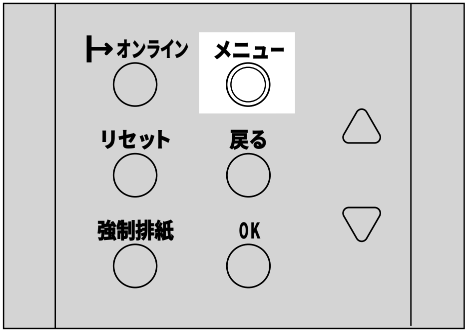
メニュー名	設定項目
PDF設定 （PDFセッテイ）	パスワード変更（パスワードヘンコウ）
	グループパスワード（グループパスワード）
	両面設定（リョウメンセッテイ）
	解像度（カイゾウド）
	RGB補正（RGBホセイ）
	カラープロファイル（カラープロファイル）

PDF設定メニューは、オプションのPS3またはPDF拡張エミュレーションカードが装着され、PDFがエミュレーション呼び出しされているときに表示されます。

PDF 設定を変更する

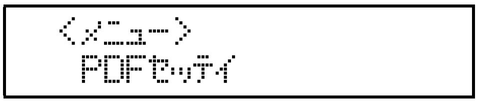
ここでは設定の手順を、「解像度」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



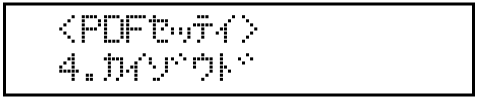
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「PSセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



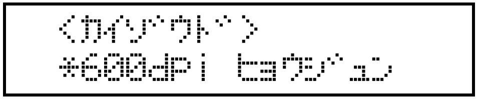
PS設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「4.カイゾウド」を表示させ、【OK】キーを押します。



解像度の選択画面が表示されます。

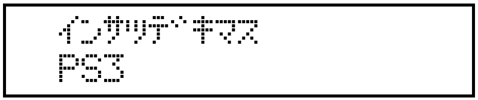
4 【▲】または【▼】キーを押して設定を変更し、【OK】キーを押します。



設定が確定し、約２秒後に3の画面に戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。



PDF 設定メニューの設定項目

ここではPDF設定メニューの設定項目について説明します。　　　は工場出荷時の設定です。

❖ パスワード変更

印刷するPDFファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

今のパスワード	新規パスワード

❖ グループパスワード

Ridoc Desk 2000 Ltで設定したグループパスワードを設定します。

補足

❒ グループパスワードを使用する場合、オプションの暗号化カードが本機に装着されている必要があります。

今のパスワード	新規パスワード

❖ 両面設定

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

しない	長辺	短辺

❖ 解像度

解像度を設定します。

600dpi 2階調	600dpi標準

❖ RGB補正

RGB補正を設定します。

しない	精密（普通）	精密（濃いめ）

❖ カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

自動	ビジネス	ベタ	フォト	ユーザー設定

インターフェース設定メニュー

インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンとプリンターをパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保存されます。設定できる項目は以下のとおりです。

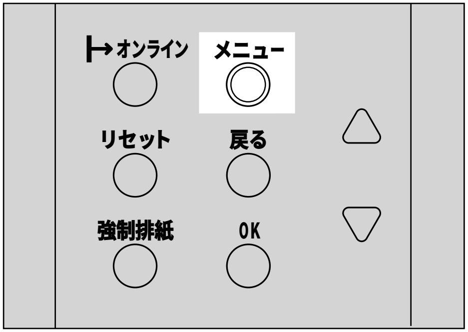
メニュー名	設定項目
インターフェース設定 （インターフェースセッテイ）	受信バッファ（ジュシンバッファ）
	I/F切り替え時間（I/Fキリカエジカン）
	ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）
	パラレルI/F設定（パラレルI/Fセッテイ）
	IEEE 802.11b [*1] （IEEE 802.11b）

[*1] オプションの拡張無線LANボード装着時に表示されます。

インターフェース設定を変更する

ここでは設定の手順を、「I/F切り替え時間」の設定値を変更する例で説明します。基本的な操作方法は他の項目でも同じです。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ
```

インターフェース設定メニューが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押して「2.I/Fキリカエジカン」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
2.I/Fｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ
```

設定項目の選択画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して変更する設定値を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<I/Fｷﾘｶｴｼﾞｶﾝ>
*15 ﾋﾞｮｳ
```

設定が確定し、約2秒後にインターフェース設定メニューに戻ります。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

インターフェース設定メニューの設定項目

ここではシステム設定メニューの設定項目について説明します。　　　　は工場出荷時の設定です。

❖ 受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

128KB	256KB	512KB

❖ I/F切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。

設定時間が短すぎると１つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

10秒	15秒	20秒	25秒	60秒

❖ ネットワーク設定

ネットワーク環境にプリンターを接続して印刷するために設定をします。

参照

イーサネット速度以外の各項目の設定方法と説明は、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

- DHCP
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウエイアドレス
- NWフレームタイプ
- ユウコウプロトコル
- イーサネット速度
  イーサネット接続でネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

自動設定	10Mbps半二重	10Mbps全二重	100Mbps半二重	100Mbps全二重

- I/F選択

イーサネット	IEEE 802.11b

❖ パラレルI/F設定

パソコンとプリンターをパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。

- **パラレルタイミング**
  パラレルインターフェースのタイミングを設定します。
  ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 1」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

ACK inside	ACK outside	STB down

- **パラレル通信速度**
  パラレル通信でDMA転送を使用して受信を行うかどうかを設定します。

高速	標準

- **セレクト状態**
  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

High	Low

- **インプットプライム**
  インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

有効	無効

- **双方向通信**
  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「シナイ」に設定します。

する	しない

❖ IEEE 802.11b

無線LANを使用するときに必要な項目を設定します。拡張無線LANボード装着時に表示されます。

参照

設定方法については、使用説明書<オプション設置編>を参照してください。

- **通信モード**

無線LANの通信モードを設定します。

802.11アドホック	インフラストラクチャー	アドホック

補足

❒ 通信モードは、Webブラウザを使用して設定することもできます。詳細は、P.148 「Webブラウザを使う」、およびWeb Image Monitorのヘルプを参照してください。

- **チャンネル**

アドホックモード選択時に使用するチャンネルを1～14の間で設定します。工場出荷時は「11」に設定されています。

- **通信速度**

無線LANの通信速度を設定します。

自動設定	11Mbps固定	5.5Mbps固定	2Mbps固定	1Mbps固定

- SSID設定
  設定したSSIDを確認するときは、「ヒョウジ」を選択します。SSIDを設定するときは、「ニュウリョク」を選択します。

ヒョウジ	ニュウリョク

補足

- ❒ SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号<ASCII　0x20～0x7e>で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。
- ❒ SSIDは、Webブラウザを使用して設定することもできます。詳細は、P.148「Webブラウザを使う」、およびWeb Image Monitorのヘルプを参照してください。

- WEP設定
  無線LANの暗号化を設定します。

有効	無効

補足

- ❒ WEPキーは、16進数またはASCII文字列で入力します。
- ❒ 64bit WEPを使用する場合、16進数では10桁、ASCII文字列では5桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合、16進数では26桁、ASCII文字列では13桁の文字列が使用できます。
- ❒ WEPキーは、Webブラウザを使用して設定することもできます。詳細は、P.148「Webブラウザを使う」、およびWeb Image Monitorのヘルプを参照してください。

Windows からのファイル直接印刷

Windows でコマンドを使用したファイル直接印刷ができます。使用できるコマンドは次のとおりです。

OS	lpr	rcp	ftp
Windows 95/98/Me			✓
Windows 2000/XP、Windows Server 2003	✓	✓	✓
Windows NT 4.0	✓	✓	✓

制限

❒ この方法で印刷できるファイルは、プリンターが搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

補足

❒ エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript 3用のポストスクリプトファイルなどです。

ここではセットアップの方法、および印刷方法を説明します。

セットアップ

1 プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定するときは、P.296「DHCPを使用する」を参照してください。

2 WindowsにTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

補足

❒ ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000/XP、Windows Server 2003でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」を組み込みます。、Windows NT 4.0の場合は「Microsoft TCP/IP印刷」を組み込みます。

補足

- Windows 95/98/Meでは、lprを使った印刷はできません。
- 印刷時に IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合のセットアップは、これで終了です。プリンターの指定にホスト名を使用するときは、P.229 「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNSサーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷方法は、P.190 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

その他の場合

印刷を行うコンピュータの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

Windows 95/98/Meの場合

1. ¥WINDOWS¥HOSTS.SAM を同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。
2. 作成した ¥WINDOWS¥HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。
3. hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

   ```
   192.168.15.16   ricoh   # NP
   ```

   192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。
4. ファイルを上書き保存します。

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合

1. メモ帳などでhostsファイルを開きます。

   hostsファイルは以下の場所にあります。

   ```
   \WINNT\SYSTEM32\DRIVERS\ETC\HOSTS
   ```

   ¥WINNTはWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のインストール先のディレクトリです。
2. hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

   ```
   192.168.15.16   ricoh   # NP
   ```

   192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。
3. ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使った印刷方法を説明します。

操作の前に

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各Windowsでのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

- Windows 95/98の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [MS-DOSプロンプト]
- Windows Meの場合：
  [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOSプロンプト]
- Windows 2000の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- Windows XP、Windows Server 2003の場合：
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- Windows NT 4.0の場合：
  [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト]

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。下表に示すセッション数以下になってから印刷し直してください。

rcp、rsh	5
ftp	3

- ❒ ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳細については、使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」を参照してください。

エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

lpr

❖ IPアドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのアドレス [-Pオプション] [-ol] \パス名\ファイル名
```

❖ IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのホスト名 [-Pオプション] [-ol] \パス名\ファイル名
```

補足

❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字のOと、小文字のL）オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=RPS -ol C:\PRINT\file1
```

rcp

あらかじめhostsファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。P.229「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

```
c:> rcp [-b] \パス名\ファイル名 [\パス名\ファイル名...] プリンターのホスト名:[オプション]
```

補足

❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ホスト名がricohのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2 ricoh:filetype=RPS
```

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

ftp> put　\パス名\ファイル名　[オプション]

❖ 印刷するファイルが複数の場合

ftp> mput　\パス名\ファイル名　[\パス名\ファイル名...]

補足

❒ mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

制限

❒ ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

% ftp　プリンターのIPアドレス

2 必要に応じてユーザー名とパスワードを入力し、【Enter】キーを押します。

工場出荷時の設定は、ユーザー名なし、パスワードは「ricoh」です。

```
User:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

補足

❒ バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:\PRINT\file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

SNMP

本機内蔵のイーサネットボード、および拡張無線LANボード（オプション）には、UDPとIPX上で動作するSNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています

SNMPマネージャを使ってプリンターの情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

補足

❒ コミュニティ名は、以下の設定方法で設定できます。

- コマンドラインからtelnetを使用して設定することができます。⇒ P.242 「SNMP」
- Ridoc IO Admin からイーサネットボード設定ツールを使用して設定することができます。⇒Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- Webブラウザから設定することができます。⇒Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

制限

❒ サポートされるMIBの種類は、機種によって異なります。

❖ サポートしているMIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

telnetによるリモートメンテナンス（mshell）

telnetを使ってプリンターの状態や設定内容を確認や、各種の設定を行うことができます。

補足

- ❒ リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- ❒ パスワードはWebブラウザによる設定（Web Image Monitor）で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnetを起動してから終了するまでの手順は次のようになります。

制限

- ❒ リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてtelnetを起動します。

```
% telnet プリンターのIPアドレス
```

2 パスワードを入力します。

補足

- ❒ 工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。

3 コマンドを入力します。

参照

使用できるコマンドについて詳しくは、P.236「コマンド一覧」を参照してください。

4 telnetを終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enterキーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enterキーを押します。

補足

- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- リセットしてもActive状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態（プリンターへのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

- 「help」と入力すると使用できるコマンドの一覧が表示されます。

```
msh> help
```

- 「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使い方が表示されます。

```
msh> help コマンド名
```

TCP/IP アドレス

TCP/IP(IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス)の表示や設定を行うにはifconfigコマンドを使用します。

❖ 表示

`msh> ifconfig`

❖ 設定

`msh> ifconfig インターフェース パラメーター アドレス`

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース *1
wlan *2	無線LANインターフェース

*1 インターフェース名を設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。

*2 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

パラメーター	設定される項目
なし	IPアドレス
netmask	サブネットマスク
broadcast	ブロードキャストアドレス

❖ インターフェース切り替え

拡張無線LANボード（オプション）接続時に、イーサネットと無線LANのどちらを使用するか指定することができます。

`msh> ifconfig インターフェース up`

（例）イーサネットインターフェースのIPアドレスを192.168.15.16に設定する

`msh> ifconfig ether 192.168.15.16`

（例） イーサネットインターフェースのサブネットマスクを255.255.255.0に設定する

`msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0`

補足

- パラメーターで指定した項目が指定したアドレスに設定されます。
- サブネットマスクはイーサネットインターフェース、無線LANインターフェース共通です。
- アドレスを16進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

アドレスについて

❖ サブネットマスク
IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ ブロードキャストアドレス
ネットワークの特定の全機器にデータを送るために決める特定のアドレスです。

補足

- ❒ 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- ❒ TCP/IP の設定はイーサネットインターフェースと無線 LAN インターフェースで共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行なうにはaccessコマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

❖ 表示
msh> access

❖ 設定
msh> access 対象番号 range 開始アドレス 終了アドレス
（例）アクセス可能なIPアドレスを192.168.0.10から192.168.0.20に設定する
msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20

補足

- ❒ アクセスレンジは、印刷できるワークステーションをIP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。
- ❒ 開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- ❒ アクセスレンジは、5件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。
- ❒ 制限されたIPアドレスからはWeb Image Monitorおよびtelnetにアクセスすることはできません。

❖ アクセスコントロールの初期化
msh> access flush

補足

- ❒ 工場出荷時の設定に戻します。全てのアクセスレンジが「0.0.0.0」になります。

DHCP

DHCPの設定をするにはdhcpコマンドを使用します。

参照

DHCP機能について詳しくは、P.296「DHCPを使用する」を参照してください。

❖ 表示

DHCPの設定値を表示します。

```
msh> dhcp
```

❖ 設定

DHCP機能を設定します。

```
msh> dhcp インターフェース [on/off]
```

補足

- ❒ DHCP機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- ❒ DNS サーバーアドレスやドメイン名を DHCP から取得する場合、必ず「on」に設定してください。

❖ インターフェースの優先設定

DHCP パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。

```
msh> dhcp priority インターフェース
```

補足

- ❒ 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。
- ❒ インターフェースを指定しない場合、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan [*1]	無線LANインターフェース

[*1] 拡張無線LANボード(オプション)装着時に指定できます。

❖ DNSサーバアドレスの選択
DNSサーバのアドレスをDHCPサーバから取得するか、ユーザの設定値にするかを選択します。

```
msh> dhcp dnsaddr [dhcp/static]
```

補足

❒ DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから取得する場合は「dhcp」、ユーザ設定値の場合は場合は「static」を指定します。

参照

DNSサーバアドレスの設定については、P.256「DNS」を参照してください。

❖ ドメイン名の選択
ドメイン名を DHCP サーバから取得するか、ユーザの設定値にするかを選択します。

```
msh> dhcp domainname [dhcp/static]
```

補足

❒ ドメイン名を DHCP サーバから取得する場合は「dhcp」、ユーザ設定値の場合は場合は「static」を指定します。

参照

ドメイン名の設定については、P.258「ドメイン名」を参照してください。

プロトコル

プロトコルの情報の表示、有効／無効の設定には、setコマンドを使用します。

❖ 表示
プロトコルの情報（有効／無効）を表示します。

```
msh> set プロトコル
```

プロトコル
tcpip
appletalk
netware
smb
protocol [*1]
lpr
ftp
rsh
diprint
web
snmp
ssl
ipp
http
rendezvous

[*1] tcpip、appletalk、netware、smbの情報を表示します。

❖ 設定

プロトコルの有効／無効を設定します。

msh> set プロトコル {up | down}

プロトコル	
tcpip appletalk netware smb lpr ftp rsh diprint web snmp ssl ipp http rendezvous	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

補足

- ❒ TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、プリンターの操作パネルを使って設定し直してください。
- ❒ TCP/IPを無効にすると、lpr、ftp、rsh、diprint、web、snmp、ssl、ipp、http、rendezvousも使用できなくなります。

プリンターの状態

プリンターの状態を表示するには表示内容に応じたコマンドを使用します。

msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	プリンターの状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）
info	給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションの情報（プリンター情報）
prnlog [ID番号]	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）

補足

- ❒ prnlogでID番号を指定するとジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

表示される内容について詳しくは、プリンター本体の使用説明書、およびP.272「取得情報の内容」を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定状況を表示するにはshowコマンドを使用します。

```
msh> show [-p]
```

補足

- ❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- ❒ NetBEUI プロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフトJISが表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容について詳しくは、P.274「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

プリンターのシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するには syslog コマンドを使用します。

```
msh> syslog
```

参照

表示される内容について詳しくは、P.282「システムログ情報」を参照してください。

SNMP

コミュニティ名など SNMP に関する表示と変更を行うにはsnmpコマンドを使用します。

補足

- ❒ 設定できる登録番号は1～10です。
- ❒ 登録番号の1～10にpublicが存在しない場合、Ridoc IO AdminやRidoc IO Naviからプリンターを参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Ridoc IO Adminとともにインストールされる「SNMPコミュニティ名設定ツール」で、プリンター側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- ❒ 登録番号1と2の工場出荷時の設定は次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	ricoh
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

❖ 表示
SNMP情報と使用可能なプロトコルを表示します。

`msh> snmp ?`

指定した登録番号の設定状態を表示します。

`msh> snmp [-p] [登録番号]`

補足
- ❒ -pオプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- ❒ 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

❖ コミュニティ名設定
指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

`msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名`

補足
- ❒ コミュニティ名は半角英数字で 15 バイト以内です。

❖ アクセスタイプ設定
登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

`msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ`

アクセスタイプ	設定される内容
no	アクセスできません (not accessible)
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)

❖ プロトコル設定
使用可能なプロトコルを選択するには次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

`msh> snmp {ip | ipx} {on | off}`

- TCP/IPの場合は「ip」、IPX/SPXの場合は「ipx」を指定します。
- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

`msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}`

❖ アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

- TCP/IPのアドレス指定
  `msh> snmp 登録番号 ip/addr アドレス`
- IPX/SPXのアドレス指定
  `msh> snmp 登録番号 ipx アドレス`

補足

❒ TCP/IP を使用するときはアドレスとして IP アドレスを入力します。

❒ IPX/SPXを使用するときはアドレスとしてIPXアドレスを入力します。IPXアドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードの MAC アドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

(例) 登録番号3にIPアドレスを設定する(192.168.15.16)

```
msh> snmp 3 ip 192.168.15.16
```

(例) 登録番号3にIPXアドレスを設定する(ネットワーク番号=7390A448、MACアドレス=00:00:74:62:5C:65)

```
msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65
```

IPP

IPPの使用環境を設定するには、IPPコマンドを使用します。

❖ IPPの設定値表示

IPPの設定値を表示します。

```
msh> ipp
```

次の設定値が表示されます。

```
timeout=900(sec)
auth basic
```

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ IPPタイムアウトの設定

印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は 30 〜 65535 秒です。

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

❖ IPPユーザー認証方式の設定

IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。
工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。

```
msh> ipp auth {basic|digest|off}
```

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

❒ ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPPユーザーの登録」を参照してユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザーの登録

IPPを使って印刷できるユーザーを登録できます。

```
msh> ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
msh> Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
msh> IPP user name:user1
msh> IPP password:*******
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed.
```

ダイレクトプリント

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定を行うにはdiprintコマンドを使用します。

❖ 表示

ダイレクトプリントプロトコルの設定を表示します。

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
timeout=300(sec)
bidirect off
```

- 「Port」使用するポート番号が表示されます。
- 「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

❖ タイムアウトの設定

ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。

```
msh> diprint timeout  [30～65535]
```

補足

❒ 工場出荷時の設定値は300（秒）です。

SMB

コンピュータ名やワークグループ名など NetBEUI 関連の項目を設定、削除するにはsmbコマンドを使用します。

❖ NetBEUI関連項目の設定

```
msh> smb パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
comp	コンピュータ名 (15バイト以下)
group	ワークグループ名 (15バイト以下)
comment	コメント(31バイト以下)
notif {on	off}	印刷完了通知をする場合は「on」、通知をしない場合は「off」を指定します。
clear comp	コンピュータ名のクリア
clear group	ワークグループのクリア
clear comment	コメントのクリア

❖ プロトコルの設定

NetBEUI、およびTCP/IPプロトコルの有効／無効を指定します。有効にする場合は「up」、無効にする場合は「down」を指定します。

```
msh> smb protocol [netbeui {up | down} | tcpip {up | down}]
```

ROUTE

TCP/IP ルーティングテーブルの設定をするには route コマンドを使用します。

routeコマンドを使うと、通常のネットワークではルーター装置等の環境により自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

❒ ルーティングテーブルの最大数は16です。

コマンド	設定される項目
route add [host|net] destination [*1] gateway [*1]	destinationで表されるhost(or network)ルートおよびgatewayで表されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。 host/net省略時はhost設定となります。
route delete [host|net] destination [*1]	destinationで表されるhost(or network)ルートをテーブルから削除します。host/net省略時はhost設定となります。
route get [destination [*1]]	destination指定時は該当route情報のみ表示します。destination無指定時は全route情報を表示します。
route active [host|net] destination [*1] on/off	指定されたdestinationの有効/無効を切り替えます。host/net省略時はhost設定となります。

コマンド	設定される項目
route add default gateway *1	デフォルトゲートウェイアドレスの設定
route flush	全route情報を削除します。

*1　IPアドレス

補足

- ❒ ルーターを越えて別のネットワークのネットワーク機器とやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ❒ ゲートウェイアドレスは、すべてのインターフェース共通になります。

SLP

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します。

NetWare　5/5.1のPureIP環境でご使用の場合、SLPを用いてNetWareサーバを検索します。slpコマンドを使うと、SLPマルチキャストパケットが使用するTTL値(通過できるルーターの数+1)を指定できます。

補足

- ❒ 工場出荷時の設定は1です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこの TTL 値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- ❒ 設定できるSLPパケットのTTL値は1～255です。

```
msh> slp ttl ttl_val
```

無線 LAN の設定

無線LANの設定をするにはwiconfigコマンドを使用します。

制限

❒ 拡張無線LANボード（オプション）装着時に設定できます。

❖ 表示

無線LANの設定を表示します。

```
msh> wiconfig
```

拡張無線LANカードの情報を表示します。

```
msh> wiconfig cardinfo
```

補足

❒ 無線 LAN インターフェースが有効になっていない場合、拡張無線LANカードの情報は表示できません。

❖ 設定

```
msh> wiconfig パラメータ
```

パラメーター	設定される項目
mode [ap|adhoc|802.11adhoc]	インフラストラクチャーモード（ap）、802.11アドホックモードまたはアドホックモード（adhoc）の設定ができます。 デフォルトは802.11アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時のSSIDを設定できます。 SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。
channel frequency チャンネル番号	チャンネルを設定できます。 1-14の間で設定できます。 使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。

パラメーター	設定される項目
enc [on|off]	WEP機能の有効/無効を設定できます。WEP機能を有効にするには「on」無効にするには「off」を指定します。 有効にする場合は正しいWEPキーを入力してください。
key 文字列 val [1|2|3|4]	WEPを16進数で入力する場合に指定します。 64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。 WEPは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。 keyでWEPを指定すると、keyphraseで指定したWEPは上書きされます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。 val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。

パラメーター	設定される項目
keyphrase 文字列 val [1|2|3|4]	WEPキーをACSII入力する場合に指定します。 64-bit WEPを使用する場合は、英数字5バイト、128-bit WEPを使用する場合には、英数字13バイトの文字列が使用できます。 WEPは4つまで登録できます。valで登録する番号を指定します。 keyphraseでWEPを指定すると、keyで指定したWEPは上書きされます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じkey番号とWEPキーを設定してください。 val以降の指定は省略可能です。省略した場合、key番号は1になります。
encval [1|2|3|4]	4つのWEPキーのどれを使用してパケットを暗号化するかを指定します。 番号を指定しない場合は「1」が設定されます。

パラメーター	設定される項目
auth [open|shared]	WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open：オープンシステム認証（デフォルト） shared：シェアードキー認証
rate [auto|11m|5.5m|2m|1m]	無線LANにおける通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto:自動設定（デフォルト） 11m:11Mbps固定 5.5m:5.5Mbps固定 2m:2Mbps固定 1m:1Mbps固定

スプール印刷設定

スプール印刷設定の使用環境を設定するには、spoolsw コマンドを使用します。スプール印刷設定はdiprint、lpr、ipp、SMB、およびBMLinkSプロトコルに対応しています。

❖ 表示

スプール印刷設定の設定値を表示します。

```
msh> spoolsw
```

❖ 設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール印刷設定機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ ジョブの初期化

本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、プリンタの電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定できます。

```
msh>spoolsw clearjob {on |off}
```

❖ プロトコルの設定

プロトコルごとに設定を変えるには次のコマンドを使います。diprint、lpr、ipp、SMB、およびBMLinkSプロトコルごとの指定ができます。

- diprint

  `msh> spoolsw diprint {on | off}`

- lpr

  `msh> spoolsw lpr {on | off}`

- ipp

  `msh> spoolsw ipp {on | off}`

- SMB

  `msh> spoolsw smb {on | off}`

- BMLinkS

  `msh> spoolsw bmlinks {on | off}`

プリンター名の変更

プリンター名を変更するには、hostname コマンドを使用します。

❖ 設定

`msh> hostname インターフェース プリンター名`

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース *1
wlan *2	無線LANインターフェース

*1 インターフェースの指定は省略可能です。その場合、イーサネットインターフェースが自動的に設定されます。

*2 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

補足

- ❒ プリンター名は、15バイト以下で設定してください。
- ❒ RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。
- ❒ イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じプリンター名になります。

WINS 機能の設定

WINSサーバを指定するには、WINSコマンドを使用します。

参照

WINSサーバ機能について詳しくは、P.298「WINSサーバーを使用する場合」を参照してください。

下記の各設定の中で使用するインターフェースの指定値は次の通りです。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan *1	無線LANインターフェース

*1 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

❖ WINSサーバの設定値表示

WINSサーバのIPアドレスを表示します。

```
msh> wins
```

次の設定値が表示されます。

```
wins: primary server 192.168.10.1  secondary
server server 192.168.10.2
wins server current config:
        primary server 192.168.10.1 secondary
server 192.168.10.2
       hostname RNP621DC1 ScopeID
```

補足

- ❒ DHCPを使用している場合、2行目に現在のWINSサーバのアドレスが表示されます。DHCPを使用していない場合は、2行目は表示されません。
- ❒ DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

❖ WINS機能を有効にする

```
msh> wins インターフェース {on|off}
```

- WINS機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。
- IPアドレスに、255.255.255.255は指定できません。

❖ **WINSサーバのアドレス設定**

WINSサーバのIPアドレスを設定します。

```
msh> wins インターフェース {primary|secondary}
IPアドレス
```

- 「primary」でプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- 「secondary」でセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。

❖ **NBT(NetBIOS over TCP/IP)スコープIDの設定**

NBTスコープIDを設定します。

```
msh> wins インターフェース scope スコープID
```

- スコープIDは半角英数字31文字以内で指定します。

AutoNet機能の設定

AutoNet機能を使用するには、autonetコマンドを使用します。

参照

AutoNet機能について詳しくは、P.298「AutoNet機能を使用する」を参照してください。

❖ **表示**

AutoNetの設定値を表示します。

```
msh> autonet
```

❖ **設定**

AutoNet機能を設定します。

```
msh> autonet {on|off}
```

- AutoNet機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ インターフェースの優先設定

AutoNet パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。

```
msh> autonet priority インターフェース
```

補足

- ❒ 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

インターフェースを指定しない場合、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan *1	無線LANインターフェース

*1 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

SNTP

SNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して、NTPサーバと本機の時間とを合わせることができます。

SNTPの設定を変更するには、sntpコマンドを使用します。

制限

- ❒ サポートするNTPサーバはxnptd　V3およびxnptd V4です。

補足

- ❒ 時計機能を内蔵しているプリンターの場合、SNTPコマンドは使用できません。

❖ 表示

sntpの設定値を表示します。

```
msh> sntp
```

❖ NTPサーバのアドレス設定

NTPサーバのIPアドレスを設定できます。

```
msh> sntp server アドレス
```

❖ **インターバルの設定**

設定したNTPサーバと同期を取る間隔を指定します。

```
msh> sntp interval インターバル値
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定値は3600（秒）です。
- ❒ 設定できる値は16〜16384（秒）です。
- ❒ 0を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

❖ **タイムゾーンの設定**

NTP サーバから取得した時刻情報との時間差を設定できます。

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

補足

- ❒ 時間の書式は24時間単位となります。
- ❒ （例）時間差を+8時間に設定する

```
msh> sntp timezone +08：00
```

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するにはpasswdコマンドを使用します。

重要

- ❒ パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

補足

- ❒ 工場出荷時は「ricoh」に設定されています。

1 passwdと入力します。

```
msh> passwd
```

2 現在のパスワードを入力します。

```
Old password:
```

3 新しいパスワードを入力します。

```
New password:
```

補足

- ❒ 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3〜8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。
- ❒ パスワードはWeb Image Monitorで使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

4 新しいパスワードをもう一度入力します。

```
Retype new password:
```

DNS

DNS（Domain Name System）の表示や設定は、dnsコマンドを使用します。

❖ 表示

dnsの設定値を表示します。

```
msh> dns
```

❖ DNSサーバーの設定

DNSサーバーアドレスを設定します。

```
msh> dns 対象番号 server アドレス
```

- 対象番号は1〜3までです。3件まで登録できます。
- 「255.255.255.255」は設定できません。

❖ ダイナミックDNS機能の設定

ダイナミックDNS機能の有効／無効を指定します。

```
msh> dns インターフェース ddns [on|off]
```

- ダイナミックDNS機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan [*1]	無線LANインターフェース

*1 拡張無線LANボード（オプション）装着時に指定できます。

❖ レコード重複時の動作指定

レコードが重複したときの動作を指定します。

```
msh> dns overlap [update|add]
```

- update
  古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。
- add
  古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。

補足

❒ CNAMEの重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

❖ CNAMEの登録

CNAMEを登録するかどうかを指定します。

```
msh> dns cname [on|off]
```

- CNAMEの登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

補足

❒ 登録されるCNAMEはRNPからはじまるデフォルトの名前です。CNAMEは変更できません。

❖ Aレコードの登録

ダイナミックDNS機能が有効で、かつ、DHCPを使用しているときの A レコードの登録方法を指定します。

```
msh> dns arecord [dhcp|own]
```

- dhcp
  本機を代行して、DHCPサーバがDNSクライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。
- own
  本機が DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。

補足

❒ 登録には、P.239 「DHCP」で指定した「DNSサーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

❖ レコードの更新間隔の設定

ダイナミックDNS機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。

```
msh> dns interval 更新間隔時間
```

- 更新間隔を1時間単位で指定します。1〜255の間で指定します。
- 初期値は「24」です。

ドメイン名

ドメイン名の表示や設定は、domainnameコマンドを使用します。

イーサネットインターフェース、無線 LAN インターフェースごとに設定できます。

❖ 表示

ドメイン名を表示します。

```
msh> domainname
```

❖ 各インターフェースのドメイン名設定、削除

各インターフェースのドメイン名を設定、削除します。

- ドメイン名の設定

  ```
  msh> domainname インターフェース ドメイン名
  ```

  - ドメイン名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
  - イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じドメイン名になります。

- ドメイン名の削除

  ```
  msh> domainname インターフェース clear
  ```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
wlan [*1]	無線LANインターフェース

*1　拡張無線LANボード装着時に指定できます。

Netware

プリントサーバ名、ファイルサーバ名などのNetware関連の設定には、Netwareコマンドを使用します。

```
msh> netware パラメータ
```

パラメータ	設定
pname	Netwareプリントサーバ名を47文字以下で指定します。
fname	Netwareファイルサーバ名を47文字以下で指定します。
encap [802.3/802.2/snap/ethernet2/auto]	encapタイプを指定します。
rnum	リモートプリンタ番号を指定します。
timeout	タイムアウト値を設定します。
mode pserver mode ps	プリントサーバモードに設定します。
mode rprinter mode rp	リモートプリンタモードに設定します。
context	NDSコンテキスト名を設定します。
sap_interval	SAPインターバル値を指定します。 0〜3,600秒の間で、1秒単位で指定できます。

パラメータ	設定
login server	ログインモードをファイルサーバ指定に設定します。
login tree	ログインモードをNDSツリー指定に設定します。
tree NDSツリー名	ログインするNDSツリー名を指定します。

web

Web Image Monitor関連の表示と設定には、Webコマンドを使用します。

❖ 表示

```
msh> web
```

❖ URLの設定

Web Image Monitorにリンク先として登録するURLを設定します。

```
web url http://リンク先のURLまたはIPアドレス/
```

❖ リンク名の設定

Web Image Monitorにリンク先として登録するURLのリンク名を設定します。

```
msh> web name リンク名
```

❖ ヘルプの参照先の設定

Web Image Monitorから参照するヘルプのURLを設定します。

```
msh> web help http://ヘルプのURLまたはIPアドレス/help/
```

Rendezvous の設定

Rendezvous関連の表示と設定には、rendezvousコマンドを使用します。

補足

- ❒ Mac OSから印刷する場合は、PS3拡張エミュレーションモジュールが必要です。

❖ 表示

Rendezvous関連の設定一覧を表示します。

```
msh> rendezvous
```

❖ Rendezvousのコンピューター名の設定

Rendezvousのコンピューター名を設定します。

```
msh> rendezvous cname 文字列
```

- コンピューター名は半角英数字 63文字以下で指定します。
- コンピューター名を指定しない場合は、現在のサービス名が表示されます。

❖ 設置場所情報の設定

本機の設置場所に関する情報を設定します。

```
msh> rendezvous location 文字列
```

- 設置場所の情報は英数字 32文字以下で指定します。
- 設置場所情報を指定しない場合は、現在の設置場所情報が表示されます。

❖ プロトコルごとの優先順位の設定

diprint、lpr、ippそれぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

- diprint

  ```
  msh> rendezvous diprint {0-99}
  ```

- lpr

  ```
  msh> rendezvous lpr {0-99}
  ```

- ipp

  ```
  msh> rendezvous ipp {0-99}
  ```

❖ IP TTL値の設定

IP TTl値（越えられるルータの数）を設定します。

```
msh> rendezvous ipttl {1-255}
```

補足

- ❒ 初期値は255です。

❖ コンピューター名と設置場所情報のリセット

コンピューター名と設置場所情報をリセットします。

```
msh> rendezvous clear {cname | location}
```

- cname
  コンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。
- location
  設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

Bluetooth

Bluetooth™インターフェースの設定を変更するには、btconfigコマンドを使用します。

❖ **表示**

Bluetooth™インターフェースの設定を表示します。

```
msh> btconfig
```

❖ **設定**

動作モードをprivateかpublicに設定できます。

```
msh> btconfig [private|public]
```

補足

- ❒ 工場出荷時の設定はpublicです。

BMLinkS

BMLinkS の表示や設定は、bmlinks コマンドを使用します。

制限

- ❒ BMLinkS 拡張エミュレーションカードを装着している場合に設定できます。
- ❒ 日本語での入力はできません。

❖ **表示**

bmlinksの設定値を表示します。

```
msh> bmlinks
```

❖ **動作モードの設定**

BMLinkSの動作モードを設定します。

```
msh> bmlinks mode {on|off}
```

- BMLinkSを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 工場出荷時は「on」が設定されています。

❖ **設定**

BMLinkS関連の項目を設定します。

`msh> bmlinks パラメーター`

パラメーター	設定される項目
profile [1801-86400]	BMLinkSプロファイルの有効期限を秒数で設定します。 デフォルトは10,800です。
ttl [1-255]	AdvertiseパケットのTTL(Time To Live)を設定します。 デフォルトは4です。
timeout [30-65535]	印刷データ受信タイムアウト時間を秒数で設定します。 デフォルトは900です。
printer 文字列	BMLinkSプリンタサービス名を設定します。 デフォルトは、RNPxxxxxxです。これは、システム設定リストの「インターフェース情報」に記載されている「プリンタ名」です。 **参照** システム設定リストの印刷方法は、P.190 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
country 文字列	国名情報を設定します。 デフォルトはJPです。
organization 文字列	会社／組織名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
block 文字列	ブロック名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。

用語について

説明に使用している用語の説明です。

重要

- ❒ **プロトコルをoffまたは無効に設定すると、それぞれの機能がお使いいただけなくなります。プロトコルの設定について詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。**

❖ TCP/IP

- ftp、lpr、rsh/rcp、diprint、http、ipp、web、wins、snmp *1、smb *2、rendezvous、bmlinksを使用した各機能

  *1 TCP/IP上でのSNMPセッション
  *2 TCP/IP上でのSMBセッション

  補足

  - ❒ **プロトコル機能の切り替えはできませんが、TCP/IPをoffまたは無効にすると、smtp、dnsも無効になります。**

❖ SMB

- Ridoc IO Naviを使用したプリンター機能
- Microsoft Windows Networkを使用したプリンター機能
- NetBEUIプロトコルを使用したプリンター機能

❖ AppleTalk

- Mac OSでAppleTalkを使用したプリンター機能

補足

- ❒ PostScript 3を含む拡張エミュレーションカードを本機に装着した場合に使用できます。

❖ NetWare

- NetWareサーバを使用したプリンター機能（リモートプリンタ/プリントサーバ）

補足

- ❒ **本プロトコルをoffまたは無効にしても、ピュアIP環境の場合、プリントサーバのみお使いいただけます。**
- ❒ **本プロトコルをoffまたは無効にすると、IPX/SPX上のSNMPセッションも無効になります。**

❖ LPR

- Standard TCP/IPを使用したプリンター機能
- コマンドラインを使用したプリンター機能

❖ FTP

- コマンドラインを使用したプリンター機能
- コマンドラインを使用した機器情報の取得機能

❖ RSH/RCP

- コマンドラインを使用したプリンター機能
- コマンドラインを使用した機器情報の取得機能

❖ DIPRINT

- Ridoc IO Naviを使用したプリンター機能

❖ WEB

- Web Image Monitor機能

❖ SNMP

- プリンタードライバーの双方向通信機能
- Ridoc IO Navi/Adminを使用した機器情報の取得機能

❖ IPP

- Ridoc IO Naviを使用したプリンター機能

❖ HTTP

- Web Image Monitor機能
- Ridoc IO Navi/Adminを使用した機器情報の取得機能

❖ HTTPS

暗号化通信を前提とした下記機能

- Web Image Monitor機能
- Ridoc IO Navi/Adminを使用した機器情報の取得機能

❖ 無線LAN

IEEE 802.11b規格に準拠した無線ネットワークインターフェース

❖ NBT（WINS）

- NetBIOS 名（コンピューター名）の登録機能（WINS）
- NetBIOS名（コンピューター名）の解決機能

❖ Bluetooth

Bluetooth インターフェースを使用したプリンター機能

❖ DHCP/Autonet

IPアドレス自動割り当て機能

❖ SMTP

SMTPサーバーに対してメールを送受信する機能

❖ DNS

- ホスト名の登録機能（ダイナミックDNS）
- ホスト名の名前解決機能

❖ BMLinkS

BMLinkSドライバーを使用したプリンター機能

❖ Rendezvous

Mac OS 10.2.3以降でTCP/IPを使用したプリンター機能

補足

❒ PostScript 3を含む拡張エミュレーションカードを本機に装着した場合に使用できます。

ネットワーク経由で確認できる情報

プリンターの状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

プリンターの状態

プリンターのステータスです。次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。詳細は、使用説明書＜クライアント編＞「UNIXで使う」を参照してください。
- mshell：statusコマンドを使います。詳細は、P.241「プリンターの状態」を参照してください。

ステータス	意味
Adjusting...	カラー調整中です。
Call Service Center	エンジン部、またはコントローラ部に異常が発生しました。
Canceling Job...	ジョブリセット中です。
Configuring...	設定変更中です。
Cover Open: Duplex Unit Rear	両面印刷ユニットのカバーが開いています。
Cover Open: Front	本体前カバーが開いています。
Cover Open: Rear	本体後ろカバーが開いています。
Cover Open: Upper	本体上カバーが開いています。
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Empty: Cyan Toner	シアントナーがなくなりました。
Empty: Magenta Toner	マゼンタトナーがなくなりました。
Empty: Yellow Toner	イエロートナーがなくなりました。

ステータス	意味
Energy Saver Mode	省エネモード状態です。
Error: Ethernet Board	イーサネットボードが異常です。
Error: HDD Board	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: Optional Font	オプションのフォントに異常が発生しました。
Error: Optional RAM	オプションのSDRAMモジュールに異常が発生しました。
Error: Parallel I/F Board	パラレルインターフェースに異常が発生しました。
Error: USB I/F	USBインターフェースに異常が発生しました。
Error: Wireless Card	IEEE802.11bまたはワイヤレスインターフェースのカードが異常です。
Error: Wireless Card or Board	IEEE802.11bまたはワイヤレスインターフェースの、カードまたはボードが異常です。
Full: Standard Tray	本体の排紙トレイが満杯です。
Low: Black Toner	ブラックトナーが残り少なくなりました。
Low: Cyan Toner	シアントナーが残り少なくなりました。
Low: Magenta Toner	マゼンタトナーが残り少なくなりました。
Low: Yellow Toner	イエロートナーが残り少なくなりました。
Miscellaneous Error	エラーが発生しています。
Mismatch: Paper Size	給紙トレイの用紙サイズが指定と違っています。
Mismatch: Paper Size and Type	給紙トレイの用紙サイズまたは用紙種類が指定と違っています。
Mismatch: Paper Type	給紙トレイの用紙種類が指定と違っています。
Nearly Full: Waste Toner Bottle	廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。

ステータス	意味
No Paper: Selected Tray	選択したトレイに用紙がありません。
No Paper: Tray 1	トレイ1に用紙がありません。
No Paper: Tray 2	トレイ2に用紙がありません。
Not Detected: Black Toner	ブラックトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Charger Roller	帯電チャージャーが正しくセットされていません。
Not Detected: Cleaning Blade	転写ベルトクリーナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Cyan Toner	シアントナーが正しくセットされていません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Input Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: Magenta Toner	マゼンタトナーが正しくセットされていません。
Not Detected: PCU	感光体ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Transfer Unit	転写ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 1	トレイ１が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 2	トレイ２が正しくセットされていません。
Not Detected: Waste Toner Bottle	廃トナーボトルが正しくセットされていません。
Not Detected: Yellow Toner	イエロートナーが正しくセットされていません。
Offline	オフラインです。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	給紙トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal	本体内部で紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Output Tray	本体排紙部で紙づまりが発生しました。
Printing...	印刷中です。

ステータス	意味
Ready	正常です。
Replace Fusing Unit	定着ユニットの交換時期になりました。
Replace PCU	感光体ユニットの交換時期になりました。
Warming Up	準備中、またはトナー補給中です。
Waste Toner Bottle Full/Not Set	廃トナーボトルが満杯です。または、廃トナーボトルが正しくセットされていません。

補足

❒ エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、⇒ P.186 「テスト印刷メニュー」を参照してください。

プリンター情報

プリンターの給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」
- mshell：infoコマンドを使います。⇒ P.241 「プリンターの状態」

補足

- ❒ 現在選択されている項目には「*」が付いて表示されます。
- ❒ *1〜*4の項目の詳しい内容については別表を参照してください。

項目名	意味
プリンタシステム	プリンターのバージョン
ネットワークボード	ネットワークボードのバージョン
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名*1 用紙サイズ*2（給紙トレイの紙サイズ設定で指定したサイズが表示されます） 給紙トレイの状態*3
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名*3 排紙トレイの状態*4

項目名	意味
Emulation	
No.	エミュレーション番号
Name	エミュレーション名
Version	エミュレーションのバージョン

❖ 別表

給紙トレイ名*1	意味（Name）
Tray 1	標準トレイ
Tray 2	オプショントレイ

用紙サイズ*2	意味（Page Size）
A4R	A4縦
A5R	A5縦
B5R	B5縦
HLR	5 1/2×8 1/2縦
LTR	Letter（8 1/2×11）縦
FR1	カスタムサイズ（mm単位設定）
NCS	トレイ未セット
PCR	はがき縦
**	用紙サイズ不明

給紙トレイの状態*3	意味（Status）
Normal	通常状態
NoInputTray	トレイなし
PaperEnd	用紙なし

排紙トレイ名*4	意味（Name）
Internal Tray	本体排紙トレイ

排紙トレイの状態*5	意味（Status）
Normal	正常
Error	その他エラー

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得するできる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメーターを使います。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」
- mshell：statusコマンドを使います。⇒ P.241 「プリンターの状態」

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）常に「0 bytes」と表示。

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去16件分の記録が表示されます。

次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのprnlogパラメーターを使います。⇒使用説明書＜クライアント編＞「UNIXで使う」
- mshell：prnlogコマンドを使います。⇒ P.241 「プリンターの状態」

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数
Result	通信結果 • OK 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinterでは発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間
User ID [*1]	プリンタードライバーで設定されたUser ID
JobName [*1]	ファイル名

[*1] IDを指定してinfoコマンドを入力した場合、表示されます。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードに設定してある内容の情報です。

次の方法で確認できます。

- mshell：show**コマンドを使います。**⇒ P.242 「ネットワークインターフェースボードの情報」

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効(Up)、無効(Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
SMB	
Ethernet interface	内部的なバージョン番号
Syslog priority	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	プリンタ名
Comment	コメント
Location	SNMP情報での管理者や連絡先
Contact	SNMP情報での設置場所
Soft switch	

項目名	意味
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Mac OS上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効(Up)、無効(Down)
ftp	
lpr	
rsh	
telnet	
diprint	
web	
http	
ftpc	
snmp	

項目名	意味
ipp	
autonet	
rendezvous	
ssl	
EncapType	フレームタイプ
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X *1]	アクセスコントロールレンジ
Time Server	NTPサーバアドレス
Time Zone	NTPサーバとの時間差
Time Server Polling time	NTPサーバとのインターバル間隔
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのURL名
Help page URL	ヘルプページのURL
SNMP protocol	SNMPで使用するプロトコル

項目名	意味
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト
Switch	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	（この値は固定です）
Packet negotiation	
Login Mode	ログインモード
Print job timeout	パケットタイムアウト
Protocol	使用しているプロトコル
SAP interval time	
NDS Tree Name	NDSツリー名

項目名	意味
SMB	
Switch	
Mode	（この値は固定です）
Direct print	（この値は固定です）
Notification	印刷完了通知
Workgroup name	ワークグループ名
Computer name	コンピュータ名
Comment	コメント
Share name[1]	共有名（プリンターの機種名です）
Protocol	
IEEE 802.11b *2	
Device Name	プリンター名
DHCP	DHCPの使用／不使用
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
DNS Domain	DNSドメインの種類

項目名	意味
SSID	現在使用中のSSID
Channel range	使用可能なチャンネル範囲
Channel	現在使用中のチャンネル
Communication mode	無線LANの通信モード
Authentication	
Tx Rate	無線LANの通信速度
WEP encryption	WEPの有効（On）、無効（Off）
Enctyption key	WEPキー
Bluetooth *3	
Bluetooth mode	Bluetoothの接続モード

項目名	意味
BMLinkS *4	
Mode	動作モードの設定
UUID	BMLinkSプリントサービスのUUID（Universally Unique Identifier）
Profile	プロファイルの有効期限
TTL	AdvertiseパケットのTTL
Timeout	印刷データ受信タイムアウト時間
Printer	プリンタサービス名
Country	国名情報
Organization	会社／組織名情報
Branch	支店名情報
Building	ビル名情報
Floor	階数情報
Block	ブロック名情報
DNS	
Server[X *5]	DNSサーバーのIPアドレス
Selected DNS Server	選択しているDNSサーバー
Domain Name	
ether	イーサネット接続でのドメイン名
wlan	無線LAN接続でのドメイン名

項目名	意味
Rendezvous	
Computer Name	プリンター名
Rendezvous Name (ether)	イーサネット接続でのRendezvousで表示するプリンター名
Rendezvous Name (wlan)	無線LAN接続でのRendezvousで表示するプリンター名
Location	プリンターの場所
Priority (diprint)	diprintの優先順位
Priority (lpr)	lprの優先順位
Priority (ipp)	ippの優先順位
IP TTl	IP TTL値
DDNS	
ether	イーサネット接続でのダイナミックDNS機能の使用／不使用
wlan	無線LAN接続でのダイナミックDNS機能の使用／不使用
WINS	
ether	
Primary WINS	イーサネット接続でのプライマリー WINSサーバのIPアドレス
Secondary WINS	イーサネット接続でのセカンダリWINSサーバのIPアドレス
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

*1 Xには1〜3の数字が入ります。
*2 拡張無線LANボード（オプション）装着時に表示されます。
*3 ワイヤレスインターフェースボード（オプション）装着時に表示されます。
*4 BMLinkS拡張エミュレーションカード（オプション）装着時に表示されます。
*5 Xには1〜3の数字が入ります。

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報は次の方法で確認できます。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのsyslogパラメーターを使います。⇒使用説明書<クライアント編>「UNIXで使う」
- mshell：syslogコマンドを使います。⇒ P.242 「システムログ情報」

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <ファイルサーバ名> denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server on the password was incorrect.	（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。<ファイルサーバ>上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap送信先ホストのIPアドレスを指定して下さい。
add_sess: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPXアドレス>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPXアドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap送信先ホストのIPXアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。
ANONYMOUS FTP LOGIN FROM < IPアドレス>, <パスワード>	ホスト< IPアドレス>よりパスワード<パスワード>でanonymousログインされました。

メッセージ	状態、対処方法
anpd start. (AppleTalk)	anpd(AppleTalk Network Package Daemon)を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバ>	ニアレストサーバとして<ファイルサーバにアタッチしました。>
Attach to print queue <プリントキュー名>	（プリントサーバ動作時）<プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。
Cannot find rprinter（<プリントサーバ名>/<プリンタ番号>）（リモートプリンタ起動時）	<プリントサーバ名>上に<プリンタ番号>のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。
Change IP adress from DHCP Server.	本機がDHCPサーバからのIPアドレスのリース更新時に、使用していたIPアドレスが変更されました。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。
child process exec error! （プロセス名）	本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。
Connected DHCP Server（<DHCPサーバアドレス>）.	DHCPサーバからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	（リモートプリンタ起動時）ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバ名>	（リモートプリンタ起動時）プリントサーバに接続できません。プリントサーバの設定を確認してください。

メッセージ	状態、対処方法
Current Interface Speed : < EhternetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です。(10Mbpsまたは100Mbps)。
Current IP address(<現在のIPアドレス>).	DHCPサーバから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	IPXアドレスが<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPリース切れになりました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスが使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバが見つかりませんでした。ネットワーク上にDHCPサーバが起動していることを確認してください。
dhcpcd start.	dhcpcd(DHCPクライアントサーバ)を起動しました。
Duplicate IP=< IPアドレス>(from < MACアドレス>).	本機に設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示されたMACアドレスの機器をチェックしてください。
Established SPX Connection with PServer,(RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>)	(リモートプリンタ起動時)プリントサーバと接続を確立しました。
exiting	lpdのサービスを終了しました。
Exit pserver	(プリントサーバ動作時)必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。
Frametype=<フレームタイプ名>	NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。
httpd start.	httpdが起動しました。
inetd start.	inetdを開始します。
IPP cancel-job: permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。
ipp disable.	IPP機能は利用できません。

メッセージ	状態、対処方法
ipp enable.	IPP機能が利用可能です。
IPP job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).	DHCPサーバから取得したIPアドレスのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒で表示されます。
Login to fileserver <ファイルサーバ名>（< IPX|IP>,< NDS|BINDERY>）	（プリントサーバ動作時）本機が<ファイルサーバ>にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。
multid start.	マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。
nbstart start. (NetBEUI)	NetBEUIプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)	< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング（NetBIOS名の解決）をローカルブロードキャストで行います。
nbtd start.	nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon)を起動しました。（本サービスはDHCPモード時のみ起動されます。）
NetBEUI Computer Name=<コンピュータ名>	NetBEUIのコンピュータ名を決定しました。
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd(NaMe Server Daemon)を起動しました。
npriter start. (NetWare)	（リモートプリンタ動作時）NetWareサービスをリモートプリンタモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
Open log file <ファイル名>	（プリントサーバ動作時）監視ログファイルをオープンしました。
papd start. (AppleTalk)	papd(Printer Access Protocol Daemon)を起動しました。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。

メッセージ	状態、対処方法
Print queue <プリントキュー名> cannot be serviced by printer 0, <プリントサーバ名>	(プリントサーバ動作時)<プリントキュー名>を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。
Print server <プリントサーバ名> has no printer	(プリントサーバ動作時)<プリントサーバ名>にプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
print session full	印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。
Printer <プリンタ名> has no queue	(プリントサーバ動作時)<プリンタ名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。
pserver start. (NetWare)	(プリントサーバ動作時)NetWareサービスをプリントサーバモードで起動しました。
Required computer name(<コンピュータ名>) is duplicate name	ネットワーク上に同じ(<コンピュータ名>)のプリンター名を検出しました。起動処理は、(<コンピュータ名>)にサフィックス(0、1・・・)を追加して(<コンピュータ名>)を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。
Required file server(<ファイルサーバ名>) not found	<ファイルサーバ名>で設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。
restarted.	lpdのサービスを開始しました。
sap enable, saptype=< SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能が起動されました。SAP(SAPタイプ、SAP名)パケットを発行し、NetWareサーバ上のSAPテーブルにサービスの存在を登録します。
session <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

メッセージ	状態、対処方法
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。
smbd start. (NetBEUI)	smbd(Sever Message Block Daemon)が起動しました。
SMTPC: failed to get smtp server ip-address.	SMTPサーバーのIPアドレスを取得できません。次の原因が考えられます。 • DNSサーバーを探せない。 ネットワークに接続されていない。 指定したDNSサーバーに接続できない。 DNSサーバーの指定が間違っている。 • DNSサーバーに、指定されたSMTPサーバのIPアドレスがない。
SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.	応答待ちでタイムアウトしたため、SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバー名が間違っている。 • ネットワークに接続されていない。 • ネットワークの設定が間違っており、SMTPサーバーからの応答を取得できない。
SMTPC: refused connect by smtp server.	SMTPサーバーへの接続を拒絶されました。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。
SMTPC: no smtp server. connection close.	SMTPプロトコルの応答が返ってこないため、SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。

メッセージ	状態、対処方法
SMTPC: failed to connect smtp server.	SMTPサーバーに接続できません。次の原因が考えられます。 • ネットワークに接続されていない。 • ネットワークの設定が間違っており、SMTPサーバーからの応答を取得できない。 • SMTPサーバー名が間違っている。 • SMTPサーバーの指定が間違っている。 • DNSサーバーに、指定されたSMTPサーバーのIPアドレスがない。 • SMTPサーバーではないサーバーを指定した。 • SMTPサーバーのポート番号が間違っている。
SMTPC: username or password wasn't correct.	SMTPサーバーに認証接続できません。次の原因が考えられます。 • SMTPユーザー名の指定が間違っている。 • SMTPパスワードの指定が間違っている。 SMTPユーザー名、SMTPパスワードを確認してください。
Snmp over ip is ready.	tcp/ip上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
snmpd start.	Snmpdを開始しました。
started.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
started.	BMLinkSが起動しました。
Started.	Rendezvous機能が起動しました。
Terminated.	Rendezvous機能が終了しました。
Terminated. (PS not found)	PSが見つからないため、Rendezvousが終了しました。

メッセージ	状態、対処方法
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。
WINS name refresh :Server No Response	WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration/refresh error code (エラー番号)	重複しないNetBIOS名を設定して下さい。または、WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration:Server No Response	登録処理に対する応答がサーバからありません。WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS server address0.0.0.0	WINSサーバアドレスの指定がされていません。WINSによる名前解決を行う場合はWINSサーバアドレスを設定して下さい。
WINS Server=<WINS サーバアドレス> NetBIOS Name=<NetBIOS名>	<WINSサーバアドレス>への名前の登録が正常に終了しました。
WINS wrong scopeID	不正なスコープＩＤが使用されています。正常なスコープＩＤを設定して下さい。

Windows ターミナルサービス /MetaFrame を使用する場合

動作環境

使用可能なOSとMetaFrameとの組み合わせは次のとおりです。

❖ Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition

- MetaFrame 1.8 SP3/FR1+SP3/SP4
- MetaFrame XP 1.0 SP1/FR1

❖ Windows 2000 Server

- MetaFrame 1.8 SP3/FR1+SP3/SP4
- MetaFrame XP 1.0 SP1/SP2/FR1/FR2

制限

❖ **「Windowsターミナルサービス」動作時**

Windows ターミナルサービス環境下において、プリンタードライバーの一部の機能はグレイダウンし、使用できません。

Windows ターミナルサービスの機能を使用していない場合においても、Windows ターミナルサービスがインストールされている環境では、上記同様一部の機能が使用できません。

Windows NT Server 4.0 Terminal Server EditionまたはWindows 2000 Serverファミリでターミナルサービスを実行している環境でRidoc IO Naviをインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。インストールモードでインストールを行うには、次の２通りの方法があります。

① ［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］を使用してRidoc IO Naviをインストールします。

② MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /INSTALL
```

インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /EXECUTE
```

参照

詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

❖ 「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時
「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrameサーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrameサーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0以降をご使用の場合は、「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法を行ってください。
  - MetaFrame 1.8 SP3、MetaFrame XP 1.0 SP1/FR1
    レジストリにて「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します（詳細についてはMetaFrameのReadmeを参照してください）。
  - MetaFrame XP 1.0 FR2
    Citrix 管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

❖ 「プリンタードライバーの複製機能」使用時
事前検証のうえ、運用してください。
正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

❖ RPDLドライバーを使用される場合
ユニバーサルプリンタードライバー利用時（MetaFrame XP 1.0 FR1、FR2）、クライアント側のドライバーがRPDLドライバー（RPDLミニドライバー含む）の場合、用紙サイズいっぱいに描画されたデータが、一部切れて印刷されてしまう場合があります。この場合は、印刷領域を「拡張」もしくは「最大」に設定して、ご使用ください。

参照
制限事項の詳細については、リコーホームページを参照してください。

http://www.ricoh.co.jp/PRODUCT/printer/meta_sub.html

ワイヤレスインターフェースボードを使用する場合の注意

本機にオプションのワイヤレスインターフェースボードの動作モードは、工場出荷時の設定が「パブリック」になっています。

動作モードが「パブリック」の状態で本機を使用するパソコンを登録してから、設定を「プライベート」に変更すると、登録したパソコンだけがワイヤレスインターフェースボード経由で本機を使用できます。

動作モードの変更は、Web Image Monitorまたはtelnetで行います。

参照

Web Image Monitorについては、P.148「Webブラウザを使う」を参照してください。設定項目の詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

telnetでの動作モード変更については、P.261「Bluetooth」を参照してください。

使用上の注意

イーサネットを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

ネットワークにISDN回線を接続している場合

リコー製のネットワークユーティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によってはISDN回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上にNetWareのファイルサーバーが存在している場合、プリンターから送出されるパケットによりISDN回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これはNetWareの仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDNルータでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

補足

- フィルタリングするプリンターのMACアドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。システム設定リストについては、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ルータの設定を変更できない場合は、次に示すプリンターの設定による方法で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用する場合）

1 本書のセットアップ方法に従い、必ずファイルサーバーを指定します。

補足

- ❒ Ridoc IO Adminでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare]タブの［ファイルサーバ名］ボックスにファイルサーバー名を入力します。

2 NetWareの使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。

参照

使用するフレームタイプを選択する方法については、P.87「プロトコルの準備をする」を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用しない場合）

1 イーサネットボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択でNetWareを無効にします。

参照

プロトコルを無効にする方法については、P.10「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

Windows から PostScript 印刷する場合

WindowsからPostScript印刷するときは、PostScript 3拡張エミュレーションカードに付属のPostScript 3使用説明書を参照し、プリンタードライバーでイーサネットボードを使用する設定にしてください。

NetWare 環境で印刷する場合

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで［フォームフィード］のチェックを外します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合は、プリンターのプロパティの［NetWare設定］タブで［フォームフィード］のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合は、プリンターのプロパティの［プリンタ設定］タブで［バナーの使用］のチェックを外します。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合は、プリンターのプロパティの［NetWare設定］タブで［バナーの使用］のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30〜40秒後にいったんプリントサーバーから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これはNetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名をWINSサーバーに登録することができます。

❖ それぞれ静的IPアドレスを設定している場合

- IPアドレス：値が同じ場合には、イーサネットインターフェースが使用されます。
- サブネットマスク：値がオーバーラップした場合には、イーサネットインターフェースが使用されます。
- ゲートウェイアドレス：設定された値が使用されます。ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット内にあるゲートウェイアドレスを設定してください。インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。

❖ それぞれDHCPサーバーから取得する設定の場合

- IPアドレス、サブネットマスク：それぞれに接続されたインターフェース上で動作する DHCP サーバーからリースされる値を設定します。このとき、IPアドレスの重複や、同じサブネット内のIPアドレスが設定された場合は、優先度の高いインターフェースにのみ有効な値が設定されます。

  補足

  ❒ 工場出荷時の優先インターフェース設定はイーサネットです。

- AutoNet：優先順位の高いインターフェースに自動プライベートアドレス（169.254.xxx.xxx）が設定されます。
- ゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレス、ドメイン名：優先順位の高いインターフェースの DHCP サーバーから取得した値を設定します。
  ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。

  補足

  ❒ 工場出荷時の優先インターフェース設定はイーサネットです。

❖ 静的IPアドレスとDHCP取得値の設定が混在している場合

- IPアドレス、サブネットマスク：静的IPアドレスとDHCP取得値（IPアドレス）が同一になった場合や、静的サブネットマスク値とDHCP取得サブネットマスク値がオーバーラップした場合は、静的IPを設定したインターフェースが設定された値で動作します。DHCP設定のインターフェースは、初期値となります。
- ゲートウェイアドレス：手動で設定した値で、動作します。
  ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。

補足

❒ 静的IPアドレスが設定されていない場合や、「0.0.0.0」に設定されている場合は、DHCP取得値を設定したインターフェースが動作します。

補足

❒ 動作対象のDHCPサーバーは、Windows 2000 Server、Windows NT 4.0 Server、NetWare、およびUNIXに標準添付されているDHCPサーバーです。

❒ 本機がDHCPから取得したIPアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.190「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

❒ WINSサーバーを使用する場合は、P.298 「WINSサーバーを使用する場合」を参照して WINS サーバーを設定してください。

❒ WINSサーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。

❒ WINSサーバーを使用しない場合は、毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、本機に割り当てるIPアドレスをDHCPサーバーで予約してください。

❒ 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

❒ ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

参照

⇒ P.293 「ネットワークにISDN回線を接続している場合」

AutoNet 機能を使用する

DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IP アドレスを自動選択して使用できます。

AutoNet機能を使用するために、telnetでAutoNetの設定を「on」にしてください。

参照

設定方法は、P.253 「AutoNet機能の設定」を参照してください。

補足

- ❒ AutoNet機能で自動選択されたIPアドレスは、DHCPサーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- ❒ 本機が使用しているIPアドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.190 「システム設定リストを印刷する」参照してください。
- ❒ AutoNetモードで動作中の場合、WINSサーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- ❒ AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3以降が稼働しているMacintoshとは通信できます。

WINS サーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名をWINS（Windows Internet Name Sarvice）サーバーに登録することができます。WINSサーバーにプリンター名を登録すると、DHCP環境で使用している場合、Ridoc IO Naviのポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターがWINSサーバーを使用できるようにする設定について説明します。

補足

- ❒ サポートするWINSサーバーは、Windows NT 4.0 Server Service Pack 4以降またはWindows 2000 ServerのWINSマネージャーです。
- ❒ WINSサーバーの設定については、Windowsのヘルプを参照してください。
- ❒ WINSサーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。
- ❒ 登録できるプリンター名は、半角英数字で15バイト以内です。

Web ブラウザを使用する方法

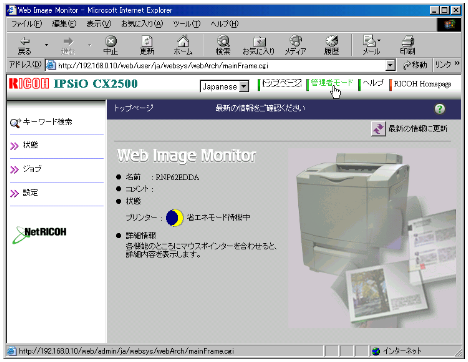
1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力し、設定を変更するプリンターにアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。



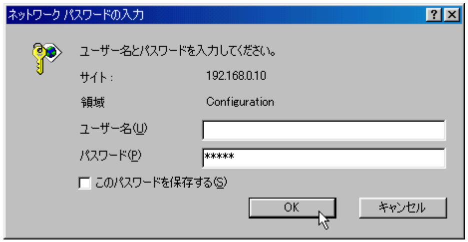
3 ［管理者モード］をクリックします。



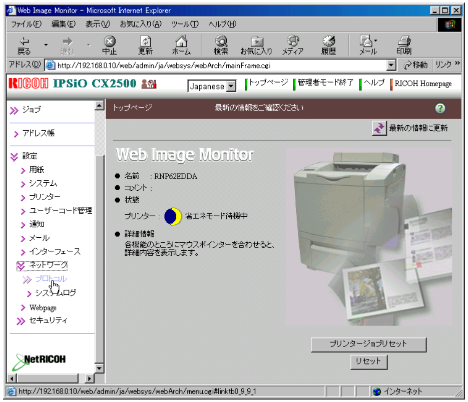
パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

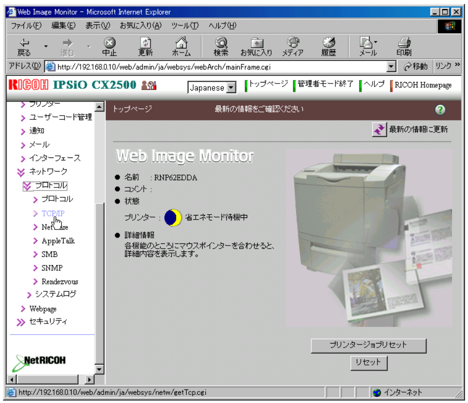
工場出荷時の設定のままの場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



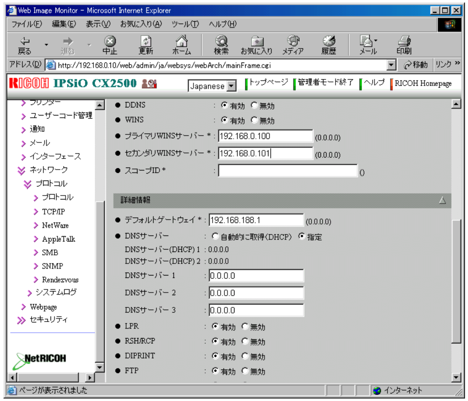
5 左フレームの[設定]をクリックし、[ネットワーク]をクリックして表示される［プロトコル］をクリックします。



6 ［TCP/IP］をクリックします。



7 ［Ethernet］欄の［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリ WINS サーバー］と［セカンダリ WINS サーバー］にそれぞれWINSサーバーのIPアドレスを入力します。



8 ［適用］をクリックします。

9 Webブラウザを終了します。

telnet を使用する方法

P.252 「WINS機能の設定」を参照してください。

ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミックDNSとは、DNSサーバが管理しているレコード（Aレコードおよびか PTRレコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境にDNSサーバがあり、本機がDNSクライアントである場合、ダイナミックDNS機能によって動的にレコードを更新することができます。

更新処理について

本機のIPアドレスが静的かDHCPから取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

補足

- ダイナミックDNS機能を使用しない場合、本機のIPアドレスが変更されると、DNSサーバで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。
- 本機でレコードの更新を実行する場合、DNSサーバの設定が次のどちらかになっている必要があります。
  - セキュリティ設定がされていない
  - セキュリティ設定で、更新を許可するクライアント（本機）をIPで指定している

❖ 静的IP設定の場合

IPアドレス、ホスト名が変更された場合、本機がAレコード、およびPTRレコードを更新します。
また、Aレコードを登録する際に、CNAMEも登録します。登録できるCNAMEは次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11bの場合
  RNPPRNXX（PRNXXはMACアドレスの下位３バイトの16進数）

❖ DHCP設定の場合

DHCP サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機が DHCP サーバーから IP アドレスを取得する際、DHCPサーバーがAレコードとPTRレコードを更新
- 本機が DHCP サーバーから IP アドレスを取得する際、本機がAレコードを更新し、DHCPサーバーがPTRレコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できるCNAMEは次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11bの場合
  RNPPRNXX（PRNXXはMACアドレスの下位３バイトの16進数）

制限

- メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG(0)）はサポートしていません。

動作対象の DNS サーバー

❖ 静的IP設定の場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降

❖ DHCP 設定の場合で本機が A レコードを更新する場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降

❖ DHCP 設定の場合で、DHCP サーバーがレコードを更新する場合

- Windows 2000 Serverに標準添付のMicrosoft DNSサーバー
- BIND8.2.3以降
- NetWare 5J以降に標準添付のDNSサーバー

動作対象の DHCP サーバー

本機の代理でAレコードを更新することができるDHCPサーバーは次のとおりです。

- Windows 2000 Server（Service Pack 3以降）に標準添付のMicrosoft DHCPサーバー
- ISC DHCP 3.0以降
- NetWare 5J以降に標準添付のDHCPサーバー

ダイナミック DNS 機能の設定方法

telnetでdnsコマンドを使用して設定します。詳細は、P.256 「DNS」を参照してください。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、転送が終わってから印刷する機能です。プリンターの性能を最大限に利用するので、印刷時間が短縮されます。
スプール印刷の設定は、操作パネルの「システム設定メニュー」から行います。詳しくは、P.201 「システム設定メニュー」を参照してください。

重要

- ❒ スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ，データインランプが点滅します。スプール印刷中にプリンターやパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。また、スプール印刷中にプリンターやパソコンの電源を切るとスプールジョブがプリンター内に残り、繰り返し印刷されます。スプール印刷中はプリンターやパソコンの電源を切らないでください。

制限

- ❒ スプール印刷するには、オプションの拡張HDDを装着する必要があります。拡張HDDが装着されていないと、パネルの「システム設定メニュー」にスプール印刷は表示されません。
- ❒ diprint、lpr、ipp、SMB、BMLinkS以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。
- ❒ diprintの場合、双方向通信ではスプール印刷ができません。
- ❒ 最大150ジョブまでスプールできます。
- ❒ スプール印刷のために確保される領域の容量は約1GBです。
- ❒ 一つのジョブの最大容量は、約500MBです。
- ❒ 同時に受け付けられるジョブ数は、各プロトコルごとに次の通りです。
  - diprint：１
  - lpr：１0
  - ipp：１
  - SMB：１
  - BMLinkS：5

補足

- ❒ スプール印刷をすると、１ページ目の印刷開始は遅くなります。
- ❒ スプール印刷をすると、大容量のデータの時、パソコンが早く印刷処理から開放されます。
- ❒ プリンターに蓄積されたスプールジョブはWebブラウザから閲覧・削除することができます。

スプール印刷を設定する

Webブラウザとtelnetで設定できます。

- Webブラウザの場合
  ［設定］メニューの［システム］内にある［スプール印刷］を［有効］にします。詳細はWeb Image Monitorのヘルプを参照してください。
- telnetの場合
  「spoolsw spool on」で設定します。詳しくは、P.250 「スプール印刷設定」を参照してください。

Web ブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

スプールジョブをWebブラウザで表示したり、削除したりすることができます。

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力し、設定を変更するプリンターにアクセスします。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。



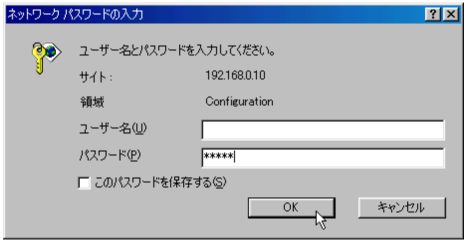
3 ［管理者モード］をクリックします。



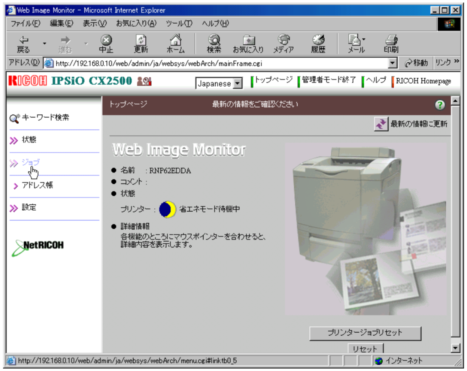
パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時の設定のままの場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「ricoh」と入力します。



5 左フレームの［ジョブ］をクリックします。



6 ［プリンター］の中の［スプール］をクリックします。

スプールジョブの一覧が表示されます。

7 削除したいジョブの横にあるチェックボックスにチェックを付け、削除をクリックします。

チェックしたジョブが削除されます。

8 Webブラウザを終了します。

参照

詳しくは、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi で IPP を使用する場合

Ridoc IO NaviでIPPを使用する場合は、以下の点に注意して使用してください。

- ネットワークプリンターが受け付けるRidoc IO Navi からの印刷ジョブは、1 件のみです。ネットワークプリンターが印刷中のとき、他のユーザーがRidoc IO Naviを使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーのRidoc IO Naviは、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Naviがネットワークプリンターに接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、ネットワークプリンターに接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、ネットワークプリンターが印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Naviからの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなってネットワークプリンターにより印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要 があります。
- 他のコンピュータから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーがRidoc IO Naviを使用して印刷しようとした場合、ネットワークプリンターに接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Ridoc IO Naviがポート名としてIPアドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。

メモリー容量と用紙サイズ

<table>
<tr><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">用紙
サイズ</th><th colspan="2">片面</th><th colspan="2">両面</th></tr>
<tr><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th><th>印刷可能 *1</th><th>印刷保証 *2</th></tr>
<tr><td rowspan="5">600×600dpi</td><td>A4</td><td colspan="2" rowspan="5">標準128MB</td><td colspan="2" rowspan="2">標準128MB</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td><td rowspan="2">–</td><td rowspan="2">–</td></tr>
<tr><td>はがき</td></tr>
<tr><td>Letter</td><td colspan="2">標準128MB</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1,200×600dpi</td><td>A4</td><td colspan="2" rowspan="5">標準128MB</td><td rowspan="2">標準128MB</td><td rowspan="2">192MB
(64MB増設)</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td><td rowspan="2">–</td><td rowspan="2">–</td></tr>
<tr><td>はがき</td></tr>
<tr><td>Letter</td><td>標準128MB</td><td>192MB
(64MB増設)</td></tr>
</table>

*1 ほとんどのデータで印刷可能ですが、データの種類によっては印刷できない場合や、両面連続印刷時の印刷速度が低下する場合があります。

*2 すべてのデータで印刷可能です。

重要

❒ A5およびはがきサイズの両面印刷はできません。

参照

メモリーの増設方法については、使用説明書＜オプション設置編＞「オプションを取り付ける」を参照してください。

関連商品一覧

外部オプション

❖ 500枚増設トレイユニット タイプ2500（商品コード：509402）
500枚の用紙をセットできるオプションの増設トレイです。給紙トレイ（標準）（250枚）とあわせて、最大780枚の用紙を同時にセットしておくことができます。

❖ 両面印刷ユニット タイプ2500（商品コード：509403）
自動両面印刷が可能になります。

SDRAM モジュール

本機には標準で128MBのメモリーが装備されています。SDRAMモジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。詳細は、P.308「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

❖ SDRAMモジュールIII 64MB（商品コード：307866）
標準128MBと組み合わせると、192MBのメモリー容量になります。

❖ SDRAMモジュールIII 128MB（商品コード：307867）
標準128MBと組み合わせると、256MBのメモリー容量になります。

❖ SDRAMモジュールIII 256MB（商品コード：307868）
標準128MBと組み合わせると、384MBのメモリー容量になります。

拡張エミュレーションカード

❖ **PS3カード　タイプA（商品コード：509398）**
本機を日本語ポストスクリプトレベル3プリンターとして使用できるようにします。Windows環境以外にもMac OS、UNIXから印刷できるようにします。
PDFダイレクトプリントカード　タイプAの機能が含まれています。

❖ **マルチエミュレーションカード　タイプA（商品コード：509399）**
RPDL、R16、R98、R55が含まれたマルチエミュレーションカードです。

❖ **PDFダイレクトプリントカード　タイプA（商品コード：509400）**
PDFダイレクトプリントを実現するカードです。

❖ **BMLinkSカード タイプA（商品コード：317508）**
本機をBMLinkS対応プリンターにできます。

暗号化カード

❖ **暗号化カード タイプA（商品コード：509411）**
本機とパソコンの通信を暗号化します。

拡張ボード

- **アカウント拡張モジュール　タイプE（商品コード：509396）**
  統計情報として、ユーザーコード、印刷枚数合計、カラー印刷枚数合計、白黒印刷枚数合計などのデータを蓄積するモジュールです。

- **拡張無線LANボード　タイプE（商品コード：509414）**
  IEEE 802.11bインターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷することができます。

- **ワイヤレスインターフェースボード　タイプBT4（商品コード：509413）**
  Bluetooth™インターフェースを拡張するボードです。Bluetooth V1.1規格のSPP、HCRP、BIPに対応しています。

拡張 HDD

- **拡張HDD タイプB（商品コード：307778）**
  フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。

インターフェースケーブル

パラレルケーブル

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ1B（商品コード：307273）**
NEC PC-9800シリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LPインターフェースケーブル　タイプ4B（商品コード：307274）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機 、PC98-NXシリーズ　双方向通信対応　2.5m

❖ **LBインターフェースケーブル　タイプ4S（商品コード：307470）**
IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC-98NXシリーズ　双方向通信対応　1.5m

重要

❒ DOS/V機、NEC PC98–NXシリーズ
- 「LPインターフェースケーブル　タイプ4B」、または「LPインターフェースケーブル　タイプ4S」を使用します。

❒ NEC PC–9800シリーズ
- ケーブルがパソコンに付属している場合は、そのケーブルをご利用ください。
- ケーブルがパソコンに付属していない場合、パソコン側がハーフピッチ36ピン（）のときは「LPインターフェースケーブル　タイプ1B」を使用します。
- PC98ノートの場合は、NEC専用のインターフェースケーブルをご使用ください。

❒ 下線の付いているインターフェースケーブルは、リコーで取り扱っているインターフェースケーブルです。

USB ケーブル

❖ **USB2.0プリンターケーブル　（商品コード：509600 ）**
USBプリンターケーブル　2.5m

仕様

本体

項目	内容
現像方式	半導体レーザービームスキャン方式 感光体1ドラム方式
レーザ規格 *1	レーザークラス1
ファーストプリント	14秒以下（モノクロ：A4印刷時） 20秒以下（カラー：A4印刷時）
連続プリント速度	• モノクロ：A4印刷時 31ページ/分 • カラー：A4印刷時 8ページ/分
解像度	600×600dpi（モノクロ/カラー）
用紙サイズ	• 給紙トレイ（標準） A4、B5、A5、Letter（$8\frac{1}{2}$×11）、Half Letter($5\frac{1}{2}$×$8\frac{1}{2}$)、不定形サイズ（長さ210～297mm、幅104.8～215.9mm）
用紙種類	普通紙（リコピー PPC用紙 タイプ6000<58W>、<70W>、<90W>、タイプ6200） 再生紙（マイリサイクルペーパー 100、100W、タイプFC） カラー紙（リコピー PPC用紙 タイプCP、CB、CY、CG） OHPフィルム（3M OHPフィルム CG3700） ハクリ紙（リコー PPC用紙 タイプSA） 官製はがき

項目	内容
給紙量	給紙トレイ（標準） 普通紙、再生紙、カラー紙：250枚 厚紙、光沢紙：40枚 ハクリ紙：80枚 OHPフィルム：50枚 官製はがき：25枚
最大給紙量	780枚（500枚増設トレイユニット装着時）
排紙量	本体排紙トレイ：250枚 （リコピー PPC用紙 タイプ6200使用時）
最大排紙量	本体排紙トレイ：250枚 （リコピー PPC用紙 タイプ6200使用時）
排紙方法	裏面排紙
電源	100V 13A（フルシステム時）50/60Hz
消費電力	最大消費電力：1,300W（電源オフ時は0.01W。このため、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください）
ウォーミングアップ時間	45秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法（幅×奥×高）	480（W）×420（D）×385（H）mm
質量	31.5Kg以下（給紙トレイ、消耗品を含む）

項目	内容
騒音	音響パワーレベル 本体動作時：66dB 待機時：54dB
	音圧レベル 本体動作時：60dB 待機時：46dB
CPU	VR5500 300MHz
メモリー	標準:128MB 最大:384MB
インターフェース	IEEE 1284準拠 双方向パラレル 100BASE/10BASE イーサネット USB 2.0（480Mbps [*2] /12Mbps） IEEE 802.11b（オプション） Bluetooth™（オプション）
ページ記述言語	RPCS
エミュレーション（オプション）	RPDL、R16、R98、R55、PS3（Adobe PostScript3）、PDF、BMLinkS
搭載フォント	アウトラインフォント 明朝L、明朝Lプロポーショナル、ゴシックB、ゴシックBプロポーショナル、Courier10、Preatige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier ４書体、Arial ４書体、TimesNewRoman ４書体、Wingdings、Century

[*1] 本製品は、JIS C 6802（IEC 60825-1）「レーザ製品の安全基準」に基づき、“クラス１レーザ製品”に該当します。

[*2] USB 2.0に対応したパソコンと、USB 2.0に対応したケーブルが必要です。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠

※無線LANご使用の場合

本無線製品は2.4GHz帯を使用しております。電子レンジ等同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くで運用されていないことをご確認ください。万一干渉した場合、通信状態が不安定になる可能性があります。

ご使用の際は周囲に干渉の起こる機器が存在しないことをご確認ください。

オプション

500 枚増設トレイユニット タイプ 2500

項目	内容
収容できる用紙のサイズ	A4、B5、Letter ($8\frac{1}{2}\times11$)
給紙量	530枚（80g/㎡紙使用時）
外形寸法（幅×奥×高さ）	460（W）×466.5（D）×185（H）mm
質量	6.0kg以下

両面印刷ユニット タイプ 2500

項目	内容
両面印刷できるサイズ	A4、B5、Letter ($8\frac{1}{2}\times11$)
外形寸法（幅×奥×高さ）	345（W）×185（D）×406（H）mm
質量	5.2kg以下

拡張無線 LAN ボード（オプション）の仕様

インターフェース	IEEE 802.11 b 準拠、Wi-Fi準拠	
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式単信（半二重）	
データ転送速度	1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps	
周波数範囲	2400〜2497MH z （この帯域を1〜14のチャンネルで分割して使用する）	
伝送距離 [*1]	1Mbpsのとき	400m
	2Mbpsのとき	270m
	5.5Mbpsのとき	200m
	11Mbpsのとき	140m

[*1] 伝送距離は周囲の条件により誤差が出ることがあります。

拡張無線LANボード（オプション）は、付属の無線LANカード以外での動作は保証しません。

ワイヤレスインターフェースボード（オプション）の仕様

対応プロファイル	SPP (Serial Port Profile) HCRP (Hardcopy Cable Replacement Profile) BIP (Basic Imaging Profile)
最大電送距離	10m
データ転送速度	732kbps [*1]
周波数範囲	2GHz ISM無線周波数帯

[*1] 転送速度は、通信機器の距離や障害物、電波状況、ご使用のBluetooth™アダプターなどにより、調整されます。

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

expat（Ver 1.95.2）について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェア）にはexpat Ver 1.95.2（以下expat1.95.2）を下記の条件のもとで使用しています。

- expat1.95.2 を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat1.95.2 の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

補足

- ❒ expat1.95.2 に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。
  http://expat.sourceforge.net/

NetBSD について

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

JPEG LIBRARY

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

RICOH
株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは最寄りのサービス実施店にご相談ください。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

0120 FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　2004年3月　G108-8505